大正十三年十月十九日 (日曜日) THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第八千七十號

京城日報

十八日夕刊
本紙 每號壹部金五錢 壹ケ月… 三ケ月… 六ケ月…
廣告 五號活字…
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話…

大邱 大邱神社の秋季大祭は…十七日の御神幸も…各町は思ひ思ひの…盛んにお祭氣分をそゝつて居た…
十七日午前九時三十分から同校…に於て秋季運動會を開催した…
仁川 …月…愛宕神社では十九…作り物を出して市內を…
平壤 人口七萬を突破したの…と平壤神社の秋季祭典に打つつか…
鎭南浦 鎭南浦高等女學校…
一日より廿五日迄…中堅青年の講習會を開催する…講師は和田知事…

カ氏の新妥協案
油田及び石炭に就て日本に優先權を與へると

【北京十七日發電】十六日日本側に租借の優先權を與へるとの新妥協案を內示し日本政府が速かに協定を締結せんことを求めた

正式會議復歸か

【北京十七日發電】カラハン氏は十七日…正式會議は…十九日の正式會議は…であらう

廣東の秩序回復
政府は商團軍の解散及び罷業商店の復業を請求す

【廣東十六日發電】十五日朝より十六日に至る市街戰の兩軍死傷者は五百餘名に上り燒失家屋二千三百戶あり市中目拔きの場所に屍體…掠奪品を…に遺棄をしてゐる外人で掠奪に遭つた者も少からず日本人被害者も數人ある政府は商團軍の解散罷業商店の復業を要求して商團軍の武器を沒收し漸く秩序が確立された

奉軍飛機 爆彈投下
直軍側軍艦の損害多大

【奉天十七日發電】奉天軍司令部發表 奉天飛行機は吳佩孚氏が乘艦せる海籌號中に在るを探知し十六日朝飛行機六臺二十四機は…て多數の爆彈を投んで進攻此時海籌號一軍は秦皇島に向かつて攻擊を加へて居る際とて直軍の各軍艦が高射砲を亂射するも飛行機は少しも恐れず多數の爆彈を投下した敵艦中には火災を起し其の損害多大なる模樣であると

奉軍平泉に迫る

【奉天十七日發電】彭源來電に依れば第二軍五、六の兩師は十六日朝七千餘の直軍と楡樹附近に於て激戰し直軍は死體四百を出して潰走し奉軍は追擊して平泉(熱河に到る要地)を包圍し平泉の占領は旦夕にあると

直軍の邦人取締令
山海關の巡警に嚴重言渡す

【天津十七日發電】山海關の巡警は直軍警備司令部から左の意味の日本人取締命令を受けた

一、日本軍人にして守備隊と停車場間の道路の外を彷徨する者は暴動不逞の者と認め捕縛せよ
一、普通の日本人にして疑はしき行爲ある者は日本領事に交涉し公使館より受取に來る者は引渡し然らざる者は射殺す
三、支那服を着用し日本人らしき動作をなす怪しき者は射殺す

吉林の背後を直軍衝かん?

【淸津電報】直軍は軍艦數隻を北鮮方面に廻航し軍艦ポセット灣に兵員を上陸せしめ軍隊より琿春に入り吉林の背後を衝かんとする情報あり…在中の民國官民及…內地人は何れも緊張してゐる

佛貨保護公債
二億弗發行か

【巴里十七日發電】米國銀行家モルガン氏は當地に到着し本月中に佛貨保護の爲め發行すべき新公債問題に付き財政長官ルシユール氏と會見を遂ぐ可く豫期されてゐる右公債額は二億弗ならんと非公式に傳へられてゐるフランクは漸落しつゝあつて一磅に付き八十六フラン九十サンチムとなつた

濠洲の國防は日本と同樣に
せよと國防大臣ボ氏力說す

【メルボルン十六日發電】濠洲國防大臣ボードン氏は廻航中の英國巡洋艦デユーンデン號乘組員に對して一場の演說を試み濠洲は各國がワシントン會議に於り海軍力を增加する事に失望したと語り且つ日本は國防費撤廢を誠議してゐるが濠洲は日本と同一の環境に居らねばならぬ叩ち濠洲國防費は五百萬磅では不足である二千三百萬磅を要さねばならぬと力說した

選擧演說妨害
次第に暴行化す

【ウオルバハムプトン十七日發電】

鐵道直營が實現しても
從業員の生活を脅威
するが如き事は全然ない
—總督府某當局語る—

朝鮮鐵道直營問題に對する京鐵局員の反對陳情等に就き總督府某當局者は語る

直營問題は未だ決定せぬ問題で、中央政府に於て鐵道會議の上決する問題であるから未だ決定せぬ先から取越苦勞して種々心配されて居る樣であるが若し直營になつた曉は

人員の淘汰は全然なく
局員は其儘全部引繼がれる

…監理の際であるから直營後は人員の淘汰が行はれはせぬかと云ふに在るが之に對しては朝鮮線は省線や滿洲線に比較して元來人員の割合が少い鐵道であるから自然淘汰の餘地はない殊に現業員には全く餘裕無く所管の如何に拘らず必要丈けの人員は必要である。又營業線路が每年增加し其運轉も年々增加するから將來現業方面の人員は年々增加を要すこそすれ之を減ずると云ふ譯には行かぬのである要するに淘汰問題は全然杞憂に過ぎず唯一委任解除の場合には現在全局員が其儘引繼がれる事は當然であらう

とすれば之に對抗する事は出來ぬ只其の直營に成れる場合を想像して不安がある樣であるが鐵道も至大たる大會社であり政府とても決して無理な事をするものではない。之を稍具體的に考察して見ると先づ第一に心配されて居る問題は

退職手當
も心配いらぬ

第二に退職手當を心配されて居る樣であるが退職手當は鐵道內規に依る額を低減される事勿論であらう其支出の方法負擔の方法等に就ては政府と總督府との間に協定さるる事と思はれるから是亦格別杞憂を要せずと信ぜられる

俸給引下は
全然あるまい

委任解除後の俸給問題は現在の局員の月收額は官營の下に於ても不當のものとは認められぬから之を引下げる如き事は無からうと思はれる

人事待遇問題
相當考慮される

其他の人事待遇は鐵道の特別業務たる關係から普通官廳と同一に取扱ふ事は出來ないであらうから鐵道省の例もあり賞與の如きも年二回に支給されるであらうし現業員に對する共濟組合の施設として年金法を設くるが如き其他從事員の福祉…

昇進を阻まれる事はない

次に官營となる時は任用令の制限に依り試驗合格の資格無きものが昇進を阻まれざるやと云ふ心配もある樣であるが之に關しては從來鐵道國有買收の際に於ける慣例もあつて試驗合格者に非ざるも夫れ〴〵合格者と同樣に昇進の途が開かれる事は當然であるから此の點に就ても何等の危惧を要すまい

局員諸君
の自重を望む

之を要するに何等直營後の身分待遇に就き特に心配を要するが如き事は無きのみならず現在の委任制度は中間的不徹底なる制度であるから從つて始終不安定にして納付金契約改訂の都合の如き常に問題を惹起して動搖を免れず之が爲め局員全般が各種の變態を抱くのみならず鐵道本來の事業の進步改善を計る上に於ても障碍をなすものがあつたが之等を悉く變除されて從事員の身分も安定し鐵道本來の事業の爲に充分の努力をなし得る事となるべく此際京鐵局員諸君は社會的に重大なる影響を有する其の職務に鑑み深くも輕率妄動を愼み同情ある自然の解決を待つのが此際局員諸君の執るべき正しき行き方であらうと信ずる。云々

暫く鳴りを靜めたが
十月會の結束は堅い
徹頭徹尾紳士的行動に出たいと…幹部の一人は語る

非常の勢ひで勃發した直營反對的氣分も幹部の鎭撫に依つて一時挫を來さうとして、幹部の態度を責る強硬論者もかなり多くさうした應へ切らない氣分に痛く憤慨したらざるものあるとして直營會の如き世間より過激視せられて居る團體が產れ出たのであるが右に就て十月會の幹部の一人は語つて曰く、實際上と下との中間に挾まれて困りましたよ多數社利害に差異ある新舊の相違があり、員の思想にあり主張にも硬軟の隔壁がある許りでなく、上には幹部の…難があつたが幸ひ局長が今更解散を命じないと云ふ一種…

朝鮮鐵道經營問題
政府が納付金の不足を補助すれば
委任經營を繼續する
齋藤總督談

朝鮮鐵道直營問題に就て從事員が騷いでゐると云ふが假令直營になつても滿鐵や國家を對手にするのだから騷ぎ出す事はない委任を解除すれば滿洲線との連絡や統一上困難が伴ふと云ふ者があるが、之等は素人の考へで同じく國家が經營するものに支障の生じる筈はない、退職手當は滿鐵から出すのが普通だと云ふけれど其處は總督府も考慮せねばならぬ所で之等の金は一時的のものだから決して從業員が困難に陷る樣な事はすまいと思ふ又從業員も移管したとて職を失ふ譯でなく官吏になつたら手當が少くなると云ふのは

慾の問題

だ、鐵道移管は當時相當の利益を見た爲め行つたのであらう然し之が思ふ樣に行かなかつたのであるが元來から云へば直營にして置く事が當然であつたもので現在年々の水害に際しても總督府が復舊費を出して居り又滿鐵が復舊個所を調查して鐵道部に報告し鐵道部は之れを調查して居るのであると云ふ樣な煩雜な手數を經て居るのでこれが直營ともならば事務の簡捷上にも現在鐵道部の失費をはぶける理由となる目下政務總監が交涉して居るのは勿論

相當考慮

直營を前提としてのものであるけれども政府の態度が納付金の不足額を補助するとならば政府に於て納付金の上に相當考慮して貰ひたいと思つてゐる何しろ納付金は總督府の財源になつてゐるのであるから若し滿鐵で納付金が總督府の要求通りに行かなければ政府に於て不足額だけ補助して呉れると云へば繼續したいと思つてゐる…直營となる事になるならば此際に行ふ事が得策でこれを過ごせば又三ケ年の契約をする事になり來年度は困難な時日をもつて直營が出來るかと云ふがこんな事は行はうとすれば明日からでも出來る問題だ

郵船社長に白仁氏決定す
初めは其任に堪えずと固辭したが農相の贊成を得て就任を承諾

【東京電報】郵船會社後任社長に就き…鄉誠之助男、岩崎小彌太男、井上準之助氏等間に適當の人物を詮衡した結果鄉誠男の發議に依て第一候補者として現八幡製鐵所長官白仁武氏…候補者…最近上京中の白仁氏を鄉男は自邸に招き諒解を求めた所白仁氏は余は明治二十三年大學卒業後司法省參事官を振出しに北海道參事官…民政長官等官吏生活を以て一貫として七十六歲の老齡なれば今更民間會社に飛び込み殊に郵船の如き紛擾大きい會社に居るはその任に堪へずと固辭したがその後…岩崎、鄉男の三氏と合議の結果一應內諾を與へた後高橋農相と會見しこの顛末を陳べた所農相も老後の一花咲かせるのもよからうとの賛意を洩したので白仁氏も遂に決する所あり就任を決定すること〻なつた

白仁長官辭表提出

【東京電報】白仁製鐵所長官は二十一日辭表を提出する事になつた

勞農を承認せよ
佛議會委員より首相に進言す

【巴里十七日發電】佛國議會の外務委員はエリオ首相に對し勞農政府は長期の試練に堪へたる事、延引政策は拙劣なる事佛露兩國從來の親交を考慮する事等を擧げ勞農政府承認を進言した

の諒解の下に會の色彩を穩和化して倒產新なる結束の首途に向ふこと〻なつたのです『幹部を信賴して時局の推移を觀望することに決定した』事に就ては實徹會一派の少壯氣鋭の者は勿論幹事の內にも又一般局員中にも慊き足らぬ感があるさうだが、併し幾ら騷いでも今の情勢上已むを得ぬのである、只唯結束を堅くして他日形勢惡化の際に備ふることが最も策の得たるもので、本來の鐵道業務遂行に難意があつてはならぬ、意味から云つても又已むを得ぬのである

『徹頭徹尾紳士的行動に出て苟且にも輕擧妄動は愼む』てふ標語は吾々幹事として最も信せねばならぬ『死すとも役人にはならぬ』云々の響ひがあつたにせよ所謂勞働者の人々によつて企てられ實現するとは信ぜられぬ、自己の利益のみを知つて他の利害や事物の道理が判らぬ所謂肉勞働者と同一視すべきものではなからう、推察するに靑年の意氣と家庭的緊累の無い境遇の人々であるから口にしさうな言分である併し苟も從事員一同の利益及意思を代表する十月會が秩序正しく具體化した今日であるから吾等としては極力貫徹會は崩壞へて萬事を十月會に委せて貰ふ所つた

鐵道主任會議

二十日より三日間京城鐵道局特別會議室に於て各道の鐵道事務所運輸主任各驛長各區長の會議を開催する由

鐵相と三派會見
十四年鐵道建設改良に就て說明

【東京電報】與黨三派委員は十七日仙石鐵相と首相官邸に於て會見し鐵相は先づ十四年度鐵道豫算を說明し殊に鐵道改良の方面については政府公債政策の影響を受け從來の建設費は公債に依つてゐたるを以て一時繰延をなす爲め改良費に一億二千二百萬圓建設費に三千三百萬圓の豫算を採る旨說明し當局としては決して改良を等閑に附せず建設も豫定の四十八線…十四年度より…に完成の豫定にて…二十五年度に完成の…

官業勞働關西同盟大會

【東京電報】官業勞働關西同盟第二回大會は十七日午前十時半より大阪で開會各地代議員百二十名出席し左記議案を一致可決し午後四時閉會した主なる議案左の如し

一、關西同盟機關紙を統一して每月二回發行する事
一、各勞働團體の會議機關を設け解放運動統一の件
一、官營工場拂下反對の件
一、社會運動取締法案反對の件
一、勞働組合法案に對する件
一、各官共、共濟統一の件

等であるが緊急動議として左の決議…

朝鮮師團の高定員存置
豫算百六十萬圓計上
滿洲守備隊存續費は百七十萬圓

【東京電報】朝鮮師團高定員並に滿洲獨立守備隊存置については陸軍の如く明十四年度の新規要求として軍務局で交涉する事となつたが其の要求額は朝鮮師團高定員存置百六十餘萬圓滿洲獨立守備隊存續百七十餘萬圓である

徐氏放逐を訓電
上海領事團に

【上海十七日發電】北京外交團は上海領事團に對し盧永祥氏の隨從官と徐樹錚氏の放逐方を訓電して來たので領事團は徐氏に對し…する事に決定した

下岡總監動靜

【大阪支局特電】下岡總監は…局長、小河秘書官及び…を隨へ十八日午前八時發列車で來阪旅館花屋に入つた、同夜は大阪の主なる實業家約六十名を堺卯に招待する筈、總監は十九日大阪發一旦東京に歸り本月末…

褒賞授與式
北鮮聯絡共進會
入賞者九百餘名に達す

【淸津特電】北鮮聯絡共進會褒賞授與式は十七日午前十時より第二會場公會堂に開かれた官民來賓…入賞者等六百餘名出席總裁代理として…三道知事…

漸次具體化して來た
全國製鐵所の統一
八幡製鐵所を拂下げて東洋製鐵其他と合同せしめる農相の計畫

【東京電報】高橋農相は多年の持論たる產業立國主義の見地より製鐵の統一を計る爲八幡製鐵所を東洋製鐵、三菱製鐵、釜石製鐵、田中鑛山製鐵等の製鐵所の合同を行ひ都合二億圓の半官半民の大會社を成立せしめ漸次步を進めて全國五十餘ケ所の製鐵所に及ぼさうとしてゐたが最近に至りて愈々これが實現に着手する第一步として政府の八幡製鐵所を拂下ぐると共に云ふ計畫を樹て〻農商務部內の意嚮を纏めてゐる

勞農政府の大計畫
極東本國間の交通開始に努む

【莫斯科十六日發電】勞農政府は從來交通不便であつた西伯利の極北地方と本國との交通を開始すべく目下頻りに努力してゐるヤクーツク共和國は右地方の住民に必要な物資を供給し同地方から毛皮を輸送する目的でレナ河口とコリマとの間に定期汽船航路を計畫してゐるが本計畫は浦鹽と北海とを結びつくる海上の定期航路として最も重要なるものと認められてゐる尙北海沿岸は今日まで全然世界の交通…

通話區域と料金
＝鮮滿間電話＝

遞信局では多年の懸案として鮮滿間聯絡電話の完了に腐心して居たが愈々二十一日より開始の事になつた其通話區域及料金左の如し

通話區域	通話料	呼出料
安東縣 郭山間	五〇錢	二五錢
同 定州間	五〇錢	二五錢
同 新安州間	六〇錢	三〇錢
同 平壤間	八〇錢	四〇錢
同 鎭南浦間	九〇錢	四〇錢
奉天 長春 新義州間	九〇錢	四〇錢
長春 平壤 同間	一、四〇錢	四〇錢

辭令 (十六日附)

總督府郡屬 趙秀衍 任總督府郡守 敍高等官八等 忠淸北道堤川郡在勤を命ず
總督府道理事官 川崎勇 同 道技師 鈴木千代藏 陞敍高等官六等(各通)
總督府技師 高石政次郎 依願免本官
忠淸南道大田郡大田面長 江田重雄
總督府高等普通學校長 齋藤欽二
…に依り本職を免ず…出府を命ず

公會私會

◇渡邊課長講演 殖產局農務課長渡邊忍氏は來る廿日午後三時より本府第二會議室に於て歐米視察談と題し一場の講演をなすと
◇港灣協會評議員會 二十三日午後一時より第一會議室に於て港灣協會評議員會を開催すると

人事消息

▲林茂樹氏(專賣局製造課長)平壤支局事務監督の爲め約一週間の豫定にて十九日出張
▲岩山宣貞氏(林野調查委員會事務官)不服申立事件調查の爲め江原道高城郡へ十九日出張
▲武田左實太郎氏(林野調查委員會囑託)同上忠北淸州郡へ十九日出張
▲桑原一郎氏(水產課長)…二十二日…の豫定を以て十七日出發
▲宮原武五郎氏(鑛務課技師)京畿道抱川郡へ…五日の豫定を以て出張
▲吉村獨英氏(全南觀光堀吉農場主)十八日朝入城朝鮮旅館へ
▲小田內通敏氏(早稻田大學講師)十八日午後七時入城同上
▲桝谷下關商業會議所會頭一行四名 十七日午後五時五十分着列車にて金剛山より歸途入城
▲矢鍋參事官 十七日午後十時發東京に向ふ
▲尾崎行雄氏 十七日午後五時…金剛山より歸城
▲元山中學校生徒六十七名 十八日午前七時十五分入城

茶話

齋藤總督は北鮮視察の途次鬱陵島にまで向つた▲而して鬱陵島では郡吏に及んで鮮人有志數名に面會し大いに快談を交換したものだ▲我齋藤さんは外で而も郡吏鮮人に面會すると云ふことは警備方面に於ても大分心配したものだつたが▲然しながら大膽なる我總督は極めて平氣なもので直に彼等に面會し靜々として說く所長く又彼等の意見をも熱心に聽取した▲彼等は一度此の總督の風采に接し其態度の高さに接して…且つ總督を信賴し且心服して大滿足の色に…▲之れを以て見ても吾總督の地方巡視……それは誰らずして非常に統治上效果の多いものと云ふべきであらう▲朝鮮統治の直接問題は何分變化するが一寸見當が附かぬが▲要するに其衝に當する處は一に政府の熱心一にある樣だサア政府の扇は右に轉がるか左に轉がるかが當分の問題だ。

天氣豫報 (十九日)

曇一時晴
十八日正午 …
十七日最高 …
滿潮(月に) 午前八時二十分 午後九時…

柔道衣 劍道衣
東京市外西巣鴨町二〇五〇
酒井一朗製作所
電話小石川二九〇六番

御家庭の福音!!
ほまれ滬味噌が出來ました。
滋養分の豐富と美味と經濟。
特製ほまれ滬味噌
釀造元 京城 ほまれ味噌
御近所の食料品店で御買求めを願ひます。

創立 明治三十一年
倉庫業兼營
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 和田一郎
副頭取 趙鎭泰
專務取締役 古宇田巖
支店 京城鍾路、同南大門外、同本町二丁目、同本町五丁目、京城東大門、同龍山、仁川、平壤、利川、淸州、釜山、元山、群山…

肺病全治御禮
私、此數年間肺を病み到底助るまいとは思ひながらも恐しい死の前にはどうかして逃れたいものと一心に療養致しましたが…去り多が來る毎に…前太宰府町永光園の…三ケ月間服用の所こは又意外にも危き一命を取り完全に根治致しました…より感謝すべき事もなきかと存じ…御參考までに此を御知らせ申上ぐる次第であります
小倉市外西原町 岡本いそ子

秋季競馬大會
十月 十七日(祭日) 十八日(土曜) 十九日(日曜) 二十日(月曜)
入場料 五十錢
依例勝馬投票施行
群山東海岸不二埋立地
主催 群山競馬俱樂部

毛目出し帽子
▼大見切品發賣
昨年の持越品にて原料工賃とも安價なる本品を特に原價採算以下にて此際大見切發賣す、在品限りに付至急御注文を乞ふ
▼小賣は不致候▲
大阪市北區老松町 商道社營業部 振替大阪三二四七番

戲曲 いまの再婚
井口彌壽男著 淺川伯教裝幀 (最新刊)
四六版箱入美本 定價金壹圓五拾錢 送料金拾貳錢

美しい戀愛劇
發行所 東京市下谷 京城府黃金町二丁目二百番地 敬文堂出版部
賣捌所 培文堂書店

神嘗祭 各宮御禮拜

十七日は宮中賢所神嘗祭につき攝政宮殿下を始め閑院宮殿下伏見宮殿下、各皇族殿下並に首相以下各大臣參列の上午前九時四十分參拜に御拜、攝政宮殿下の御禮拜あり次で各皇族文武百官の參拜があつた（東京電話）

天長節御宴 一千名御召

三十一日の天長節祝日には皇族殿下、各國使臣各大臣等一千餘名を召され御宴會を催され合旨を賜ふ由

明年秋上野公園で 日伊美術展覽會 伊太利の國寶も出品

日伊交換美術展覽會に就き今回更に伊太利と我國間に交換美術展覽會開催の議起り伊太利政府より正式の要求があつて種々交渉の結果其第一回展覽會を明年十一月上野公園にて開催するに決定した之が爲め伊太利政府は多大の豫算を計上して議會も通過し目下出品の選定中である作品は伊太利時代の作家は勿論世界美術界に有名である術家の作品も出品されるが中にも國寶の繪畫となつてゐるものも從來絶對に國外に持出す事を得なかつた例を破つて政府の手を以て出品される筈である我國は十五年に日本美術展覽會を伊太利のローマに開き現代作家の名作は勿論古名畫を出品すべく近く之が委員も任命される筈である（東京電報）

鮮人學生聯合 大運動會 十七日擧行

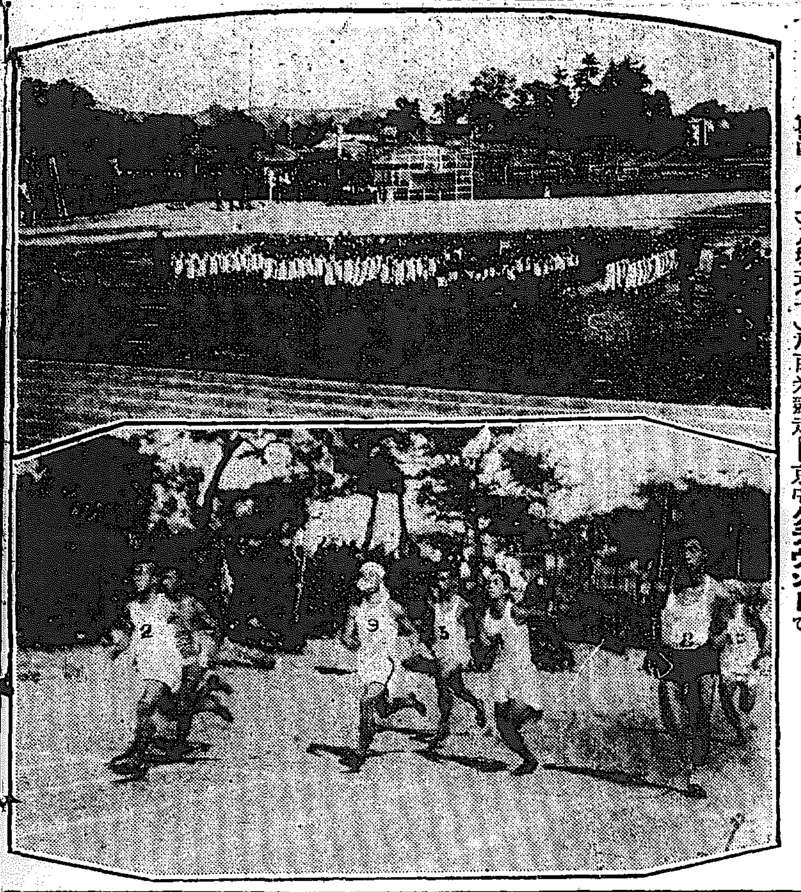
東京に在住する朝鮮人學生聯合會は在京朝鮮學生教育會主催の下に秋季陸上大運動會を十七日府下中野明治大學第二運動場に於て開催したが學生並に主なる觀客共に約七百名午前八時半より運動を始め長距離競走、跳躍、高飛、幅飛、擲槍、擲鐵、提灯競爭、綱引等四五回の競爭をなし午後五時三十分最後の英國陸競爭に各校私立大學及專門學校同窓生之に參加し長距離競爭に於て明治大學同窓會が優勝の榮冠を飾つた本年春季大運動會に比し參加者は幾分に増加つたやうである

東北地方 初雪 昨年より遲い

支那黃河から日本海をかけて北東に亙る廣汎な高氣壓の影響を受けて內地の寒さは可成りひどい爲めに所々に初雪を見た、福島縣吾妻山青森縣岩木山、北海道駒ヶ嶽等には昨年より五日遲れて初雪があり、秋田、山形地方にもみぞれ交じりの初雪があつた（青森電報）

吳佩孚將軍の夫人 戰線に傷兵を慰問 大總統は夫人を招待

【北京十七日發】吳佩孚夫人は戰線の奉天軍を慰め同時に負傷兵の陸續兵卒の勞を撫し慰め北京より戰線に赴いた大總統は吳夫人の爲め特に宴を開き之を招ふた



全鮮中學校聯合第一回陸上競技大會
寫眞＝（上）入場式（下）八百米競走＝京中グラウンドで

火蓋を切つた 廿師團機動演習 京城を中心に南北へ 戰線百數十哩に亘る

本年の第二十師團秋季機動演習は十七日より第三十九、第四十兩旅團北京城を中心に南北京釜（四〇）京元（三九）兩線百數十哩に亘つて一齊に開始せられた南方第四十旅團は大田步兵第八十聯隊は十六日出動し目下平澤平野以南に於て野外教練を實施し龍山步兵第七十九聯隊聯隊長以下一千二百名は十八日出發東浦鐵附近始興平野に展開しつゝ工兵一ヶ中隊を加へ水原附近を中心に二十一日より三日間對抗する第四十旅團演習に移りつゝあり

第三十九旅團七七、七八兩聯隊は京城以北の地帶に於て、平壤七十七聯隊は平壤出發途中教練を行ひつゝ二十一日よりの旅團演習に對抗す可く徐々に南下しつゝあり

步兵第七十八聯隊は十七日羅南館より汶山長湍一帶に於て野砲兵聯隊も參加し野外教練實施を開始した京城を中心として百數十哩に亘つた京釜、京元、京義各沿線の山河には演習氣分橫溢し戰機迫る秋季機動演習を控へて士氣頓に緊張し一般の耳目を聳動して來たものであらう加ふに今年は弘田中將の統監する演習の壯觀は見るべき點に大いに注目されて居るが演習は二十一日より二十四日まで旅團演習で二十五日より二十九日まで師團演習に移り二十九日觀兵式舉行で終はりとなる

參加軍隊宿泊 町總代打合

龍山方面には機動演習參加の軍隊が來る廿四日入込み民家に宿泊するのでこれに關し十九日午後一時より府龍山出張所に於て同町總代打合會を開き又軍隊が入城するに就き廿三四日頃同町總代打合會を開くと

平壤から京城 二十機空中輸送 廿二日翼を列べて飛來

本月下旬京畿地方に於て行はれる第二十師團機動演習に平壤飛行第六大隊では偵察機十三機參加する事となり飛行隊本部に十八日平壤發京城に向ふ由である。同飛行機は三機を汽車輸送とし十機は空中輸送の事に決し空中輸送の十機は二十二日平壤發京城に向ふさうであるが平壤飛行隊が總機飛行をなすは全く今回が始めてで當日の壯觀や察すべしである（平壤特電）

朝のブーは 七時に鳴らす

龍山米倉町商店會のブーは從來朝は六時の報時を行つてゐたが昨今夫れでは餘りに早過ぎるとので來る二十日から朝は七時に鳴らすると由

匪賊一名射殺

十月七日夕刻平北東興警察署員は昌城郡東興面大興洞に於て匪賊二名の潜伏せるを逮捕せんとするや賊は頑強に抵抗せるを以て遂に一名を射殺し露式長銃一挺丸八十一發其他證品を押收した（十八日平壤）

今の家屋を旭町へ移して 新に家運を盛り返さう 整理すればまだ少しの金は殘る

料亭花月沒落物語（四）

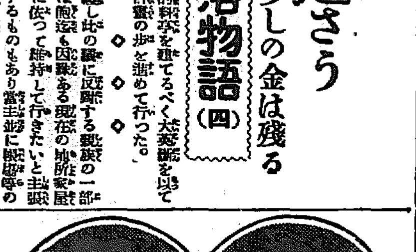
花月を今日に至らしめた直接原因が他人の保證かぶりからだとするなら恐らく濟華亭の倒潰に依つて蒙つた二萬圓の保證金支拂と元町に於ける保證かぶりが最も致命的痛手を與へたのも同然だつた。何れも前年になつてから綏ひかぶさつて來たものであつて餘儀なく三萬圓からの現金を吐き出さなくてはならない破目に陷つたことがつゐ周圍の債權者に不義理を與へる結果になつた

◇◇◇

それと言つても皆小口の借金であつて全部纏めてみた所で三四萬圓位のものだと言ふのである。然し其外に本店の土地家屋を擔保として八萬圓の負債がある所よりすると、どうしても十四五萬圓の見積りになる譯である。併し現在同亭の營業振は兎角他の料亭、例へば千代本、京喜久等に壓倒され勝の狀態に在り此の儘では到底末の見込みがないと自覺した當事者等は此の際新機一轉を試み古びた現家屋を旭町の鮮銀社宅敷地に移し此處の八百餘坪の土地に完備した理想的料亭を建てるべく大英斷を以て計畫の歩を進めて行つた。

◇◇◇

然し此の際に反對する親族の一部は飽迄も因襲ある現在の地所家屋に依つて維持して行きたいと主張するものもあり當主夫婦に賛成等の意見の異りで其の切り策に力を注いで居る有樣である。改革派たる當主夫婦等の計畫は旭町の移轉先の地所八百坪と現在の百坪とを交換したなら餘り入費の必要もなくして濟むだらうと言ふのである。それで先づ當主夫婦は恐らく東上して金融の都合旁に奔走し漸く先方の承諾を得るに至つたものらしい。それにしても現在の同亭を處分するとまだ〳〵二十萬圓近くの金になり負債全部を支拂つても尚幾らかの殘りが出るだらうと言ふことである。



◇◇◇

然し何れにしても同亭が新に家運挽回を計る爲めに現在の地所を離れて行かねばならないことは恥かぬ所だらう。それは恐らく來年の氷季節と同時に實行される筈であるが事此處に至るまで一寸も之を知らなかつたのは別莊に居る隱居のおよしさんだつた。當主は此の隱居に苦勞させまいと言ふ事から押へて默つて居たのであるが既に絶對絶命の今日となつては如何ともすべがなく遂に一週間前に此事を打明けたのであつてそれ迄隱居は一寸も知らずに太平の夢をみて居たのであつたから其驚きは如何ばかりであつたか、想像するまでもなくそれからと云ふものは毎日泣きの淚で居る氣の毒な有樣である（つゞく）

寫眞は（右）その頃花月の仲居今金水の女將おかつさん（左）花月で一番古い仲居おつるさん＝

安昌男君 姉の病氣見舞ひ爲け鮮へ歸る 支那行は嘘ですと語る

來る十一月帝國飛行協會の飛行大會に參加し名譽の榮冠を獲やうとし自信と又一般の期待を集めて居る鮮人飛行家安昌男君は先日東京の某新聞で東航として戰爭に參加するだらうと言ふ事を報道されたゝめ危く壯士の爲め命を狙はれんとして無事なるを得たが實家に居る同君の姉が病中であるのを見舞ひ旁久しぶりに歸鮮することになり數日前東京を出發し鹿兒島に十四日到着尚も十六日に同君の弟子格たる本田飛行士が鹿兒島市外に飛行場を設けた記念日に相當し盛大な開場式が行はれたのに參列し初飛行を試み鮮かな技術を發揮して無事同地を出發十八日朝八時京城驛着の列車で歸城し直に龍松洞一一三の實家に入つた、記者りついたばかりの所を訪ねると同君は頗る快活に「飛んだ誤報が傳へられた爲め危くやられやうとしました鈴木君こそひどい災厄に遭ひ氣の毒でした私は全然知らないことで決して支那に行かうなど〻は思つて居りません今度の歸鄉は姉が病氣である爲め見舞ひに來ましただけのことで外に意味はありません十一月の大會には是非共參加します」と語つた

全鮮中學校 第一回競技大會 第一日の大盛況

全鮮中學校第一回競技會第一日は秋晴の空美しい今十八日午後一時から京中グラウンドに於て擧行された參加學校は京城、龍山を始め仁川、元山、大邱、大田、釜山の各校を網羅し各校とも應援隊を繰出して氣勢を擧げ各校それ〴〵の應援旗を翻して陣取り壯觀を極めた先づ午後零時卅分に各校選手の入場式を行ひ續島聯中校長の開會の辭があつて同一時から競技を開始した競技は青年部幼年部に分ち八百米突、二百米突、千五百米突、四百米突、百米突、メドレーリレーの各種競走を行つたが各應援隊の應援振り勇ましく元氣溢るゝ競技であつた午後二時半までの成績は次ぎの通り

▲八百米競走（幼年部）一等元中韓、二等平中高井、三等釜中田口、四等京中木田▲（青年部）一等釜山藤瀨、二等京中松本、三等龍中李

▲二百米競走（幼年部）一等京中清水、二等平中竹內、三等龍中寺田▲（青年部）一等平中[illegible]、二等龍中田中、三等京中平野

▲千五百米競走（幼年部）一等釜中友枝タイム四分五十九秒、二等京中若松、三等元中韓

二高女優勝 全鮮女子競技 大會終る

第二回全鮮女子オリンピック大會は豫定の如く十七日午後四時盛會裡に全競技を終り全得點（第二高女四十點、元山高女二十九點、第一高女二十五點）の最優勝校第二高等女學校に優勝旗を與へ第二バスケットボール優勝の第一高等女學校選手に總監カップはバレーボール優勝の第二高等女學校選手に其他各競技の勝者に賞品の授與を終り同五時閉會した尚ほ各競技の決勝左記の通りである

▲走高跳 二高女 松永 一枝（一米一九、五）
▲バレーボール 二高女十五點
▲走幅跳 二高女 山崎 春日（四米一七）
▲砲丸投 二高女 土肥 治子（七米六九）
▲四百米リレー 一等 南大門小學校一分六秒 同 進明普通學校一分九秒
▲五十米 元山 猶口 靜江（七秒五分ノ二）
▲四百米 元山 佐伯 節子（一分十四秒）
▲バスケットボール 一高四點
▲二百米 元山 中井 靜江（十三秒五分ノ二）
▲八百米リレー 二高女（二分十秒五分ノ一）
▲四百米リレー 二高女

道廳軍捷つ

大每主催の庭球大會は十七日午前九時より京日コートで開催道廳洪佐藤組よく當り決勝戰で鮮銀具、市川組を破りて優勝した六回戰以後の戰蹟左の如し

六回戰
鐵一（安 金）三 ○鮮銀（高倉 福田）
鮮銀（村上 原口）三 ○警備（小杉 小野）
道廳（洪 佐藤）三 二 法專（[illegible]）

七回戰
工試（廣川 長沼）○ 三 鮮銀（具 市川）
鮮銀（具 市川）三 東拓鮮銀（村上 原口）
鐵一（安 金）二 三 道廳（洪 佐藤）

決勝戰
鮮銀（具 市川）二 三 道廳（洪 佐藤）

稻門勝つ 五A對零三田敗る

三田稻門第一回野球戰は十七日午後二時三十五分より早大戶塚球場にて開始五A對〇にて稻門大勝すバッテリー、稻門、竹內、久慈、三田、小野、森（東京電報）

硬球單複試合 總督夫人參觀

十八日午後一時半より貞洞ソールユニオン俱樂部コートに於て外人團對京城俱樂部の硬球單複試合を擧行したが各五組出場し總督夫人其他多數の參觀あり盛況を極めて午後五時終了した

大邱一六米友一

全大邱野球團は釜山米友軍を迎へ十七日午後二時より公設グラウンドに於て開戰オール大邱軍の先攻にて決戰の結果釜山軍甚だ振はず十六對一にてオール大邱の大捷に歸したオール大邱と長崎高商との野球試合は十八十九の兩日二回戰を爲すことに決定十九日は午後一時より開始する筈（大邱特電）

醉ふて亂暴

府內公平洞一三三宋元植（廿八）は十六日午後三時半ごろ府內公平洞八三飲食店金鐵俊方で飲酒中酒のことから主人と口論の末大立廻りを初め窓硝子を破壞するなどの亂暴をするので鍾路署に同行されきついお目玉を受けた

賑ひ溢るお祭りの宵 黃金町の血塗れ騷ぎ 六十爺短刀を揮つて 町內役員を刺し殺す

十七日大祭第一日の午後六時半頃黃金町三丁目に於て同町評議員關根金作（四〇）が同じ町內の桶子長谷川喜衛門（六〇）の爲に短刀を以て刺され時ならぬ慘劇を惹起した兇行に先だち同日午後三時半頃同町の山車を山田醫院前の路上に据えたことを關根が通行に妨げとなるからと反對したのが發端となり酒の勢ひで加害者長谷川と爭論を惹起し其場に於て長谷川は關根の爲め毆りつけられたのに憤り一旦其場より自宅に歸り短刀を呑んで再び引返し來て恨みを晴らすべく關根に向つてかゝつた末短刀を以て同人の腹をめがけて突き刺した所不意を食つた關根は脾腹を深く抉られた爲め臟腑を出し見るも慘憺たる痛手を負ひ其場に打倒れたので大騷ぎとなり直に病院に擔ぎ込んだが生命危篤で絶望に瀕し目下昏睡狀態に陷つて居る一方加害者長谷川は本町署に引立てられ司法係で取調べ中因に被害者は京城古物商組合長である

街々を繞る 歡樂の大渦 京城神社大祭第二日

京城神社秋季大祭第二日目の十八日は前日に引續き快晴、賑はつた婦人たち、思ひ〳〵に扮裝した變裝者が街を通つて朝からお祭り氣分がただよう、この日龍山御旅所では午前八時祭員一同參集、御旅所御發輦祭があり午前九時先驅部一隊を先頭に御神輿は兩側に二の鳥居を見んと人垣を築く中を築町四つ角から龍山各町々練り歩き正午先頭は太平通りより本社前廣場に到着する幾百十數臺の鉾が黃に紅に金色燦として陽光に輝いてゐる。日章旗、音樂隊の響は晴れ渡つた大空に流れてゆく、御神行を見んとする群衆は本社前廣場に犇めき渡つた、御神幸の行列に供奉した各員等は東本願寺布教館で饗食を繞り、午後一時、列を立て直して鍾路へ向ひ各町を練つて午後六時本社還御直に還御祭を擧行した

黃金町小火

十七日午後十一時三十五分黃金町四の六六セメント販賣所光藥方から出火したが直に消し止め大事に至らなかつた

獻饌を破る

[illegible]

生活難縊死

[illegible]

鮮人列車妨害

[illegible]

月收三百円 地方販賣員募集

小資本地方でダレでも出來キット儲かる電燈を三倍明クする特許發明器ハガキ申込次第説明書規定書販賣實驗談其他參考書等無代贈呈す
名古屋中區柳角 大形商店
電話三四四四

株券無効公告

一、第四十二回第四號株券自第一號至第[illegible]……
大正十三年十月九日
朝鮮京南鐵道株式會社

第九回決算公告

（自大正十三年二月一日 至大正十三年七月三十一日）
貸借對照表

資産之部
未拂込資本金 六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
監理勘定 一、〇〇〇、〇〇〇
天安禮山間鐵道建設費 三、九九七、五八八、〇九〇
禮山廣川間鐵道建設費 一、二三六、一四八、七五〇
廣川群山對岸間鐵道建設費 [illegible]
天安安城間鐵道建設費 [illegible]
貯藏物品 [illegible]
假出物品 [illegible]
未收入金 [illegible]
假拂金 [illegible]
有價證券 [illegible]
銀行預金 [illegible]
振替貯金 [illegible]
現金 [illegible]
合計 [illegible]

負債之部
資本金 一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定準備金 [illegible]
別途積立金 [illegible]
天安禮山間鐵道財團抵當借入金 [illegible]
政府補助金 [illegible]
契約保證金 [illegible]
假受金 [illegible]
補助外勘定 [illegible]
未拂金 [illegible]
未拂配當金 [illegible]
當期利益金 [illegible]
合計 [illegible]

財産目錄ハ貸借對照表ト同一ニ付省略ス

大正十三年度上半期損益計算書並利益金處分案

一金參拾六萬九千貳百七拾武圓武拾參錢也 總收入金
內譯
金拾貳萬六千四百七拾六圓五拾錢 運輸收入
金貳千貳百拾參圓七拾八錢 雜收入
金貳拾四萬五百八拾壹圓九拾五錢 政府補助金
一金拾貳萬參千八百七[illegible] 總支出金
內譯
金拾貳萬參千八百七圓五拾九錢 營業費
差引
一金貳拾四萬五千四百六拾[illegible] 當期利益金
右利益金ヲ處分スルコト左ノ如シ
金貳百四拾四圓拾四錢 法定準備金
金四百八拾八圓貳拾八錢 役員賞與金
金八萬四千七百參拾貳圓 借入金利息
金拾六萬圓（拂込金ノ[illegible]ニ對シ年八分ノ割） 株主配當金

右之通リニ候也
大正十三年九月二十九日
朝鮮京南鐵道株式會社
專務取締役 秋本 茂
常務取締役 秋本豐之進
取締役 立川 芳
取締役 大內 暢三
取締役 堤 清六
取締役 仲尾和三郎
支配人 番場 [illegible]
支配人 荒木武二郎
右調査候處相違無之候也
常任監査役 吉田 道夫
監査役 中村都次郎
相談役 山口 恒太郎
技師長工學士 竹內 健
取締役秋本茂[illegible]……
ノ陸果[illegible]……谷七松ノ三氏當選就任セリ

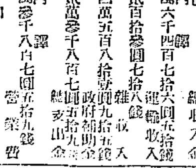
廣告

阿波足袋合資會社ガ阪田合名會社ノ登錄商標金時足袋ニ類似セル商標ヲ附シ製造中組合員ノ注意ニ拘ハラズ發送セルヲ發見スル所トナリ已ニ告訴ニ及ビタル所同業組合吾々ノ仲裁ノ結果坂田合名會社ニ於テモ寬大ナル處置ニ預リ圓滿ナル解決ヲ得タリ右廣告候也

大正十三年十月
仲裁人 德島縣足袋同業組合 役員一同

阿波國撫養町
金時足袋本店
阪田合名會社
御中

素敵に儲かる 松茸の年中栽培法



西洋松茸は年中栽培が出來ます消化がよく滋養に富み肉食の代用となります。栽培法は極く簡單で庭先、床の下、小箱の中どこへでも栽培が出來ます。何程多量に栽培しても販路に心配なく、罐詰として市場に出せば內地海外の需要は無限です。副業專業として利益が多いばかりでなく趣味の栽培は香氣馥郁たる高尚な植物ですから家の人に贈つて珍重がられ、見て面白く食べて美味く實益と趣味とを兼ねた面白い事業です。栽培法書は一部送料共九十五錢代引は拾六錢增◎商標菌種も販賣します菌種一枚送料共二圓二十錢引替十六錢增◎御註文の上は一手の都合はどこまでも責任を以て御指導致します
大阪天王寺石ヶ辻町 振替大阪三三〇一三番
壽農園

家庭に居ながら料理が覺えられる

▼料理法は、調味の方法と、材料と、盛り方とを、初步から順序よく家庭料理と講義錄として家庭に居ながら、職業の方にも、容易に習得せられる樣に、一冊ごとに順序を追つて講義錄は、各科一回に配付してあります。其の內容が如何に完備せるかは毎月一冊が送られる事で、發行以來十六ヶ年の間既に五十萬に近き會員を出した事によつても知ることが出來ませう
▼料理は、和洋、支那料理、日本料理、西洋料理、菓子、漬物まで、料理の一切を網羅してゐます。
▼其の特色は、材料道具を手近の物で間に合はせ、如何に實際生活に活用せしめんと苦心せし所にあります。
▼今や新學期開始、會員大募集中です。
▼入會は簡單で、ハガキに「講義錄送れ」と書いて申込めば、直ぐ會員に加へ、毎月一冊宛送ります。
▼會費は一ヶ月五拾錢です。何の手數も無い。
見本は郵券十錢にて進呈す
東京市牛込區[illegible] 東京割烹講習會 振替東京[illegible]

本舖 丸善化粧品部
カガシクリーム

北鮮の鱈漁業【三】
鱈の多く棲息する場所と　不可思議の其生活狀態

【元山】鱈は一般に南支那地方の需要であつて賦內或は粉碎して白米と共に炊合するか又は祭祀時等に於て其儀式食物に供することもあり其

需要 區域は非常に廣汎である如に近來需要は內地方面に於ても其需要次第に增大しつゝある傾向があり出廻り支那需要許りで無く南洋方面迄も多く顧客を有するに至つた、朝鮮に於ける鱈製品の集散地は矢張り其生産地に近い元山管內が第一で之に次ぐものは釜山である、元山管內から輸移出される鱈品は江原道慶北以北の鱈品であつて特に淸津は其七割迄を取扱つてゐる、鱈加工物の

鱈粕 等も之と同樣で需要區域である、北鮮に於ける鱈製品は殆ど大部分釜山に集中し注文津は地元或は多少附近の製品が集まり殆ども同樣であるが元山は鱈製の關係で鍾合する範圍が可成り廣い、城津以北の製品は殆ど大部分淸津に集中してゐるが之が取引方法は地方に依り多少趣きを異にしてゐるが多くは買込み鱈替付で送荷してゐるやうだ、移出地は神戶が主であつて下關が從であるが近來伏木、敦賀に仕向けられるものも多い、斯く移出額の增加と共に漸く品も亦改良を加へられてゐるので其販賣成績も漸次

良好 となつてゐる、元山稅關管內に於ける最近三ヶ年間の鱈品輸移出成績を見ると(單位斤)

	十年	十一年	十二年
元山	三四、八六四	一七七、三〇〇	三六四、三三三
淸津	七九九、三九〇	一、三三二、三三〇	一、三四八、八〇〇
注文津	二一三、四〇〇	一七九、六〇〇	二八七、三〇〇
長箭	一九一、四〇〇	三五三、七四〇	三一一、〇〇〇
雄基	—	—	三、六〇〇

等であつて鱈品は殆ど淸津に集中する如き狀態を呈してゐる、鱈の製造業を地方に從り多少趣きを異にして居る、江原道地方の如く投資者自身が製造を營むものと又

淸津 漁大津等に於て見るが如き營業主が漁撈者より生鱈を買受け直に其製品の一切を請負はしむるものとの二方法がある樣だが營業主即ち投資者は製造者たる事は同一である、最近は財界不況の關係で製造業も極めて不振を極めてゐるが是は獨り鱈加工に限つた譯で無い現在の漁業界如何は全く資金關係に支配せられてゐる點は云ふ迄も無い殊に水産業は他の產業の夫れと比し甚だしく趣きを異にし其收利の推算に於ても或は僥倖物の目的としても著しく

不安 不適當なものである事は免れ無い、將來何等の方法に依つて金融上危險の懼らぬ道が講ぜられたならば斯業の前途は更に新しい光明を與へられるに至るであらう(完)

鮮鐵移管は　果して策の得たもの?
安東縣としてはドンナものか

【安東縣】鮮鐵の官營問題は鮮鐵の門戶たる安東及び新義州には甚大の關係を有する問題なので頗る注目されて居るが之に關し安東某有力者は語る

『朝鮮鐵と滿鐵線が今日まで連絡統一されて居たものを今更之を短く區切つて所管を異にすると云ふのは果して進步した方法であるか實際と云ふ大局から見て果して策の得たるものであるかに就ては相當議論の餘地はあると思ふが併しながら總督府の方針は既に決定して居る樣に傳へられて居るから今更如何とも仕樣のない事である鮮鐵の官營は滿鐵としても重大問題であり且滿洲財界には大なる影響を與へる問題である實で釜山と長春を連絡する上に於て若し滿鐵本社を奉天に移せば鮮鐵は滿鐵に移管してもよいと云ふ意見が相當有力であつた大正六年には其內約が締結されたとまで云はれて居たが滿鐵は本社を奉天に移さないのみか滿鐵大連集中主義を執るので安奉線及朝鮮線は非常なる不利を蒙り朝鮮の經濟にも影響するので此の問題は立消へとなり却て今回總督府をして官營問題を執らしめたのであらう官營になつてからの鮮鐵が如何なる政策を實行するかは未來の問題で不明であるが併しながら滿鐵の政策に比して改惡さるべき筈はないと信じて居る却て安東、新義州などの爲めには好結果を齎すかも知れない云々』

南浦經濟概況

【鎭南浦】殖銀支店の調査による九月中の鎭南浦經濟概況は左の通りである

米 期米が保合に終始し中旬まで一高一低の狀況を持續した爲正米も亦前月末と大差なく白米阪神沖着四十二圓內外の强保合であつたが內地共に增收品がそれが跡り漸く米繩し大阪先物三十六圓六十錢迄上騰するに至つて地場相場も之に伴れて高騰し月末には白米が四十四圓で取引出來るに至つた、品薄の折柄とて商勢は比較的少なかつたが堅調の動きは極めて圓滑な取引を見た

大豆 では例の品薄で出廻り少く月初め安東神沖着二十七圓、月末二十二圓見當

小麥 は月初め三等品當地十六圓五十錢內外で出廻りも相當に盛んであつたが十日頃から旱魃入氣に依つて出廻りが減少し中旬には十七圓五十錢とチリ高步調で取引出來たが小麥關稅引上說と外麥高により遽かに暴騰し月末には十九圓から十九圓五十錢で暴騰の盛んに取引されたが前頭の關係上中旬頃から相當脫落な出廻りを見た

綿糸布 は上旬中は概合に商內がなかつたが中旬に至つて相場の落著と共に需要期の關係で相當の商內があり下旬に至つては鮮內相場高と共に漸次取引活潑となつた相場は月初め粗布九圓三十錢中旬九圓三十錢下旬九圓五十錢見當である

糖粉 麥粉は月初め四圓十錢見當であつたが漸次高値に向ひ月末四圓七十錢迄の暴騰を見、砂糖は內地高と爲替相場の關係上二十八圓五十錢から二十九圓八十錢迄騰貴した

金融 穀物類品薄の折柄とて前月に比し金融は至つて閑散を極めた、只多少內地向商品の取組に對し貸出の需要が稍活況を呈した位のものである。月末現在の鎭南浦各銀行預金は二三三六千圓で貸出しが九六五八千圓である

慶北產物　北鮮地方の需用關係
白紙莞草蓆表杞柳細工等有望　海產物麻布は見込みがない

【大邱】慶北商品陳列所工藝館では目下淸津に於て開催中なる北鮮聯合物產共進會に出品し此程發送したるが慶北より出品したるものは主として盈德、慶州、慶山產の白紙とし況を呈せる、慶北產の朝鮮紙等は非常の好評を博し出品十五枚は開館後數日の後に

悉く賣約濟 みとなつた、從來北鮮地方には白紙の需用が多く其販路は咸南、咸北、間島、雄基地方に及び主として慶北產の朝鮮紙歡迎せられ居る、昨年中淸津に搬出したる白紙の價格は約十一萬圓に達して居る、淸津に於てこの種の商物を取引する鮮人の巨商も良極商店の如きは資本金五十萬圓を有すると稱せらるゝ信用ある商店であるが今回直接六十塊の注文を發したるに見ても如何に慶北產の白紙が北鮮地方に愛用されつゝあるかを知るに足るであらう、

取引せられ たものが多い是れまで慶北產の白紙を釜山或は江口等より汽船便によりて由てあるが何分數人かの仲介者の手を經て轉々するので往々不正品を混入したり取引が圓滑に往かぬ遺憾があるが若し直なり製紙組合なりと直接取引が出來るならば、其取引は一層の便宜を得るであらうと謂つて居る、又は莞草蓆表であるが今回の出品として出品した六枚一組の十組も非常の好評で間もなく賣り切れの盛況を呈した、同地方に日本人向きとして現れて居る疊表は主として備後表であるが、同表は比較的高價に付くのに比べて莞草表は

價額が割安 であるのと耐久力が時長となつて非常に歡迎を受けて居る成北にも莞草を原料として在來鐵はあるが主として鮮人向の溫突用であるから將來慶北產の莞草表は北鮮地方に相當に還れるであらう東洋拓殖會社の出品に係る杞柳細工品は眼鏡にはバスケットと炭取りを出品してあるが是も亦非常の好評で賣行きは好い樣であつた、元來北鮮地方に賣られてある、杞柳細工は內地製品であつて輸送であるから、是も將來販路擴張の餘地はあると思ふ次は義城地方の義城木綿であるが

義城木綿は 世人周知の如く木綿としては非常に優良の品物であり且つ價格も非常に高いが北鮮地方には大阪製品の還二圓五六十錢位のものが喜ばれて居る樣であるから義城木綿の還五六圓のものは或は不向かも知れぬ要は義城木綿の特徴である、强靱である點を十分に宣傳する必要があらう、又は安東麻布である麻布は咸北丈けでも二十萬疋約六十萬圓の生產があるが中には品質も良好で安東麻布の競爭者たるものもあるから我が慶北の安東麻布の販路擴張は困難であると見られる其他煙草紙類等の出品物もあるが總て特產物は北鮮一帶に非常に競爭であるから北鮮は到底同地方物產の敵ではない事は申す迄もない事である云々

手藝學藝品展覽會
空前の盛況を呈す

【大田】我社大田支局主催大田高等女學校後援の手藝學藝品展覽會は十七日開催である女學校で開催した東方入口の階上に足を踏ぶと廣い長い廊下の兩側の壁は各學校數百の成績品を陳列し更に手藝品の陳列(三教室)は觀覽者を以て動きも取れぬ雜沓を極めた十七日の入場者は千三百名十八日は三千餘名に達し頗る好成績であつた此の催しに對し佐々木女學校長は語る『今回の展覽會は開催日が僅少であつたに拘らず全生徒の非常なる努力と各學校の後援に依つて斯くの如く豫期以上の成績を得た事は洵に喜びに堪へない所である殊に手藝品に於ては何れも實用品であつて其技術は驚くべき進步である我女學校にても今後年々一回乃至二回此の種の展覽會を開催し生活改善の一端に供したいものである』云々

海州慈惠近況

【海州】目下海州慈惠醫院の外來患者は六十四名施療二十八名で入院患者は十一名施療入院が四名で入院患者十一名の中には施療ある入院患者が一名臨時扶助が二名である、藥價及治療料其他の收入は九月末の調査によれば月收二千四百十三圓十六錢である

巡查採用試驗

黃海道に於ける第十三回巡查採用試驗は二十日道內各警察署で執行すと(海州)

原木拂下げで　製材業者板挾の態
野手廠長は何んと云ふか

【新義州】空前のレコードと云はれた營林廠の流筏成績から當然過剩となつて民間に拂下げる原木は十萬尺締と云はれてゐるが新義州製材協會は早くも之に先手を打つて全部の拂下を請願して營林廠も非公式的ではあるがそれに內諾を與へた爲め協會員以外の製材業者は何れも拂下げの恩典に浴する事が出來ず樣江の某々氏等は緊急會議を開き其善後策を講ずるに至つた即ち現在の處は協會員よりは寧ろ協會員ならざる製材業者が多數を占めてゐるから營林廠が協會に與へた恩典が例へ諒解が先であつたと云ふ一部ありと云ふも未だ公式に許可せぬ以上は協會以外の製材業者一團體の陳情も入れ、公平に拂下るが至當であると云ふに一致し代表委員として原木製材業者安藤平松、佐藤松次郎、三輪製材主定田の三氏は再三營林廠に交涉する處があつたが結局協會に拂下げたのを原價で一部を分配して貰ふ手段を講ずると云ふ意味のもので小よく纏付けられた斯ふなると小數の一般製材業者が眼を下て原木の讓受を乞はねばならぬ破目になる譯で元來協會が昨年成立された趣旨は不況時代に共倒れをせぬ爲で役員は何れも全部無給で勤める規約になつてゐるが現に役員が高給を取り樣江理事長の二百五十圓山本理事の百五十圓其他諸氏には相當の給料が附され每月二千圓內外の此の種の費用を要し其他會費も徵收せられぬ筋がある今一般製材業者が營林廠の仲介で協會から原木を讓り渡しとなればそれは一面に於て多大の協會費を負擔しつゝある協會員に申譯がない許りか或る意味に於て協會の有益なる賣物となり同時に一般製材業者の人格を疑はるゝ結果を醸すものであるといふ意味で直接拂下げを得て出來得るだけ協會のお世話にはなりたくないといふのであるが然し何程交涉しても同じ事で結局要領を得ず三代表者は過日協會に樣江氏を訪ひ膝談判を試むに至つたが、樣江氏も今回拂下げを受ける事となつてゐる原木中二萬尺でも三萬尺でも御入用なだけ原價で差し上げ樣と大きな腕を見せたが之では結局同じ事だ、の語り目下滿洲行きの野手廠長歸任の上改めて交涉するらしい因に目下の關係上原木の安東縣入は到底望みが無い

原蠶種製造高

【大邱】慶北原蠶種製造所に於て本年製造したる蠶種は春蠶一號三百十五枚、國蠶一號三百十五枚、國蠶交四號三百十二枚、國蠶八百六十八枚、支那二十號特大八百四十八枚、國蠶日一〇六號百四十二枚以上春蠶、國蠶支一〇一號八十二枚、國蠶日一〇七號百四十六枚、國蠶支一〇一號との交雜百五十六枚以上夏秋蠶國蠶支九號十枚合計二千八百七十九枚なりと

義城の陸地棉

【大邱】慶北義城郡は道內有數の陸地棉栽培地にして本年の收穫豫想は約三百萬斤に達し內六十萬斤を共同販賣に附する見込みであるが最近十月十四日迄まで約十萬斤の價格は十萬斤に達したり尙同餘の陸地棉は主として同郡主要產物の義城木綿の原料に消費するものなりと

開城傳染病終熄

【開城】開城市內に於て九月上旬以來腸窒扶斯患者續出し市民一般に恐慌してゐたが初夏以來九名にして久野町大郎氏夫人サチ子外數名は全治退院し今や新患者の發生なく全く終熄した(開城)

旱害救濟水利事業
約十五萬圓の經費で起工する　倉岡義城郡勸業課長談

【大邱】慶北義城郡の面積十八萬町步の內本年の旱害の最も甚だしいのは比安、龜川、安溪、丹北、多仁の五面であるが、此等諸面からの水稻收穫は四割減の見込みであるけれども龜川五面の內には六割以上七割減の處もあり其面積は約三千町步の多數に達する事で本年は遂に二割五分方の增收であつたのと麥が豐作であつたので今急に食料に窮すると云ふ程ではないが、何分本年の米作が前記の事情であるので、先づ本年の十二月迄には大丈夫喰ひ延しの麥で生活する見込はあるが來年一月から六月の麥の收穫期までは甚だ窮迫はれる次第である、依つて其對策として郡に於ては目下研究中であるが、一案は比安龜川兩面の商議會安溪野の天水畓五百町步の水利事業を起したいと考へ道當局の諒解も得たので近く三面の測量を實施し其結果及び設計の總を出張して貰ふ事となつて居る、是迄の踏查の結果何程の工費を要するか云ふ事は聞くに正確の數字は不明であるが先づ十五萬圓乃至十七萬圓を要すると云ふ事である、元來同郡は天水畓は附近に適當の貯水池を有せぬので比安面の渭川の水を水源地として中間にトンネル數百間を鑿する必要があるから義城地方としては比較的の大事業であるがこの水利事業が實現するに於ては旱害より生ずる窮民を救濟する事が出來るものと信じて居る云々

釜山の競馬大會
盛況を極む

【釜山】釜山競馬協會主催の秋季競馬大會は十七日午前十時から釜山鎭埋立競馬場に於て開催されたが此日恰も晴天例に依つて遠く內地方面から集つた觀衆は數千餘名に達した當日は日曜なので一般觀衆の集るもの頗る多く開始の定刻迄には時期の風采を增めるの盛況を呈した一方場內非常な人氣を呼んだが斯くて競馬は二十數回に及び熱上競馬を最後に午後五時半頃盛況裡に終つた重なる勝負は左の如し

◎乙馬　一著オーテン　二著初鶴　三著太刀光
◎甲馬　一著稻妻　二著滿瓜　三著飛行機
◎乙馬　一著サンライト　二著ダルマ　三著トッカン

狩獵許可數

九月十五日から十月十二日迄の間に於て海州警察署が許可した狩獵許可數は內鮮人通じて四十二人で其內甲種四十二人で乙種の許可者が一人あつた又昨年の同日迄の許可數に比すれば乙種狩獵に於て十五名多いと(海州)

船舶の競爭始まらん
朝鮮裏日本北海道の週海航路　嶋谷汽船近海汽船も就航發表

【釜山】大阪商船會社では曩に朝鮮裏日本北海道の週海航路を開始すべく計畫を樹て總督府に向つて補助を申請する處があつた其內容は釜山、城津、元山等を寄港地とし敦賀、門司、伏木、函館、小樽、淸津、雄基は二千噸級の優秀船を之れに充て月二回の航海をなすべきとの事であつたが遞信局に於ても豫算其他の關係上十五年度より此の航路を開始する事になつた爲め商船會社は本航路開始に至る迄釜山北海道間の航路を開始せんとしたるも秘密の關係上直に實行する運びにも至らず今日に至つたが米穀出廻り時機にもなつたから姉妹會社である北日本汽船會社が樺太廳の命令航路就航船である喜代丸寬福丸の內喜代丸及現に小樽、函館、門司、神戶、大阪間の就航船である菊丸、島根丸陽州丸五隻を釜山に寄港せしめ兩者の貿易を助長せしむる事に決定し前記各船舶は左の通り釜山に入港する事に決定した

十一月二日	菊丸	一、七九六噸
同　十三日	島根丸	一、二八二噸
同　十八日	喜代丸	一、四二〇噸
十二月一日	陽州丸	一、九二〇噸
同　十二日	喜代丸	
同　廿四日	菊丸	

と云ふ順序であるが本航路開始と聞いて既に裏當業者は北海道に出張し米の賣り込みをなしつゝあり嶋谷汽船、近海汽船も同航路開始すべく發表したから非常な競爭が起るであらうと觀測せられて居る

水が無い
新義州水道　冬は涸渇する

新義州水道は本年の旱魃が祟つて著しく減退し府當局も常に頭痛鉢巻の體で盛んに節約宣傳や臨時給水をやつたりしたが何と云つても降雨がないので元來貯水槽式の水源であるからドンドン減る一方と云ふ有樣で此分で進行せば向ふ六十日で全部水源池は涸渇して了ふと云ふ心細りない運命に陷つて了つた即ち現在貯水二十一萬四千餘石一日の使用量三千五百石乃至四千石だから節限給水をしても結局の延命が七十日か八十日に延ばせるだけに過ぎず結氷期に陷へる分が無いと云ふ結果となる、昨年は水が多過ぎて水害で苦しみ本年は水が不足で之亦苦しむので實際儘ならぬ事と昨今は一般に此の際雨を望んでゐるが十五日早朝から恰も降雨の雨があつたのみで直後風に變じ午後に回復いて靈境名物の風が騷らしい響で吹き荒み農民はなかく雨を降らさず徒らに苦しめられてゐる

鎭南浦軍惜敗

【鎭南浦】全平壤對全鎭南浦の庭球大會は十七日午後一時半から鎭南浦府三和町府營コートに開催し成績は次の通りである

全平壤軍　　全鎭南浦軍
◎郷、李　三一○　李、裴
郷、李　三一一　金子、李
◎山口、福島　三一一　山本、堀
川口、正岡　○一三　裴、金
中村、廣畑　一一三　平島、三谷
河野、山口　○一三　大田、金
李、元　○一三　大田、金◎
藤川、國龍　一一三　寺本、吳
多田、井口　○一三　寺本、吳◎
◎鵜澤、元橋　三一二　寺本、小野寺
鵜澤、元橋　三一一　關谷、盧
金、東　○一三　李致、李彩
◎郷、李　三一○　李致、李彩
山口、福島　○一三　平島、三谷
鵜澤、元橋　三一○　大田、金
鵜澤、元橋　三一一　寺本、吳

平壤の野球戰

【平壤】全安東對全平壤野球試合は十七日午後二時から平中グラウンドに於て擧行されたが平壤軍は一回戰で一擧五點を入れ更に三回四回七回で各一點を入れ八回九回で各二點を入れたが安東軍は三回戰で一擧四點を入れた外惡く凡退で結局十二對四で平壤軍の大捷に歸した

永登浦學組管理者

【永登浦】永登浦學校組合管理者は曩に臨村面長の辭任を解き大塚宗三郞氏が就任したが同氏は本年春府制撤廢と共に辭退し三井氏が其後任を享けて就任したが三井氏は今回家事の都合とあつて辭任を申出たので郡當局では其後任者の物色中であつたが此程協議會を開き協議の末再び臨村面長を起用して就任せしむることに內定したといふ民間側では多少の反對はあるが多分臨村面長の就任となるであらうと

畜產共進會觀覽團

【海州】沙里院に開催せらるべき黃海道畜產共進會及第四回聯合畜產品評會を觀覽すべき海州の鮮人側は二十八名の自轉車團隊あり內地人側も十四五名位あるから總て百名位になるであらう

十九師團　秋季機動演習終了
引揚げ兵で元山賑ふ

【元山】本月二日より元咸平野に於て擧行中の第十九師團秋季機動演習は十六日無事終了を告げ參加部隊は同日正午元山に引揚げ市中各所に投宿したので市中は各旅館各所共に混雜を極めてゐる尙各部隊は便船を待ち一部隊宛順次歸營する筈であるで松濤園、金比羅山其他市中各所は兵士連の散策引きも切らず各飲食店等も賑ひを呈して歡迎の意を表したので何れも相當潤ふたらしい

竹上師團長說宴 竹上第十九師團長は十六日午後三時より元山官民の重なる者百數十名を松濤園に招待し宴會を開き竹上師團長の挨拶に對し上原湖志太郎氏の謝辭あり盛會であつた

師團幹部歡迎會 元山在鄕軍人分會は十七日午後一時より小學校講堂に於て秋期總會並に後援會發會式を開き引續き竹上師團長以下幹部二十餘名を招待して歡迎會を催した尙後援會長は役員選擧の結果上原湖志太郎氏會長に就任した

軍隊來と物價 軍隊衛戍の爲め市中の物價は多少昂騰した模樣だ、魚類は目下節季だけに左程騰貴はせぬが野菜類は概して三四割方の昂騰を告げたらしい、一部に食糧品の買占め說が傳へられたが是は全く事實無根であると

祭日の賑ひ 十七日の神嘗祭は秋晴の好天氣に惠まれて遊覽客が多く郊外も前日に比し多少の人出で賑はした

月明山麓より
聯合會長と會頭　群山支局　一記者

◇朝鮮の米倉、又は南鮮の寶庫と稱せらるゝ湖南一圓の實業家が、一堂に會同して產業振興上の意見を交換し、取引上の打合せを爲すことは、最も刻下の機宜に適ひ且つ裨益する所尠からざるものであるに鑑み、群山商工業聯合會主催となり、商業會議所協贊の下に、來る二十一、二十二の兩日群山に於て、湖南實業家懇談會を開催する事に決した事は既報の通りである。勿論右會同の有益なること當日の盛況は今より豫想するに難くはない。

◇唯茲に腑に落ちぬ事は、主催者たる群山商工業聯合會長と之れを協贊後援する商業會議所會頭とが同一人であることである、何が故に斯く爲せしか、記者は聯合會委員の心事を解するに苦しまざるを得ぬが、普通常識の判斷より推して、主催者側の統裁者と協贊者側の主宰者とは、自ら別個のものにすべきが、當然ではあるまいかと思ふのである、否斯くすべきが當然であらう。

◇斯く言はゞ或る者は主催者たる聯合會長として推擧すべき人物の物色に苦しんだ結果で已むを得ざるに出たるものであると辯解するかも知らぬが、それは公平を缺いだ辯解で、寧ろ曲論、詭論、獨論といふべきである、一商工業聯合會長としての任務を果たすべき人物が群山に有るか無いかは胸に手を當てゝ考ふる迄もなく解り切つた事ではあるまいか。

◇聞くところに依れば聯合會委員中には主催者側の會長と會議所會頭とを一人にすることに付いて反對の意見を有つて居るものもあつたさうであるが併し準備既に成つた今日となりては最早後の祭りである、唯今後は樋口氏が主催者側又は協贊者側として一身を巧みに使ひ分け以て十分聯合會の成果を收むるやう希望して已まぬ次第である
(十六日稿)

地方集會

▲校長懇親會　【海州】上萬甲の公立小學校長普通學校長連百八名は十五日午後六時から海州料亭福の家にて懇親會を開催した小穴安岳普通學校長開會を述べ木村道視學の所感演說等あり近來稀に見る盛會であつた

▲富永部長招宴　【新義州】新任平北道警察部長富永一二氏は十六日夜新義州の主なる官民公職者新聞記者等五十餘名を新舘に招待し酒宴を張つた席上氏は自己の抱負と匪賊討伐の顛末なるを述べ諸氏の援助を乞ふ旨を挨拶としたるに對し志水檢事正は一同を代表して之れに鄭重なる謝辭を述べそれより酒宴に入り一同談笑裡に天下國家を論じ十時頃盛會裡に散會した

▲視察團歡迎　【咸興】咸興官民は十六日來咸したる敦賀福井よりの朝鮮視察團一行十三名を當地物產陳列館に午後四時招待して歡迎の意を表した出席者は官民重なる有力者約五十名にて頗る盛況を呈した

地方人事

▲小西恭介氏(釜山府尹)歸省中の處十五日夕の連絡船で歸釜
▲香椎源太郞氏(釜山商議會頭)內地旅行中の處十五日歸釜
▲平田雅男氏(平北商務)十六日大邱地方から歸任(新義州)
▲京城警官講習所生一行の滿洲見學者は關口事務官引率にて十六日來新十七日滿洲統軍亭に戰跡視察をなした(新義州)
▲陣內喜三氏(平北義州郡守)淸城公普視察の爲め十七日同地へ即日歸任(新義州)
▲戶澤少佐(第三大隊長)二十師團秋季機動演習參加の爲め京仁方面へ十八日出張(大田)
▲渡邊岩治氏(滿鐵大田運輸事務所庶務主任)事務打合の爲め十二日湖南線へ出張十九日歸田

謹告
南鮮庭球大會延期

本日本社大邱支局主催擧行の筈でありました南鮮六道庭球大會は會諸種の都合で遺憾ながら延期する事になりました追て期日を定め改めて發表致します

肛門內外　痔疾　患者へ!　急告!

痔疾は油斷せば生命をとり　癒り易く重症になり易し

(一)痔の毒は陰險にして且つ頑固で性質が惡いから、初期には急激なる苦痛が無いけれども油斷に乘じ容赦もなく增惡して、患部に惡瘡を生じ意外なるいろ〳〵の難痔に變化し病苦の外に腦病、神經衰弱、ヒステリー、發熱、心臟病、腎臟病、肺結核甚だしきはろくまく病までも惹起し命を取られますから、凡ての痔疾は今の內にスッカリ治さねばなりません

(二)痔疾の患部は毒が凝集して居るから、手術で切取るか、藥で灼くか、或は注射して毒を撲滅するか、若しくは特能藥で毒をスッカリ吸取つて了ふかしなければ姑息なことでは治り切らないのみか手後れとなりますから、充分信賴すべき療法を選んで早速御實行なさい

◎[illegible]『ヒット』を創製されました、[illegible]

東京谷中　東京肛門病院長先生創製
挿入藥『ヒット』　試用分五十錢、一圓、二圓
塗布藥『ヒット』　試用三十錢、五十錢、一圓
內服藥『ヒット』　五十錢、一圓、二圓、五圓
婦人用治療器『ヒット』　一平錢、一圓、二圓、五圓
ヒット式痔バンド　一具金一圓

發賣元　本店　東京市銀座新橋町八番地　丁子堂藥房　電話 京橋 五五三一、七五二、五六二　振替東京七二二一
支店　大阪市西區立賣堀北通二丁目九番地　電話新町特長四五七　振替大阪百六
代理店　釜山 大黑南海堂・大邱 山岸天佑堂・京城 日本藥業社・平壤 大通 駿河堂・奉天 [illegible]

資本金　五千萬圓
積立金　四千二百五十萬圓
京城府南大門通二丁目九番地
株式會社　第一銀行　京城支店
電話 本局 長一一〇一・二八八五　振替貯金京城一一一番
支配人　永井啓

朝鮮サバリ廉賣
値段が安く品質が奇麗で丈夫な　朝日製陶所製品の三大特長
原料　が安くて豐富だから特長な原料で奇麗で丈夫なものが生產されます
燃料　が內地に比して安いから完全なものを安く販賣出來ます
運賃　が內地から輸送するよりも安いので隨つて値段も安く出來ます
價格其他の事は葉書にて御問合せ下されば直ぐ御回答申上ます
朝鮮食器一式製造販賣　平壤府外西城里三十三番地　工場 平壤府外西城里三十三番地　販賣所 平壤府南門町八番地
朝日窯業合名會社

華やかな俳優にも 斯うした苦心がある
澤山のお金や心配をして 自己宣傳に大童

映畫俳優から人氣を引去つたら、一體何が殘るだらう考へなくとも分かる。殆ど全部の生命はなくなつてしまふ。だから俳優は自分の人氣の增すやうにどんなに苦心をすることか、これは想像以外である。尤も之はアメリカの事で一つアメリカの

映畫俳優の 日常の人氣收攬策を紹介しやう彼等が一然のスターとなる迄には勿論あらゆる苦心と努力とを續け、所謂多年の辛勞に報ゐられる譯だが、さてスターになつてからの彼れ等は、專ら人氣の離れないやうに絶大の苦勞をする一度人氣が落れば、夫こそ大變、一朝にして急轉直下昨日の花として誰しもが一顧も與へなくなつてしまふ。斯の如く人氣の盛衰は俳優の生命を左右するのであるから、自己宣傳に憂き身をやつすのも又無理ないことであらう。彼等は各々パブリスリーマンなるものを備ふ。これは自己に屬する

宣傳事務員 とも云ふべき者である。所謂スター級の俳優は一人はどうしても持つて居る。收入の多い俳優は二人乃至三人ものパブリスリーマンを抱て居るのである。こう云ふ役をする者は、新聞或は雜誌に相當な知己と信用とを持つた人で、絶えず種々なる記事を作つては自分の主人たる俳優の宣傳を行ふのである。早川雪洲は日本の最高の教育を受けた人間だとか、或は日本で一流の俳優であるとか云ふ類ひで、更に角さかんに讃美をして所謂映畫俳優特有のトリックを當地に恣にするのである

その給料も 非常に高額を出して居る。そして絶えずファンに向つて宣傳を怠らないのである。これは一般世間へ對する自己宣傳の苦心である、更に日常生活上ではそのファンに向つての愛嬌である、手紙の整理寫眞の贈與等、これには別に秘書を抱えて居て細大漏らさずその秘書が愛嬌を振まくわけである。人氣があればある程ファンからの寄書が多くなる從つて秘書の仕事も忙しくなる。一例を云へばローケションに行くときも、秘書は自動車中にタイプライターを持つて同行し車上で整容の手紙を打ち、又寫眞を持參し、これを送るに忙しいと云ふ有樣である。しかも各俳優は

其の寫眞を 何十枚、何百枚となく自費で作製して常に用意をして居るのである。これ等の自己宣傳をする費用は莫大なもので、各自その俸給の三分の一は宣傳費に使ひ果してしまふのである。更に映畫會社としてもその所屬俳優の人氣如何は、會社の消長に影響すること渉して少くないから、その出演映畫の宣傳は無論大々的にするが、一方俳優に時々夜會とか晩餐會とかを催さしめ、これを新聞雜誌に發表して頗る優雅な日常生活を營んで居るかの如く裝はしめたりする、そして外部から見ては絶えず俳優そのものが

些の缺乏も 又けち臭いこともない樣に飽迄美しく見せるのである。そうしたことによつてファンの人氣を益々盛に煽り立てゝ俳優はその生命をつないで行く、あこがれるファンがあまりの名聲や生活に打たれて、全部を捧げて結婚を申込み、內部へ入つて始めてその豫想外の現實醜態に驚駭の目をみはつたと云ふ、映畫外の悲喜劇も屢々と數へられるのである。

操を破られた時
夫婦約束だけでは 慰藉料は取られぬ
某辯護士語る

職業婦人の數が多くなるに從つて、それにともなふ訴訟も多くなると云ふ訳であるが、夫にしても近頃職業婦人の貞操問題のごたごたの多いことに驚く外はない中には隨分しつかりしたものもあるが、その多くは表面、意思の强固の如く見えるが、その實お話にならぬ。さうしてその殆ど貞操蹂躙といふことを知らないで、やれ貞操蹂躙とかやれ慰藉料請求だとかいつた、相談を持ちかけて來るが大抵は成立しないものであるだから一通りの意味を知つておく必要がある。そこで貞操蹂躙といふことは法律上では婚姻豫約不履行の問題といふてゐる、でこれに依ると保護は少くとも慣習上の結婚式を擧げてから、男が何の正當な理由がなくして捨てた時に起るもので勿論正式の屆出はなくとも正式の結婚とみなす場合に、裁判所がこれらの不幸な女子の受けた損害に對して、金錢賠償及び慰藉料の給付を判決するのである。だから、單なる夫婦約束で交際し男子の誘惑にかゝつたり、男子に欺かれて私通したりして、男子から捨られても貞操じうりんとはならない、從つて賠償も損害もなんにも取れないたまに不法行爲となつて出來る場合があるが、これはほんの例で例へば、酒を飲まして反抗力をなくしたり、何等かの方法で反抗することの出來ないやうにした場合である、けれどもこれはなかなか證據があがらないから成立しないと見てもよいであるから『誰が反對したつて二人は夫婦だ』なんていくら固い約束したつてなんにもならない、でどうしても結婚しない前は各々自分の身を守るべきだこれからの男の中で働く職業婦人はそれ位の見識を備へて置かねばならぬ、それから婚姻といふことであるが、民法の規定でいふと、當事者雙方が成年の證人二人と共に戸籍吏に屆た時に成立するものでたゞ式を擧げただけでは成立しないから、たとへ夫婦同樣の生活をしてゐても內緣關係にすぎないものである、で女の權利として夫から扶養を受けるよも出來ないし、その間に生れた子供は私生兒となる、一朝夫から捨られて、他の女と正式に結婚しても、夫は重婚の制裁を受けないのであるだから式を擧げたらなるべく早く入籍しておかねばだめだ

奈翁と商人
銃丸の通らぬ 鎧の話

『ナッシングの語は愚なる辭書にあるのみ』と豪語した佛蘭西の快傑ナポレオンが曾て『銃丸を通さない鎧を作り得る者あらば一萬圓を與ふべし』といふ觸れ出しをしたことがあつた、さていよいよ作上げて納めるといふ段に及んだ時奈翁部下の一兵士を指招いて命ずらく汝此鎧を着して見よ果して銃丸を通さないだけの物であるや否やを試驗すべし』とこれを渡せばつた兵士怖れまいものか顏色忽ち靑ざめ泥の如くなつてわなわなと震へ出した奈翁曰く『汝何故慄るゝや』と兵士答ふ『銃丸一發若しこれを通さば吾が生命忽ちにして亡ぶべし』と此時商人ヌツと立上り『イザさらば私が一番に及ぶべし』斷じて銃丸の通らざるを自信す、若し通らば自己の責任なり一發の下に斃るとも悲しからず』と奈翁此意氣に感じ『ヨシためすに及ばず』と而してこれを賞し約束の三倍たる三萬圓を與へたりといふ商道地に落て東西商人物を賣らんとする商人多き世の中にまた好箇の鑑誡であらう

職業婦人を泣かせる これから先の寒さ
日本の腰卷はよくない

婦人の職業熱とゝもに職を求める婦人が日に日にその數を增して來てゐる、たゞ無暗に婦人は

經濟的 に獨立をせなければ……目覺めなければ……といつたやうに勵いで居ればそれでよいやうに考へ、自分の身體即ち衞生方面はことに少しも考へてゐないけれども、これから段々と寒くなるにつれて、その方面の注意をしなければならぬ、元來日本の習慣として特に婦人は坐る習慣がついてゐたのが急に腰を掛けたり立つたりして働くのであるから餘程そのかげんが

心要で ある今まで二年も三年も同じ仕事に從事してゐて別になんともないものはよいが今までと變つて仕事をする場合にうつかりすると急に病氣(婦人病)にかゝることがある。これは急に病氣が起つたのではなく前から病氣があつたのである證には左程

苦痛を 感じない程の微弱であつたのが急激の變化に依つて起るもので時に今まで坐り仕事をしてゐたものが立ち仕事に變つたために、急にひどくなつたのであるかうしたものは勿論醫師の診察を受けなければならないけれども、昨日まで坐つた仕事をしてゐたものが一時に今日から立ちつづけるといつたやうにせず一週間あるひは二週間出來るだけ長い間あるひは立

或は坐 るといふぐあひに漸次ならして行くやうにする、腰のあたりのひへないやうに手當をすることもよいことである丈夫なものでも地べたに終日立つてゐるものは腹部や腰部は常にあたゝかくして置かねばならぬ日本の腰卷といふものはすわるのには適してゐるけれども立つたり腰かけたりするに

不適當 であるから、さうした人は股引を必ず用ひるやうにしたいものである。これは冬に限つて起るものでもない日本にはまだあまり見ないが常に立つと立つてゐる人によく起る靜脈瘤は西洋婦人には非常に多い、これは足の血管に出來る、ぷくぷくのもので車夫によく出來てゐるものであるこれなど將來かうした婦人には出來はしまいかと

心配し てゐるが常に注意して居ればよいその注意は同じ場所に立つてゐるにしても足を時々動かすやうにすればよいまた靴下を用ふるものはなるべくその部分のゆるんでないやうにして居ればよい。

食物の消化度
注意すべき事柄

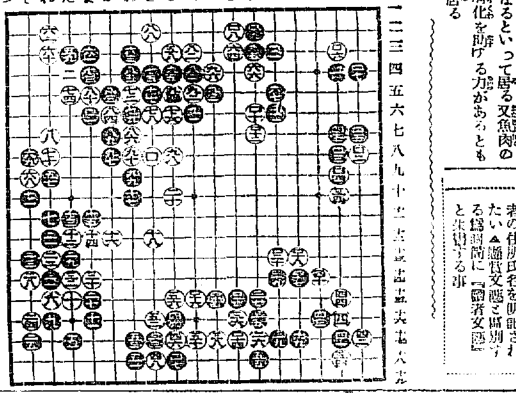
今調理の如何と食物の消化の遲速如何に就て實驗を試みられた結果によれば

	調理	消化時間
豚肉(足)	煮	一、三〇分
生鮭	煮	一、三〇
鹽鮭	煮	四、〇〇
野獸肉	燒	一、三〇
鷄卵	生	二、〇〇
同	煮	三、三〇
牛肝	燒	二、三〇
家鴨	焙	四、〇〇
牛乳	煮	三、〇〇
同	生	三、一五
鷄肉	煮	三、二五
同	炙	二、三〇
茶豆類	煮	二、三〇
牛肉	燒	三、〇〇
同油	煮	四、〇〇
羊肉	燒	三、〇〇
かき	蒸	三、〇〇

の事實が確められた。そして消化の際には胃の濕度はずつと高くなり好きなものだと胃液の出がよく一般に肉類は煮た方が生物より消化度を減じ又一般に煮沸時間が長ければ長いだけ消化度を減じ同一の調理法では獸肉よりも魚肉の消化度が大きく焙り燒は魚肉ならば消化度を增すも獸肉はその反對の結果になるといつて居る又魚肉の脂肪は消化を助ける力があるとも いつて居る

圍碁新局(六)

先番 三段 長谷川章
先々 二段 村島誼紀



●一〇一 よ六	○一〇二 ろ八
●一〇三 は八	○一〇四 は九
●一〇五 ろ七	○一〇六 は三
●一〇七 ろ四	○一〇八 ち二
●一〇九 と二	○一一〇 と六
●一一一 へ六	○一一二 と七
●一一三 ち十五	○一一四 ち十七
●一一五 り十五	○一一六 ぬ十五
●一一七 に十四	○一一八 に十三
●一一九 へ十四	○一二〇 へ十三

句作の態度 (三)
高濱虚子 (講演筆記)

主觀客觀の論爭

今度參りまして承はりますと此京城では大變主觀と客觀との論が八釜しい相であります。一寸聞いたのみであるますが私は非常に意外に感じた。夫れも東人からではなく然し矢張り文藝家である意外な人から聞きました。主觀と云ひ客觀と云ふても詮じ詰めれば二つに離す事の出來ぬものであります藝術を論ずる上で假りに一歩を退き便宜上主觀客觀を論ずるに過ぎないのであります歐州石細工が敏感な佛に對する考へでコツくと石を刻む時主觀客觀等と云ふ區別論は決して無かつたであらう石工は自分が研究した美しい人體の線と同じ線に刻もうとしてコツくと彫つて居る。主觀と客觀とは決して二つのものではない。主觀と客觀との論の如きは失張作品が麁雜な時と思ふのであります。然し既に主觀と云ひ客觀と云ふ言葉はあるが夫れは矢張便宜上の言葉で一概に主觀句だとか客觀句だとか云ふて之を排斥する事は出來ぬ詩は志を云ふと云ふ言葉もある

古池や蛙飛込む

譬り何うしても主觀に純情と充實の狀態がなければ詩は作れぬ。然し俳句を作るのには純然の研究を離れじく何うしても自然の姿と同じ純な句である。又芭蕉に ば『わめく』と云ふ靈な言葉を使つて佛意であつた如き態度を變へる 芭蕉の句に『古池や蛙飛こむ水の音』と云ふ有名な句がある。之は俳諧史上に一革命を興した句と云ふ事になつて居る。芭蕉は寂しさを好む人であつた、閑寂な生活を終始した人であつた。既に古池があり夫れに蛙の飛び込む音が聞えた。其時に芭蕉が寂しい心持で居たので唯その飛び込む音を句に作つた。其處で後世では是は禪意があるとか何か悟りがあるとか不可解な何物かが籠つて居るかの如く云ふものがあるが、之は頗めて單純な句である。其れ丈けの句であるる。又芭蕉に 海女が家は小蝦にまじるいとど哉 と云ふ句がある。之は芭蕉が旅をして居つた時に漁夫の家に宿あり、夫れから蝦を掬ひ揚げて籠にとする家があつた。偶々其家の角に旅して來た芭蕉が見ると掬ひ上げた蝦の中に蟋蟀が飛んで居た。夫れが非常に閑寂に感じられたので此句を作つた。是も單純な景色であるが然し是で芭蕉の閑寂な趣味がよく顯る芭蕉は閑寂に生きたと云ふてもよい人である。此句で芭蕉の心持がよく判る。即ち主觀客觀等は渾然として一に合し其區別は全くないのである

栗羊羹製法
唯でも出來る

栗の鬼皮をむいてから澁皮をよくとり、水につけて暫く灰汁を拔き皮水と一緒に火にかけてゆでるくづれぬ程度にやはらかになるまでに水を三四回替てゆでると栗の澁がとれて立派になる、次に別の鍋の中に砂糖大匙七杯と水一合を加へて火にかけ沸立つた中にゆで栗の水氣のとれたものを入れる暫らく煮て、そのまゝ二三時間放置、栗だけ掬ひあげ、殘りの汁は濃くどろどろになるまで煮つめ再び栗を入れ一寸煮て下ろしてから翌日まで蜜の中につけておく。次で寒天三本は前夜から水につけ、水氣をしぼつて鍋に入れ、水七合五勺を加へて火にかけ、寒天のとけたころ、砂糖約二百匁を栗をひきあげた殘りの蜜と入れ、暫らく煮て裏漉にかけ、鍋に戻して三分の二位まで煮つめ、これに白餡を加へて混ぜ混ぜながらとろりと垂れるまで煮つめて栗を入れ、更に抹茶の水ときしたものを入れ色づけし流し箱に流して冷ます。

文藝募集

あらゆる文藝的作品(批評感想を含む)を歡迎する▲一行十五字詰、行數自由なるもあまり長いものは困る▲紙上の匿名は差支へなきも原稿には作者の住所氏名を明記されたい▲應募文藝と區別する爲封筒に『日曜文藝』と朱書する事

公示催告

神戸市京町六十七番地
申立人 チャータード銀行
右代表者支配人 エイチ・エル・マーレンス
京城府貞洞十一番地
右代理人辯護士 片岡介三郎

一、株式會社朝鮮殖産銀行債券 第十二回額面金壹千圓券自第一三一號至第一七三七號大正十二年十一月一日渡以降七年分利札附大正十年九月十五日發行。第二十回額面金壹千圓券自第一八九號至第一八二七號[illegible]分利札附大正十二年十二月一日渡以降[illegible]年分利札附大正十二年十一月一日發行 右債券ニ付申立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ所持人ハ大正十四年四月三十日午前十時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證書ヲ提出スベシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルトキハ其無效ヲ宣言スルコトアルベシ

大正十三年九月三十日
京城地方法院

除權判決

横濱市北方町大神宮山八百九番地
申立人 カール・ヘルム
東京市京橋區西紺屋町一番地
高島屋飯田株式會社内
同 飯田[illegible]
同市小石川區西江戸川町十番地
同 堀[illegible]
同市本町三丁目四十番地
[illegible]
京城府貞洞十一番地
右代理人辯護士 片岡介三郎
一、株式會社朝鮮殖産銀行債券 [illegible]年分利札附
右債券ニ付大正十三年三月三十日公示催告シタル所[illegible]期日迄ニ權利ノ屆出ナキヲ以テ右債券ノ無效ヲ宣言ス
大正十三年九月三十日
京城地方法院

除權判決

横濱市北仲通六丁目
神奈川縣産業部農務課内
申立人 赤石久太郎
京城府貞洞十一番地
右代理人辯護士 片岡介三郎
一、株式會社朝鮮殖産銀行發行債券拾八回額面金壹百圓券第六〇[illegible]號大正十三年九月一日渡以降七年分利札附[illegible]
右債券ニ付大正十三年三月三十日公示催告シタル所其期日迄ニ權利ノ屆出及提出ヲ爲シタルモノナキヲ以テ申立代理人ノ申立ニ依リ前記債券ノ無效ヲ宣言ス
大正十三年九月三十日
京城地方法院

ロシアを解せんとせらるゝ御方は先づ當地へ御來遊願上候
哈爾賓 北滿ホテル
大食堂にて毎夜ロシア名物カバレー劇を開催致居候

子宮病、血の道 リウマチス 神經痛及慢性胃腸の人は
◇十年の神經痛が仙湯にて全治し大醫の御禮を
岡山縣阿哲郡上刑部村の高部章雄氏は約十年間神經痛ぜんきにて惱み手を盡し新聞紙に現はし誰き困り家族一同不幸を歎じ居たりしが神仙湯の御陰にて全治し喜びに樂しき家庭と成りしさて喜びに諦てる
◇眠りある紙上の事なれば以上は只一例を示すに過ぎず患者よく是を諒し輕症と重症の總なく惱む人は一時も早く良藥神仙湯を服用し早く苦痛を忘れ明かんとた推奬す
◇藥價 二日分四十錢、四日分七十錢、六日分一圓、十六日分二圓、廿日分三圓、廿五日分五圓
◇若し無き地方は直接郵送す
◇六ケ年も惱めるリウマチス神仙湯二週で治す
◇稀な多年の婦人病神仙湯にて偉效
[illegible]
仁川 吉木醬油釀造場

獨逸ダルコップ會社製 ミシン
今般直輸入新荷着に付御小賣とも特價提供
◎足踏式 ◎手廻し 上中各種
時計卸問屋 京城黄金町二丁目(電話本局一〇一五番) 喜多金光堂

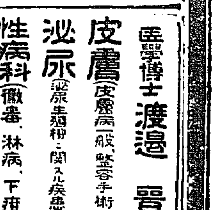
宅地分筆賣却
[illegible]坪の內何程にても分筆賣却仕り度御希望の方は御來談を乞ふ

十月廿二日ヨリ廿六日マデ
三越マーケット
十月十九日ヨリ
トンビオーバー 洋服東コート 既製品廉價提供
實用 銘仙、綿反物 日用雜貨、の必需品に至るまで 格安品豐富 廉價
京城 三越吳服店

信じて履らるゝ者は必ず益し
信ぜずして履かざる者は必ず悔を貽す
(特製) 仁川靴
本品は表皮に優良なるボックス革を、底皮には從に萬年底の稱ある堅牢無比の牛象皮を用ひ、更に從來の製法に革命的一大新工夫を施しあるを以て、價格の低廉と持久力の强大なるは固より、輕躍不朗る優美にして高尚なる品位を失はず、殊に本靴の足袋を穿つが如き自由と輕快味とを感ずる穿き心地に至つては、全く他の追隨を許さゞる衞生靴として發明せる理想的逸品なり。
■實價の伴はざる廣告は當店の主義に反す
■今や各學校、官衙、銀行、會社、其他一般の方面より多大の好評を以て壓倒的注文の光榮に浴しつゝあり
編上靴	金四圓三十錢
事務靴	金參圓八十錢
學生靴	金參圓七十錢
通勤靴	金參圓九十錢
運動靴	金五圓三十錢
兒童靴	金[illegible]
防寒靴	[illegible]
御注文の際は 靴の文數若くは 足袋の紋數御記入被下度候
送料 內地四十五錢 鮮內四十錢 滿洲六十五錢
仁川靴製所製品發賣元 奉仕社 朝鮮仁川府本町三丁目 電話二四九番・振替京城五二九一番

醫學博士 渡邊晋
皮膚(皮膚病一般、整容手術) 泌尿(泌尿生殖器ニ關スル疾患) 性病科(黴毒、淋病、下疳)
診察時間 午前九時ヨリ一時、午後四時ヨリ八時
入院隨時
京城 黄金町二丁目一九八(日本生命ビル裏角) 電話本局八九四番

資本金 壹億五千萬圓
本店 東京市麴町區永樂町
頭取 安田善次郎
副頭取 結城豐太郎
株式會社 安田銀行京城支店
支店長 三原[illegible]
電話長本局五八番・一九五番 振替口座京城一三一二番
爲替取引先は內地各方面に朝鮮滿洲等要の地に有之候銀行一般の業務は最も便利に御取扱可申上候



釜山鎭、馬山本町
原田酒造場
發賣元 釜山南濱町 電話一四二番

金鶴香水 姉妹品 美髮用
丹頂ポマード
大阪市東區淡路町 本舗 大崎組

齒の爲に一番よい
クラブ煉齒磨

……神社の祭典に際つては到底……踏折りには神輿の渡御が行はれず……また神輿が渡出されなかつたの……

朝鮮繭の品質向上

エム・エイ生（寄）

朝鮮の氣候風土が斯業に適して居るばかりでなく斯業經營の要素である土地、勞力が極めて豐富であつて而も極めて低廉であると共に之等のものが朝鮮の養蠶民を促して居るので當局に於ても近來一般に改良獎勵に努力した結果年々繭の增加を來し大正十二年に於ける總産額は二十萬七千餘石に達して居る。而して之を明治四十三年の産額一萬三千九百三十石に比較すると其の間十五倍強の增加を示した、累年の産額を示せば

年次	家蠶繭
明治四十三年	一三、九三一石
大正元年	二九、四四〇
大正三年	四六、一九四
大正五年	七一、九二一
大正七年	一二一、〇六九
大正九年	一三三、九四六
大正十一年	一四二、六九一
大正十二年	二〇七、五七九

而して更に此の産繭が如何なる方法によつて處理されて居るかと云ふに生産額の三割六分は自家用として鮮内に於て消費され紬布の如き朝鮮在來の織物用に供されて居るが殘りの六割四分即ち十三萬四千石餘は販賣用として市場に供給され此の中約五萬五千石は鮮内生糸工場に於て消化され結局殘高八萬四千石内外を移出繭として愛知、長野、廣島、滋賀其の他十數府縣に亘つて機械製糸原料として消費されその移出量は逐年增加の趨勢に在るが今繭移出量を示せば左の通りである

年次	移出量
明治四十三年	四、五七一斤
大正元年	三一、三九四
大正三年	二九一、三六九
大正五年	七九三、三二六
大正七年	一、六一一、一三三
大正九年	六七九、九五四
大正十一年	八五二、三一四
大正十二年	一、九八〇、九二八

即ち前表に示すが如く明治四十三年度の内地移出繭は僅々四千五百七十一斤に過ぎなかつたものが其の後大正十二年度には百九十八萬九百二十八斤、即ち約五百倍と云ふ異數の增加を示した斯は朝鮮に於ける産繭の激增して來た事にも因るが一方内地市場に於ける朝鮮産繭の聲價を認められ從つて著しく需要を喚起さるに至つたのも原因せるが元來朝鮮繭は上述の如く天候の關係から質が優良であるにも拘らず兎角色澤がよくないとか解舒が惡いとか或は糸量が少いとか云ふ樣な非難を受けることが屢々であつた而してこの理由は一部上簇法が不良であつたり或は乾燥の方法が不充分であつたが爲めに品質を損じたのであつて決して品質が惡いのではない、然るに當局に於ても此の點を深く遺憾として繭の上簇法の改良や乾繭場の設立等種々改善の方法を講ずると共に繭の運搬等についても商議に諮つて大荷物として取扱ふ場合には運賃を二割引する事に協定し其他品質の改良は勿論運搬上に於ても非常に好都合になつて來たと同時に近來では内地に比較して敢て遜色なく大に聲價を博する樣になつて來たが更に朝鮮蠶の最も誇りとする處は種類の統一せられて居ることであつて即ち春蠶は主として國蠶日一號、國蠶支四號の交雜種及赤熟支那二十號特大の交雜種二種の交雜種は目下試驗飼育中と……のみであるから製絲家は一種類か二種類かの統一したる原料繭を仕入れることが出來るので非常に便利であり且其の上に繭の價格が割安で然も又糸量が多い爲めに最近では内地製糸家間に朝鮮繭が囑望される樣になり三井物産の投資及び鐘紡工場の建設等著しく需要を喚起して來た狀態であつて朝鮮繭將來の移出は益々有望視されてゐる。

褐炭移出の具體化

第一回積出しは二千噸

三井物産の新規褐炭移出計畫は其後漸次具體化し同社の投資せる寶山炭鑛より採掘せる褐炭を鐵路沙里院より仁川に搬出し更に仁川より汽船を以て東京、横濱に移送することとなり目下搬出の手合ひ中で遲く共十一月初旬には第一回（二千噸）積出しを完了する筈であるが右に就て三井支店長は語る

目下の立場から朝鮮開發に有望な仕事としては第一蠶業と石炭の移出であると思ふが蠶業は當社所報の通り當社が本年初めて投資して内地製糸家の注意を促しその結果頗る良好であつたので來春からは定めし朝鮮繭の買付は旺盛になると豫想してゐるが石炭に於てはその用途がまとしてボイラー用であるが朝鮮の如く工業の未だ發達せない土地に於いては僅かに汽車及發電用として用ひられてゐるに過ぎないので當社ではその品質等種々研究調査の結果內地の褐炭と殆んど同一の品質を有し且つ價格に至つては頗る廉價であるので今回本社が投資してゐる寶山炭鑛の採掘炭二千噸を是非京濱地方に移出する事となつたのであるがその成績に依つては向後輸り限られなかつた褐炭の新販路を見出すのみならず朝鮮石炭界に一新生面を開くに至るであらう

九月の對支貿易

合計六百五萬圓

本月の對支貿易額は輸出百七十一萬八千餘圓、輸入四百三十四萬圓餘で、合計六百五萬八千餘圓で前年同月に比し輸出十五萬五千餘圓の增加輸入十一萬八千餘圓の減少出入計三萬六千餘圓の增進を告げた今之を地方別に觀察するに輸出では南滿洲二十一萬二千餘圓を減少したが上海地方二十二萬二千餘圓關東州、十一萬四千餘圓を增加し北滿洲、山東省、直隸省へも多少の出超を呈した、又輸入では南滿洲十六萬六千餘圓、關東州一萬五千餘圓を增加したけれども山東、直隸兩省は何れも各十萬餘圓を減じ上海、北滿兩方面亦若干不振を告げた之に輸入で關東との關係にかては八月までと變化なく南滿洲の增加は之迄の趨勢と反對の現象であるが之は專ら內地商品たる杜絕系の入增に依るもので朝鮮自體の需要品は

粟を始め

概ね減少し礦餘の各地方からは八月まで多くは增進を呈したものが本年に至り一齊減少となつたのである本月中重要品の對支輸出額を前年同月と比較するに（米、外米を含まず）牛皮、布、紙等を首め大多數の貨物は何れも出荷不振を呈したが朝鮮、上海航路に依り主として上海方

東拓貸出高

東拓全鮮各支店九月末日現在貸出殘高は定期一八九五〇、一二、三六八六四七圓五年賦四、五〇五〇二九、六六八、七六六九圓五一合計六、四〇〇四二、〇五七、四一六圓五錢にして前月末に比し五〇四、五〇八圓二十錢增加である各支店別次の如し

支店			
京城	三二四〇	一五一	一四〇八七
太田	一六五	二五五四	一六四
裡里	四〇四	三六〇四	二四一
木浦	八〇七	三三〇二	三三三
釜山	六六八	三三六八三	三二三
大邱	五五三	三六六二	三五〇
沙里院	四〇二	二二二〇	二九七

結氷期に

入ると共に漸增を呈すべく敢て憂ふる程のことはあるまいと豫想せらるものが多い更に上海方面では當初蘇浙開戰後租界外に店舖を有する支那商人は避難の爲閉店せるものあり且支那側銀行及錢莊の貸出杜絕のため一時新規輸入取引澁滯し九月十七日に對上海輸入港たる仁川に入港した定期船平安丸の同港揚荷物は僅に若干噸に過ぎない有樣であつたが併し其後次第に緩和の傾ありて次回の入港には相當積荷あるべしと觀測せられて居る

…併し朝鮮穀作の凶作に際し補充貨物たる粟の取引につき憂慮する向もあり現に滿洲奧地の特産出廻り稀薄を傳へられて居るが通は荷馬車の徵發を恐れたる等の一時的現象たるが如く作柄豐作なれば、やがて……

預金貸出增加

京城組合銀行十五日現在帳尻は左の如く前月末に比し預金百十九萬七千五百六十三圓貸出は貸付金當座貸越減少せるも其他は何れも增加し結局廿萬三千二百二圓の增加である、有價證券に於ては金銀在高六十一萬餘圓減預け金七十三萬八千餘圓增となつた（△は減）

▲預金	十五日	前月末比
定期預金	三三、三三三	三六九
當座預金	八、八四九	三六六
特別當座	二、〇八一	六九
諸預金	四、五三四	三一
合計	六六、五三五	一、一九七
▲貸出		
貸付金	四三、九七〇	△四〇
當座貸越	一三、三四一	△四六五
割引手形	四、〇一七	三三
商業手形	二八六	一〇
合計	一〇〇、四四七	二〇三
▲手許在高		
有價證券	三、一三三	△五
預ヶ金高	二、六三〇	七三八
金銀在高	二、七五四	△六一六

東拓籾收納高

東拓にては目下作柄視察中にて未決了の限定であるが四期するに本年の作柄は一時懸念されたけれども結實期に於ける天候申分なく以外の收入增しを見るに至り豫想よりも增收を算すべく各支店管內共定租地の減免すべきもの相當あり結局籾の收納高は昨年の調査額三十一萬二千九百七石に比し一割五分一厘減少の二十六萬二千七百八十石であると

京城支店管內に於ては籾三萬五百石大豆一千六百四十石金額六萬二千圓にして昨年の豫定額三萬一千八百二十六石大豆一千八百八十六石金額六萬四千九百二十圓に比し籾は一千七百石減收なるが大豆は旱害にて二百五十石弱の減收又金額は退職社員に土地分讓及移住民讓渡にての爲二千九百圓の減收になると

京城窯業異議

朝鮮、京城兩窯業會社の合併に就ては一部大株主及兩重役間では既に內交渉成立近く實現すべきは既報の通りであるが最近に至り京城窯業側では右合併條件に對し多少異議ある見込みにて交渉意の如く進捗せざる模樣であるが聞く處によれば右は前年來提唱されつゝあつた大日本麥酒朝鮮分工場問題が最近具體化の來鮮實地調査と共に實現近きにあり且敷地豫定地が永登浦若しくは鷺梁津と見做されて居る爲め右は上同地工場所在地は鐵道地としての利便あるやに依て若萬一實現とならんか同社は將に繁榮に赴く者として合併條件に對し極力ハンデキヤツプを附する意嚮であると

日限帳尻（十六日）	
發行高	一、二三二、八九四
正貨準備	一、〇六二、九五四
限外發行	三八、九三九
貸出高	三二一、六三六

株式

閑散漸落（十八日）

商情日に非也

前場低落 今朝は大阪大新七十二圓六十錢から一圓九十錢の下放れを見せ二圓二十錢止の新安値を入れ京城神社の大祭氣分と後場の臨休控へに場面大閑散を呈し大新は一部買方の投げに一圓九十錢二圓ドタと新値を切り安取も仁新も小安く京取のみ小高かつたが大體不味の商情を示して大引（短期前日止値比較）

△京取二十錢高△仁新三十錢安△安取六十錢安△大新四十錢安

後場は京城神社大祭に付臨時休會

東新安に靡く

大新新安値に挫折

取引所株に對する人氣は日に離散しつゝある情勢で値頭洲から下値漸しく唱へられて居るもヂリ〳〵と氣味惡き漸落步調を續け買方は口に値頭安と買時期を唱へつゝも全く手も足も出ない有樣に陷つて居るが今朝も大阪七十二圓六十錢と寄つた跡落潮傾に加はり二圓ドタに掛け大引二圓二十錢と小戻したが氣配惡く一部買方の投げ物呼び當市場も亦一圓九十錢と下放れるに至つたが投げ以外には新規の買物なく結局大阪同鞘となり安値寄りは警戒頗る厳しき振合で折柄京城神社の大祭氣分と後場の臨休控へに頗る氣乘薄の出面を呈した丈に角近來取引所株に對する一般の人氣は放資家の德良株狙ひ採算本位の態度と相俟ち全く見離されたかの觀を呈するに至り此鼻とても依然ヂリ安步調の無氣力の商況を續けるの外はないだらうと暖息されて居る有様である而して折る不勢を持續するに至つたのは近來各種總相の言明せる限月短縮問題の不可を助長せる傾きがあり殊に名古屋筋の敗訴は之れを機會に相場烈に策動開始し既に互證は頗る有力……新の分量は期、大新安も新東安も崩れたものと觀られて居る從つて右大賣玉の消化に就ては動かしからず注目されつゝあると同時に敢然の策動も間斷なく行はるべきを以て必要當迫の折柄結局右大賣玉に壓せられて今後も之も引續き軟調を續くるものであらうと觀察されて居る

短期市況一束

▲京取は今朝本日步に復せると共に大新安を眘として小口筋の賣り物ありしも定岡弱筋の買進みに二十一圓五十錢と寄り六十錢と小高く打止め此薄賣買共深入り深く進まざる模樣であつた ▲仁新は際立つた賣り物はないが從來京取との鞘關係もあり京取先安を見越されて居る折柄とて今朝京取は小締つたが大新安から一部小口の手詰め賣りがあり二十七圓七十錢と前安値に顔を合せた ▲安取は殆んど顧るものなき不人氣であるが今朝一部のバイカイで八圓六十錢と前出來値から六十錢方低落した ▲大新は大阪七十二圓六十錢を入れ二圓二十錢と寄つた跡二圓十錢から一圓九十錢の下放れを入れ一圓九十錢二圓の新値を繰り返し大阪二圓二十錢止みの小戻しを入れ二圓ドタと止め四十錢方低落した

株界小言

大新は總々新値を切つて來た週は頭來甜戰中だつた新東の崩れに襲はれたものと觀られて居る△新東の週氣が持てなくなり投げ擡して仕舞ふと其處から買方の寒が吹いて來るものとすれば新東安は大新買方に取り甚だ賴もしい譯だが△名古屋筋の賣物は可成巨量に達し此の大賣玉がドーカなるのは今後に有るとすれば目先買氣の擡頭はむつかしい

京取本日步

京取は前日逆日步の處今朝賣方の渡し株提供で九十枚剩り本日步に復した

算定代引日步

銘柄	算定	代引	日步
京取	二二、〇〇〇	九〇	一八
仁取	八八、〇〇〇	二四〇	七〇
仁新	二八、〇〇〇	一〇〇	二〇
朝紡	六、〇〇〇	三〇〇	一〇〇
拓新	一五、〇〇〇	過不足ナシ	ナシ
安取	九、〇〇〇	同上	ナシ
鐵新	八一、〇〇〇	三〇	八〇
大新	七二、〇〇〇	八四〇	九〇〇

現株中値出來値（十八日）

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取 寄引	…	…	…	…
仁取 寄引	…	…	…	…
同新 寄引	…	…	…	…
朝鐵 寄引	…	…	…	…
鮮銀 寄引	…	…	…	…
殖銀 寄引	…	…	…	…
商銀 寄引	…	…	…	…
同新 寄引	…	…	…	…
東拓 寄引	…	…	…	…
同新 寄引	…	…	…	…
鐘紡 寄引	…	…	…	…
拓東 寄引	…	…	…	…
東拓 寄引	…	…	…	…
土地 寄引	…	…	…	…
新同 寄引	…	…	…	…
電京 寄引	…	…	…	…
毛織 寄引	…	…	…	…
朝紡 寄引	…	…	…	…
鐵新 寄引	…	…	…	…
興業 寄引	…	…	…	…
釜山 寄引	…	…	…	…
朝郵 寄引	…	…	…	…
朝鮮 寄引	…	…	…	…
京南 寄引	…	…	…	…
金剛 寄引	…	…	…	…
東亜 寄引	…	…	…	…

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	二一・五〇	二一・六〇	…	…
京取 後	…	…	…	…
仁取 前	…	…	…	…
仁新 前	二七・七〇	…	…	…
安取 前	八・六〇	…	…	…
大新 前	七二・二〇	七二・〇〇	七二・二〇	七一・九〇

米況（十八日）

仁川期米

前場更に強硬 大阪天候良り前場三十八圓四十八錢祭日前に比し十六丁高を入れ當所は晴天當三十八圓中出來ず先三十二圓六十九錢と七丁高に始め三節大阪步高を受けて八十錢と三節たる買方の利喰ひと値頃思ひの新規賣に仲力鈍く五十錢三錢と弛みたるが大阪四十錢の手堅き移りに下へも行かれず結局中三十三圓七十錢先三十二圓七十七錢と強硬に大引

後場小康狀態 前場の低落を受けた大阪大新は後場寄七十二圓三十錢と十錢高に寄付大引更に二圓五十錢の引返しを入れ稍小康狀態を呈するに至つたやうである

警戒氣力薄

阪地の步調健實なるに引替へ當所は買氣引立たず動もすれば阪地と頑張大の應あるが之は新米の出廻りを目前に控へ賣氣賣に一頓挫せるに反し買方は結局高値を見越しながら時期が時期とて輕擧妄動を愼み居る爲めにして居り急足の上値は望み難いが買方自頂の際丈に賣みが破目を外せば不慮の不利を招くかも知れないと限先元よりも警戒して心ある弱氣は兜の緒を締めて居る様である

双方自重

今朝大阪は三十八圓四十八錢と十六丁高に始め三節は更に五十九錢と引締めたので當所も三十二圓六十九錢に寄付三節は八十錢と反撥せしも阪地高に比較すると仲力が鈍い之れは正米の不勢に買氣が引立たぬのと一面買方の主力筋が自重して居る爲めであり又た果殻の三十二圓三四十錢所で克く買進んで居た㊉筋も小實賣玉を手仕舞ふた位いな事で同店に於ける買建ては大阪及び地方筋の買物らしく又㊉筋としても根は強氣畑であるが正米の不勢を利用して押目狙ひに寧ろ上手をして買つて居る傾きがあり尚は㊉を中心の京城淺野筋としても季節柄買控の姿であるし又㊉を中心の力武筋も買が弱い樣な風でもあり現在では硬軟何れにも注目すべき手口はないが何れかと云へば主力筋は目先安構への向が多い樣である

弱氣の眼先觀

正米の弱硬が端境季に有勝な品カスレに依る一時的の現象に過ぎなかつた事は其後新米の貨物加重によつて急激なる暴落を演じた事から推しても明かである丈も定期は先に其れを見越して割安を叩いて居た丈に頭來の無風體の姿は有樣であろ然し一時正期米の鞘は七百丁以上であつたが今日では新米賣與等を詳細に加算すると先づ三百丁内外に縮小して正期の鞘は著しく接近して來たのみか三十六圓そこ〳〵の正米は季節柄まだ割高と見地より各產地商人の買氣が引立たない各產地よりの貨物日々加重の今日としては勞い安からさるを得ない譯で買方の附目とせる正期の鞘は漸次縮げて行くものと見ねばならぬがそうなつた曉は今の買方が足らぬ物は高いと云ふ現在の方針を飽まで維持し得るかどうか殊に現在の値頃は新米として異常の高値であるから金融業者としても貸出しを特に警戒し思惑的の米に對しては多額の頭金を要望して居る樣でもあるか

米界餘聞

阪地先物の三十八圓臺と云へば昨年當時の相場に比し丁度千丁から高値に居り而かも其れが第一回豫想に於いて本年は昨年より二百萬以上多いと云ふに、こんな高値を維持して居るのは不思議の樣である▲然し相場と云ふ奴は妙に此の不思議の方向に進みたがるのだから表面の事象に魅惑されてとんでも無い處へ引張り出されぬ丈けの用意が肝心だ▲聞けば各地共克く鞘に行かなきや然柿が喰へないのと等しく今に八九人迄が安心と云ふ所の中張する所に買方の妙味が潜んで居るのかも分らない▲何れにせよ從來不思議な相場を演じた經路を辿つて見ると皆人氣が片寄り過ぎた反動である▲して見ると季節柄や正米の貨物が加重したとかいや過般の高値より何百丁下げたとか益々人氣を賣りに導く丈どの詰りは買方自心が買方へ崩れ上げる事になるのぢやないか

京城穀物

正米現物

新米筋の季節買控へにより荷主一層賣急ぎ風情の向きにて形勢日一日軟化を續け今朝は四等合格三十六圓五十錢地揚玄米上物三十五圓見當……日曜前日に比し三四十錢安の氣配にて殺も二三厘方低落せしが荷白は高値當時の買附原料を補に市中卸値は相變らず四十四圓五十錢臺に下遊り行ある

大豆

內地よりの注文稍にて保鞘一段と一二十錢安の郎山三等二十圓七十錢同新二十圓三十錢長湍二十圓損みの唱へである

仁川正米

丸キ四等三十七圓二十錢買上物十錢在米和九錢六圓地揚玄米上物三十五圓見當の唱へなるが取引は相變らず閑散である

釜山正米

現物殺良都三十八圓七十錢神力三……

短期喰合尻

銘柄	取組高	買方	賣方
▲京取	二一、一九〇	三店	十二店
▲仁取	四〇〇	一店	六店
▲仁新	五五〇	七店	八店
▲安取	三五〇〇	三店	六店
▲朝新	一六〇〇	一店	五店
▲大新三	二六〇〇	七店	八店

取組高

出來不申 ▲長期 二四、一八三枚 ▲累計 二四九、二四〇枚 ▲短期 八四〇枚

前場手振

新田、南出、洪任ウリ、▲大新、定岡、閔カイ、出來高百五十枚▲京取、定岡、閔カイ、南、市川二百、洪任ウリ、白井百、吉田、田中、成清、新田百、白杵カイ四百枚

○桑野仲買店　仁川府海岸町三丁目　電話長三九番

東京現株　十八日

銘柄	値	銘柄	値
呼銀	六八・一〇	同新	一五・一〇
鐘紡	四五・七〇	同新	一〇・七〇
滿鐵	一〇七・九〇	同新	三一・九〇
東拓	四三・五〇	同新	一五・〇〇
富士紡	五八・六〇	日石	七四・〇〇
朝紡	一二・七〇	滿毛	八八・一〇
東株	一二一・七〇	同新	…
五分利公債	八七・七五		

大阪長期取引

銘柄	十八日前場寄付	十八日後場大引
大株	八九・五〇	八九・二〇
同新	七三・六〇	七三・二〇
同新	七七・〇〇	七六・六〇
商船	…	…
同新	…	…
鐘紡	二〇七・一〇	二〇七・〇〇
同新	八三・二〇	八三・〇〇
東紡	一一八・四〇	一一八・六〇
日魯	一〇・一〇	一〇・七〇

大阪短期取引

銘柄	寄付	大引
〇十八日前場 大新	七二・六〇	七二・二〇
鐘新	八一・九〇	八一・五〇
〇十八日後場 大新	七二・三〇	七二・五〇
鐘新	八一・八〇	八一・八〇

安東株式

〇十六日後場	寄付	大引
安取 當	…	九・一〇
先	…	…

鎭平銀

	寄付	大引
〇十六日後場 當限	一・九五六	一・九五七
先限	一・九三八	一・九三三
〇十八日前場 當限	一・九四〇	一・九一七
先限	一・九三〇	一・九一〇

各店の俵合せ

店	當限	中限	先限	買方
九玉	一、一〇〇	八〇〇	…	一、九〇〇
㊉	…	…	…	六八〇〇
丸夕	一二〇〇	一三〇〇	…	…
丸平	…	…	…	一〇〇〇

〇十八日前場（當限　中限　先限）

節	當	中	先
㊀	三六・〇〇	…	三二・六九
㊁	…	…	三二・七〇
㊂	…	…	三二・八〇

	當限	中限	先限
出來高	千九百石	一萬六千八百石	五萬三千二百石
取組高	一萬	…	…

神戸期米

	十八日前場	十八日後場
寄	…	…
止め	…	…

下關期米

	十八日前場	十八日後場
寄付	三七・五二	三七・六五
止め	三七・五五	三七・七一

桑名期米

	十八日前場	十八日後場
當限 寄付	…	…
中限	三六・〇〇	止め
先限	三七・六〇	…

大阪三品

限月	十八日前場寄付	前場大引
十月限	三四六・四〇	三四八・〇〇
十一月限	三三一・三〇	三三六・〇〇
十二月限	三三七・六〇	三三七・八〇
一月限	三三五・〇〇	三三五・〇〇
二月限	三三四・八〇	三三四・〇〇
三月限	三三四・〇〇	三三四・〇〇
四月限	三三一・〇〇	三三一・〇〇

海外經濟電報（十八日入電）

倫敦銀塊	三五片八分ノ五	
米・棉	六十錢安	
印・棉	七十錢高	
英米爲替	四弗四九仙八分ノ一	（八分ノ一高）
スチール	一〇六弗八分ノ一	（二分ノ一高）
アナゴンダ	三五弗八分ノ三	（八分ノ三高）

大阪期米

節	十八日前場	十八日後場
當 寄	四〇・四〇	四〇・六九
止め	四〇・三八	四〇・五八
中 寄	三八・九五	三九・一九
止め	三八・九二	三九・一八
先 寄	三八・四八	三八・六〇
二節	五二	六一
三節	五九	六九
四節	四八	五九
五節	四八	五六
六節	四六	…
七節	四六	…
八節	四九	…
九節	四八	…
十節	四六	…

東京期米

節	十八日前場	十八日後場
寄	三九・六二	三九・六三
二節	七〇	六一
三節	七一	七〇
四節	六六	七五
五節	六五	八一
六節	六一	七四
七節	六一	六一
八節	六八	…

江景正米

十八日前場　十二月中限三十四圓十六錢

大邱正米

一番十一月末限三十二圓九十錢より八十錢▲二番十二月中限三十三圓二十五錢より三十五錢▲二番十一月末限三十二圓八十錢より四十五錢▲三番十一月末限三十二圓四十五錢より二十三錢十二月中限三十三圓十五錢より〇五錢

群山正米

現物金額三等三十九圓五十五錢同四錢三十八圓七十五錢十一月末限三十三圓九十錢より八十錢十二月中限三十四圓二十八錢より十五錢出來高一萬三千石

……十八圓三十錢十月末限三十八圓五十錢十一月末限三十四圓五十五錢より五十錢十二月中限三十三圓九十五錢より九十錢出來高一萬石

鮮人土工暴行（浦項電報）

十五日午後四時……の鮮人土工等は十名……せきまつて……ブラ下つて居る夫の足を掬き力まかせに引張つた爲め頸が切れて死……吹きかへした原因は生活難から……を急いだものらしい

不良少年

近頃……署……

官舍荒し逮捕

……の所在不明である爲め捜査中であると

牛泥棒

高陽郡延禧面大峴里七八番地尹[illegible]は十六日午……

通俗太閤記

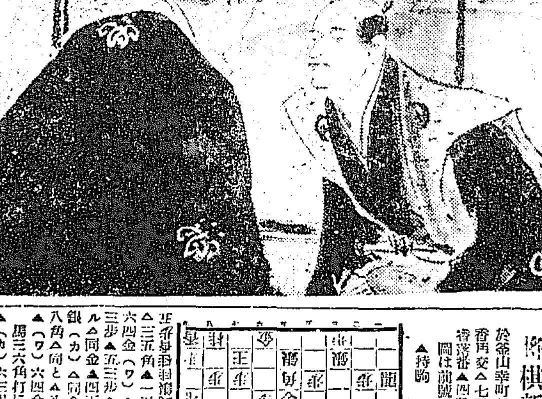
松林伯知講演　加藤由太郎速記

六百十四回

其處で老臣方一同殿夜の上大坂表にお居でに成る處の羽柴筑前守秀吉に對して使者を起らせて貰く、此の度信雄公內大臣にお頼みに成つたる處今以てお答ひとして秀吉來らざるは二心あつての事か、早々罷越して然るべし、と高飛車の口上であります本來なれば斷る事を申越し……

殿下の御入魂り出で、筑前守秀吉を討つに何の手間暇の要るべきやまた秀吉何者をいたしたる總本屋從の面々必ず暴ばれ廻るに相違ございませぬ、それ等を押へるの用意を致さなければ相成りませぬ」とあつて先づ……

逐れば烈火の如くになつて怒るのであります、が、秀吉は騒がない、右に決して腹を立つた事がない、右使者を御傍近く召出だして御目通りを仰付けられ、秀「使者の趣きに了承せり、今日まで政務多端のため心ならずも御無沙汰に打過ぎた



る段恐れ入つてござる、近日必ず御伺ひとして中島に參上いたすべく、宜しく申上げ置き與れよ」と使者に對して點々の饗應物がございました、使者は夫々の饗應を喜び急ぎ立歸つて右の次第を信雄公に申入れましたるによつて、內大臣信雄は大きに喜んで「近日の內に秀吉此處に罷り越したる節は、酒宴の席上に於て秀吉を討て」と仰しやられた、織田三郎兵衛進み出で「恐れながら申上げます、其が一應お宜しうございませう、殿常にして秀吉を討たんといふ時には兵を多く損じたければ成りませぬ、然し當城に來りし處を討ち取るは嚢の中を探るが如し、然し彼れとても殿常の者には候はず、充分にお支度が肝要でございます」淺井田宮丸も「如何にも充分に仕度をして殿かなければ相成らぬ、其の者へは一の太刀は……二の太刀は……に申付け……つて然るべきでございませう」信雄「如何いたす」田「恐れながら君お盃を後へ投げ玉ふ時に殺……

した片桐助作御前に罷り越して「ヱ、恐れながら申上げ奉ります」秀「ウム何ぢや、苦しうない、これへ進め」助「ヱ、お人拂ひの儀を願ひ奉ります」秀「ナニ人拂ひをして與れと云ふか、一同退れ」お側に控へて居りましたる七八人の臣供は次の間に退出をいたしました、助「申上げます、先に北畠信雄公より御使者が參り御出での儀を申しをなさいましたが、……中島には如何なる謀略があるか相分りませぬ、恐らくは君を討ち率らんための使者かと存じます、君は如何なる思召しでございまするか、願はくば御難儀と仰せられ中島へお出での儀はお斷り遊ばされてお宜しう存じます」秀「助作能く申した、余も左樣存じて居る……

……に擬勝されて秀吉を討たうなどといふ御所で使者を返はしたる事は天晴に拂けて見る如く、惟信雄は故信長公の御舍弟、……今日と相成つて見れば彼は正二位內大臣、秀吉は未だ從三位の中納言、されば彼の方上官なれば……を敢し御難儀を爲はずば……

出を御延引するやうにも相成る一段約束をしたる上は近日中島に罷越さんの心底である」助「ヘ、タ、恐れながら君の御氣性として一旦お約束に相成りし上からは必ず左樣せらるゝ事とは存じて居りました」

能治歯科醫院　仁川手町二丁目　電話三五〇番

京城旭町一丁目　すつぽん御料理　電話本局二六四〇番

仁川大弓大會

仁川では十九日午前十時より仁川公園弓術場に於て秋季大會を開催する筈なるが當日一同にて飛入も歡迎すと而して其競技方法は一般的一手、尺二的三、尺的二手、八寸的五手とし餘興として紅白戰をもなす由（仁川）

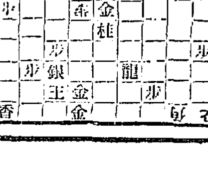
將棋新手合（六）

於釜山幸町釜山棋友俱樂部

香角交△七段　辯居木光治（東京）
將落番▲四段　岡本敏一（釜山）

圖は前號指了後の局面

▲持駒　岡本氏　ナシ



△三五角▲一五龍△一八角ナル▲六四金（ワ）△六八角▲同金△六三歩▲五三歩△六四歩▲五二歩ナル△同金▲四五角△五四歩▲六三銀（カ）△同金▲同桂△同玉▲一八角△同と▲八二角（以下次號）

（ワ）六四金は弱し三五龍五四馬三六角打にて充分なり

（カ）六三銀の打込は無謀なり一八角同と三六角と打ち五五の桂を利用する處なり

十月二十日

（舊曆九月二十二日）▲壬申▲赤口▲開▲畢宿

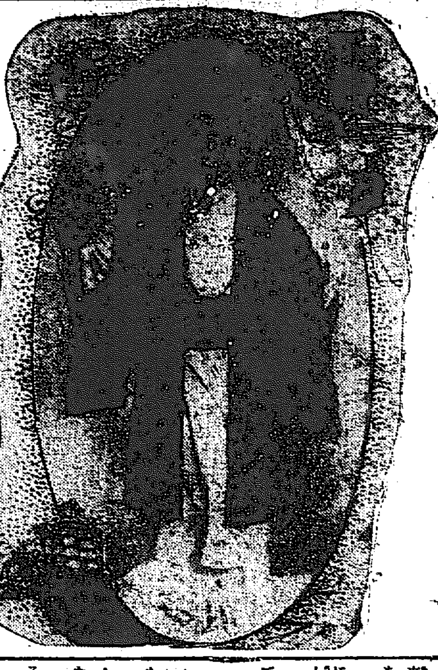
▼七赤▲神經のならぬ日職業を見……▼八白▲……と片付く……合せ自重して……▼九紫▲何かと口說の多い日他人の世話事は禁物……▼一白▲……▼二黑▲……▼三碧▲……に行りて安全……▼四綠▲不利な……▼五黃▲……▼六白▲……

有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル
マラリア特效丸
取次店各地藥店ニアリ
本舗　仁川府元町二ノ八八　林藥房

關釜連絡船

釜山發　午前十一時　午後九時卅分

日	朝	夕
十九日	德壽丸	昌慶丸
二十日	景福丸	昌慶丸
二十一日	德壽丸	景福丸


百十三の婆さんお目出度さ嬉しさで竹に雀を舞扇で踊る

敬老巡歷談

神佛信仰で百十三の長命

長壽者の心得と青年の覺醒

有田音松

【問】全國各地の新聞紙を見ますと、貴下主催の敬老會は、殆ど全國的に御開催になりました樣です。實に神武以來無い思ひ付で開催後四ヶ月間の事業として、思想上絶大の感化があり、且老人達も、非常な大喜びであつた事と思ひます。就に依りて、中國九州以後に於て催されたる御感想を伺ひたいものです

【答】去る六月二日、御成婚記念を期して、余が郷里廣島市に

第一回 敬老會

を開催してから既に四ヶ月餘になるが、この短日月の間に於て、西は九州より、東は北海道まで、北陸、奥羽、東北を通じて、實に三十ヶ市に開催した事である。就中最も驚異の事實は、常に九十歲度といふ長壽の者が[illegible]したものであつた。[illegible]なる者余の[illegible]を[illegible]ふて、敬老が[illegible]驅を[illegible]したのであつたが、余の敬老會に關する意義は、余の[illegible]頭などを問題にしなかつたのである。

それに、余が特に[illegible]を[illegible]んで、北陸道や、東北地方に[illegible]したといふには、他に二つの理由がある。それは外でもない、元來老人は、血氣が少くなつてゐるから、夏は比較的元氣なのであるが、漸く[illegible]なつては、外出が氣遣はれるので可成的、暑い中にと思つて、難二ケ月間、打ッ通しで、惡い地方を通した譯である。

予が一大決心をしてこの大事業に着手した以上、實は

斃れて後已む

の覺悟である、社會政策からいふても思想善導の意味からいふても敬老會は實に偉大なる社會事業なのである

世間或は予を目して大言壯語する者といふかも知れぬが假令人の口舌の端の如きは予の眼中には無いのである、言ふは易く行ふは難しで予の眞劒なるこの事業に對して、批評がましい事をいふ者は、恰も

卑怯なる犬

の遠吠の如きものである

若し異議があるならば、自ら正々堂々と眞似が出來たらやつて見たら良からう。

敬老や慈善はその亡の事である予は實に今日の日本の國状たる思想の惡化を防止せんが爲に予の良心の命ずる儘に、益々奮つて邁進するものであるが大分敬老會が長くなつたが先づ敬序として北陸富山市の敬

高齡者百十三

歲のお目出たい高見ナカ子刀自を紹介しやう

刀自は代議士高見之通之君の祖[illegible]とかになるさうで二十二歲の時に嫁して「一男二女を產み七十七歲の時良人に死別して、爾來三十六年間の後家暮しでやつて來た人で、今尙は達者で頗る元氣なお婆さんである、それでは何うして百十三歲といふ、世にも稀な高齡を刀自が保つたかといふに、之には

二つの重要

なる原因がある。乃ち精神的からいへば刀自は一向宗の熱心な信者であると同時に又敬神家であるそれから物質的には、規律正しき生活をして老後三度の食事は、一食一碗宛で押通し、決して間食をしなかつたといふ

この二つが、刀自の長命なる所以で、予は常に

靈肉一致の

生活を高唱してゐる者であるが茲にも余は、その實際を見出した譯である、そこでこの宗教を信ずるといふ事が、誠に人の精神を落着かせるものであつて來世を信じて、極樂淨土を夢みる所に、人間何ともいへぬ妙味があるのである

この思想があればこそ、現世に於て、正しい事をしよう、美しく活きよう、正道を踏んで、[illegible]

[illegible]人の靈性の[illegible]に[illegible]つて、自らの來世を希ふといふ心が起るのである

かうした宗教心のある人は、常に敬事をいそしむのである、その上我邦には特殊の家族制度が嚴存して居て、一家の中には必ず神佛なり佛壇なりを安置して

朝夕お初穗

を先づ祖先にお供へしてからでないと家族の者が、食事をしないといふが如き、到底他國に於て見られない美風が存してゐるのであるかやうな關係から、家名を重んずるとか、祖先を辱しめないとか血統を絶やしてはならないとかいふ美德も起り、延いて大和魂も起り、忠君愛國一致の國も出來るのである

人間が正しい

こと、善い事をしてみれば、心は從つて平靜である心の和やかなといふ事が長命長壽の第一要素であるそれを現代新人の說く如く神も、佛も、家族制度もあつたものかといつて仕舞つたのでは何うしても人間は自暴自棄になつて、何事でも捨鉢にならざるを得ない、從つて自分の都合のよい事なら、不正不義を働く、かやうな傾向を來す者が、即ち

危險思想で

ある、それで神や、佛の信心家に長壽が多いのである。之は精神的方面であるが、今一つ肝腎なのは、食養生をするといふ。

物質的の原因である。「[illegible]茲に特筆大書す可きは、刀自が一切間食をしないといふ事である間食をするといふ事は食慾を減退せしめるといふ事である即ち間食は三度の食事をまづくするといふ事になるまづい食事をして居て

一健康が保てる

譯がない食事から食事までの間に四時間なり五時間なりの消化す可き餘裕がなければならぬ陸軍では間食が許されない爲に壯丁の入營後は漸次にその體重を增加されるのであるそれが一朝除隊されて家庭の人になると自然に間食を取るのと運動の不足な職業とで又々元の通り體重が輕る之で見てもいかに間食の有害であるかといふ事がわかる

食物の消化最中に、又もや他の食物が這入つて來たのでは能く消化される筈がない、之が即ち間食の有害なる所以である

それに就て、かういふ一挿話がある。

利休が、嘗て太閤殿下に向つて山海の珍味を御馳走するといふので、殿下を引ッ張り出して無暗と、あちこちを歩かせて良い加減、疲勞した時分を見計らひ出したお膳の上には、味噌汁に香の物、飯は勿論、麥飯であつたが、殿下は空腹の事とて、無中になり、うまい〱といつて數椀を代へたといふ事である

これなどは、運動さへすれば何でもうまく喰へる即ち『食物の味は運動に支配される』といふことの好適例である

それから一食一碗といふ少食も、かゝる老齡には實に合理的な食事である老齡で、多食や過食をしたのでは、迚も體が保つものでない

それに、刀自は、朝は夙く起きて始中終何等か

一定の仕事

をしてゐる

つまり、子供の世話から、家事雜務に渉つて、一日の雜務を規律正しく、處理してゆく創仕事が、毎日の仕事であつたが、段々眼力が弱つて來たので、現在では衣類とか、雜巾などの解き物をしてゐる、たいていの人なら、この眼力が弱つたら、それで何事もしないで、手を拱ねて遊び暮すといふのが老人の常であるが、眼力や體力が弱つて來れば、それに相當した仕事を見つけて、何處までも仕事をしてゆくといふ所に

貴い健康法

が潛んでゐるのである、老年になつて體が衰弱して來ても、それ相應に適度の仕事を求めて、怠しつゝあるのである

然るに、若い者が、美食をして、ブラ〱してゐたのでは、長壽を保てる譯がない

それに今の青年が就職難や、失業難に苦むといふのは、つまり職業の、撰り喰ひをしすぎるからである『職業に貴賤なし』何でも

體裁の美い

樂な仕事をして、餘計に金を取らうなどゝいふ横着極まる根性を出すから、終に失業だ、失職だといふことになる、大學を卒業したからといふて勞働者になれない譯はない、高等教育を受けたからといふて、勞働者になつて悪いといふ譯はない筈である

百歲を越した婆さんでさへ、せつ〱と働いてゐるといふのに

好い若い者が

仕事がないといふて、徒食して遊んでゐるといふのは、如何にも恥づ可き行爲でないか、かゝる徒輩が、他人の成功のみを羨んで終には社會主義だの、無政府主義だのといふ危險な思想に共鳴するやうになるのである

思想の悪化といふことも、つまりは、のらくらと遊んでゐる若い者が、殖えたからの事で彼等が、相當の教育を受けながら、職業が無いといふのは、贅澤な者へであつて、或は

一攫千金を

夢みたり、或は極めて樂な仕事で、報酬を多く取りたがつたりするからでもある。

予は以下順次、高齡長命者の略生活を紹介說明しようと思ふが老人の總てが、且つ精神的にあつて、不和な生活をして來た人々のみであるといふ事を說明して憚らないのである

言葉を代へていへば、長壽を保つほどの人は、悉く穩健確實な人である

左樣な譯であるから、一家に老人があるといふ事は

一家團欒の

標子であり、且つ證である、故に青年が悉く老人の積み來つた事蹟を見習ふてくれれば、第一に身が修まり一家の團欒を來し一村一郡、延いては一國の平和が齎される譯である予は思想の善導は、先づかゝる方面から始めねばならぬといふ事を痛感したのである、古人が『道は邇きに在り』といつたのは誠に至言である

まだ〱長生の秘訣は澤山にあるが以後順次に述べる事にする

謹啓

時下秋冷の候愈々御多祥奉遙賀候

扨て過去二ケ月間に渉り北陸道を始め北海道奥羽東北地方に於て約二十有餘ケ所に敬老會開催仕り到る所多大の盛會を極め候は偏に各地方有力者各位が炎暑の候にも拘はらず誠意を以て御盡力被下候賜と深く感佩仕候

申す迄もなく敬老會は予の主催するものには候へども事業の性質上地方有力家各位の御盡力に俟つに非ずんば到底完全なる功果を擧げ難き一大社會事業に有之候從つて各位の協力により社會の改善思想の善導にたづさはるの光榮に浴したる事は予の欣喜措く能はざる所に御座候

茲に謹で以紙上敬意を表し各位の健康を祈る次第に御座候

不宣

大正十三年十月六日

有田音松

各地のおまつり

降つて十六日朝は急に寒冷を覺え路傍に嘻々として遊ぶ小供達は早くも綿の入つたものを纏つて[illegible]

[illegible]邸神社境内には奉納の素人相撲があり市內には東城町南石町西風で[illegible]は[illegible]の[illegible]、元町の大師堂[illegible]つたので市內一般に祝賀旗に花飾[illegible]界にあつては思た程の味入もなかつたらしい

[illegible]たが曇天ながらも日和であつたから挾立たず日が照り付けず運動には[illegible]へ向きの天候であつた當日は[illegible]る譯であるが[illegible]の參拜を希望すると

咸興

咸興大神宮祭典は十六[illegible]祝式合等あつて頗る盛況を極めたが其間煙火は絶間なく打揚げ殊に各町の假裝行列は市內をねり廻り日間山車を出すやら藝妓の芝居をやるやら假裝隊を繰出したり電車投票、運動會、[illegible]競技、やれ[illegible]

同小學校、同幼稚園の三校聯合秋季大運動會は豫定の通り十七日午前九時から小學校々庭に於て[illegible]

青年講習會

[illegible]を[illegible]り[illegible]の[illegible]地方[illegible]

旭川市敬老會

一、主催者 有田音松

後援者 旭川市役所

同 北海タイムス社

二、會場 美滿壽館

三、人口 六萬壹千參百人

四、高齡者 壹百五拾貳名

アイヌ高齡者

旭川市近文部落

(前列右より)

鹿川シユキヤン子(百三十歲)

清水トエサン子(八十五歲)

農澤ワボボマツ子(八十五歲)

村山コモサク氏(九十五歲)

(前列の最左及び後列は付添人)

秋田市敬老會

一、主催者 有田音松

後援者 秋田市役所

同 秋田魁新報社

二、會場 秋田市紀念館

三、人口 三萬六千人

四、高齡者 七拾貳名

福井市敬老會

一、主催者 有田音松

後援者 福井市役所

同 福井新聞社

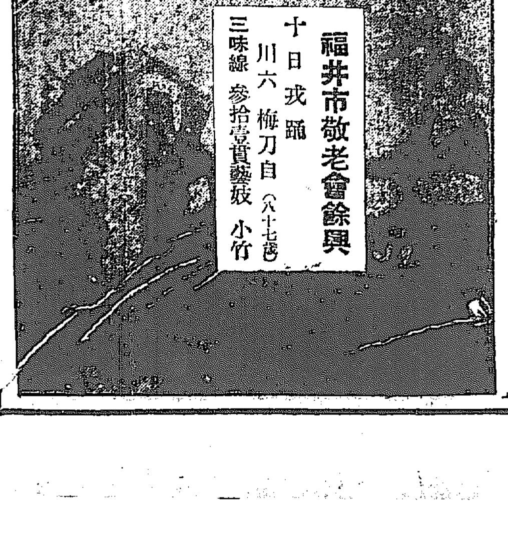
同 福井每日新聞社

同 新福井日報社

二、會場 加賀屋座

三、人口 六萬五千人

四、高齡者 參百六拾貳名



福井市敬老會餘興

十日戎踊

川六 梅刀自(八十七歲)

三味線 參拾壹貫藝妓 小竹

敬老會開催順路圖

下圖は去る六月一日大阪を出發して二日廣島市に敬老會を開催したるを始めとし爾來四ヶ月間に全國三十個所に渉り開催したる順路圖である

敬老會開催地

(第一回)

六月二日 廣島市

六月四日 岡山市

(第二回)

六月二十四日 別府大分兩市

六月二十七日 鹿兒島市

六月二十九日 宮崎市

七月六日 下關市

七月八日 佐賀市

七月十日 熊本市

七月十三日 福岡市

七月十七日 長崎市

(第三回)

八月八日 福井市

八月十日 富山市

八月十三日 金澤市

八月十五日 長野市

八月十八日 新潟市

八月二十五日 函館市

八月二十七日 札幌市

八月二十八日 小樽市

八月三十日 旭川市

九月三日 青森市

九月五日 秋田市

九月八日 山形市

九月十日 福島市

九月十二日 仙臺市

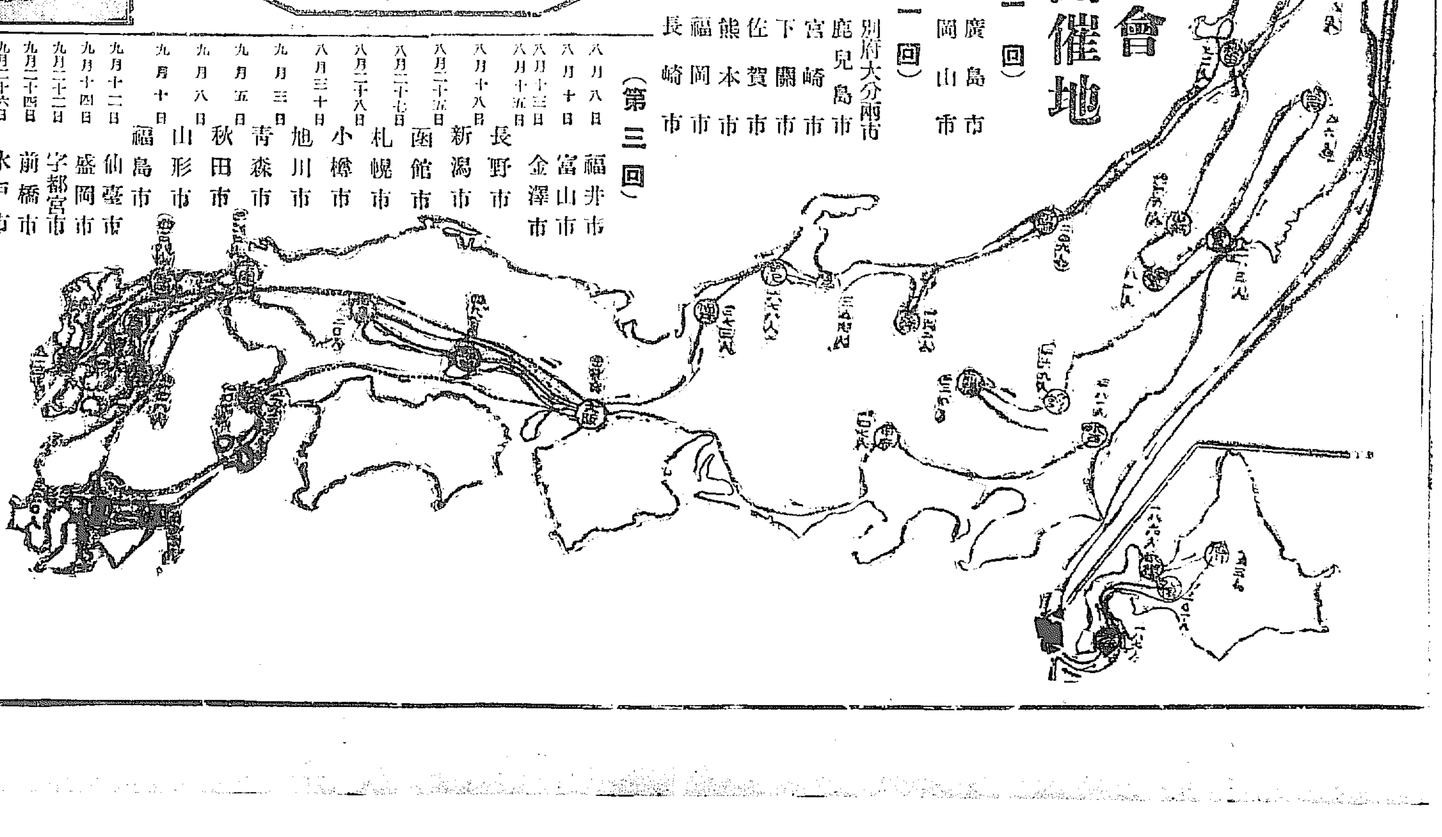
九月十四日 盛岡市

九月二十二日 宇都宮市

九月二十四日 前橋市

九月二十六日 水戶市

九月二十九日 甲府市



千三百六十六圓合計百十三萬四千八百八十四圓であつて前月に比較して五萬四千二百七十六圓の減少を示してゐるが新別估出左の通り

白米　一六、六〇〇　木材　一〇、〇〇〇
大豆　二、六八八、二九八　綿布　七一、三五五
牛皮　一五五、九六　其他　二〇、七〇〇　七四、四三〇
雜穀　一、三三三、一四　二〇九　小計　四三、五三三　六〇、五一
繰綿　五一〇　一三、〇九三
綿布　二八〇　五、〇〇〇
八、〇〇〇　三、五七〇

【東京電報】興誌三派代表者と加藤首相は頗る重大なる協議を進め局面は政友會の反對を押し切つて行く模樣

六日佐藤大佐を訪問し氏を訪問し鑑解的に非公式の交

若し日本基督教
前十時より『教會の根本』午後七時半より『聖書講義』井口牧師

十九年

會報
旭町メソヂスト教會
午前十時
牛波多野傳道師
『人の子は枕』
十三年九月中

郵便爲
拔高　大正
內地及各新聞

たる金額は二十六萬七千餘圓前月へ到着したるものは二十四萬餘圓であると

昨朝より三度低い明日は曇後不定にて幾分暖くなる

發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介

京城日報

國家復興（復興貯蓄債券出資）は（國民の義務）
復興貯蓄債券　一十圓廿錢高いと　言なら一圓半で所有權讓渡
第廿二回　每月三回　廿四回◆六十七回
九十四回　八十九回
三百圓
大阪東區安土町小尾兩替店

蘇峰德富猪一郎著
蘇峰學人還曆記念出版之一

烟霞勝遊記
全二冊完成
『下卷』新刊　再版發賣
『上卷』既刊　五版發賣
柳田謙吉裝幀天金上製函入
定價各冊　金參圓五拾錢
各冊送料　金十二錢

▽其の遊跡は日本內地は勿論、朝鮮並に滿洲に及び、蘇峰先生紀行文の大觀大所、本書兩卷に盡く。觀察精到にして敍事簡明、筆致暢達にして描景淨潔、不用意の間に天眞流露し、筆到り意隨ふ。雲烟眉端に生じ、好景眼前に湧く。修養に可、臥遊に太可、天下豈に本書に優る善書好書あらん哉。

下卷概目
◆訪花向京城◆滿鮮の史跡◆小倉より長崎別府◆京阪の淸遊◆紅葉たより◆參拜遊記◆上方遊記◆江州の史跡探討◆御大典と京都雜信◆朝鮮の舊蹟尋訪◆滿州と江華島◆京城の鵲巢居◆南山雜信◆金剛山行◆金剛山遊記◆　以上三百七十八頁

地圖寫眞
◆下卷遊程地圖◆各地風景人物寫眞同行者撮影百二十餘種◆京都風景平福百穗畫十種（コロタイプ版）◆朝鮮學士崔敬談筆金剛山風景十一種◆蘇峰先生筆海印寺の詩と海印寺の古印影◆海印寺古圖と三藏印影等何れも稀有の名品にして、而も昨秋震災の厄を免れたる因縁あるもの、凡て五十五頁を數ふ。

上卷概目
◆史料採集の旅◆北海道漫遊記◆九州遊記◆探秋色遊記◆背花向信州◆關西の小遊◆上毛遊記◆湯積雜信◆玉川沿岸の殘春◆小金井觀梅◆桂公墓參の記◆　以上三百九十四頁
○嗚呼阿蘇山の大觀、オコツク海の秋の月、大木曾の紅葉、八面玲瓏の富士、是れ本書中の偉觀にして、光彩陸離の文字である。

地圖寫眞
◆上卷遊程地圖◆大谷光瑞師と蘇峰學人夫妻◆北海道漫遊記寫眞◆九州遊記寫眞◆探秋色遊記寫眞◆湯河原寫眞等三十七頁、悉く同行者の撮影する所に係り、新鮮眞實、他に見る能はず、本文と對照すれば、一段の興趣が湧く。

改版　吉田松陰
附錄　松陰先生眞蹟『吉田氏略叙』
改版第三十版新刊
即ち吉田家の家系と閱歷とを併記したるもの、蘇峰先生の所藏に係り、久しく篋底に秘したるが、改版第三十版を機とし、寫眞石版として附錄とす。縱六寸橫二尺餘、天下無二の希品たり。
四六判五百頁　クロース上製　定價金貳圓五拾錢　送料金十二錢
▽大正現代青年の學ぶべく、則るべき松陰先生の精神と行實とは、本書の尤も鮮明に描き、且つ的確に語る所、松陰先生の眞傳は、只本書あるのみ。

改版　大正の青年と帝國の前途
第百廿三版發賣　定價金貳圓　送料金八錢
▽大正時代に入りて、眞個に大正青年の勝譽元氣を鼓舞作興し、國運興隆の指針たり、日本帝國の要務たるは唯本書あるのみ。今や第百廿三版成る、天下有志の閱讀を待つ。

改版　靜思餘錄
新刊　柳田謙吉裝幀　六判上製三百餘頁　定價金貳圓　送料金八錢
▽其の說く所、人生の隱處に及び、哲理の幽玄に接し、宗教の神聖に觸る。しかも空想を惡み、現實を重んじ、實踐を尙ぶ。健全の思想、眞摯の教訓、翰墨の趣味深くして且長し。蓋し蘇峰先生少壯時の精神的結晶品にして、眞に不朽不滅の文字たり。

大和民族の醒覺
第四版發賣　定價金貳圓　送料八錢
▽對米問題は日本帝國の存在する限り消滅することなし。咽喉元過ぎて熱さを忘るゝ勿れ。
內容概目　◆米國の排日に直面する日本國民の覺悟（十九回）◆歷史上より見たる日米の關係（六回）◆最近二十年間米國に於ける排日の顚末（九回）◆國民の自覺と世界の二大脅威（二十六回）の四章より成れり。

發行所　東京市京橋區日吉町　振替東京一三一〇〇　民友社

國史講習錄
會員募集
新學期　入會の最好機　新時代　大典記念として　中央史壇　其他進呈
○內容豐富にして受驗者及教育者の參考書として最適し、且つ一般國民の教育上の研究書として絕對無類の良書なり、全二十冊六千頁の大著。
◎入會金參圓（最終會費に充當す）◎會費一ケ月參圓、十ケ月終了
東京神田今川小路　國史講習會
見本進呈

日本少年
十一月號　特別讀物集
◇野球實話　甲子園で優勝するまで……慶應商業野球部主將　正田
◇短艇實話　三度湖上に覇を唱ふ……米子中學短艇部選手　池田
◇國際競技　一着か落伍か……世界的マラソン選手　金栗四三
◇支那英傑　恐いさん小父張作霖……陸軍中佐　櫻井忠溫
◇少年訓話　將來少年の努力……文學博士　武田五郎
◇少年科學　誰にも出來る無線電話の作方……國際無線電話技師　田村正四郎
◇探偵小說　犯人は米國へ……村上正雄先生作　鬼頭恭三郎
◇少年小說　森の鍛冶屋……中村星湖先生の懷しい小說

逸話　ビスマルクの奇智
東西古今逸話集
探險旅行　十和田湖の卷
海へ飛ぶ熱球
三人片輪成田參詣
歷史小說　謙信の幼時
眞田幸村決死攻城
小島の捕へ方祕訣
底無沼探檢（北原聰二）
長篇水滸傳（山口將吉郎）
此の他にも痛快な讀物を滿載

少年詩　少年の秋……白鳥省吾
少年小說　由良の港……有本芳水
少年小說　雁の歌……水守龜之助
熱血小說　祖國の爲に……胃山樓湖
探偵小說　無話室……渡邊霞亭
活劇寫眞　牧人タビデ……嵐三平
妖怪退治　鬼ケ瀨河原……佐藤功雄
滑稽小說　忠犬エスの死刑……小杉花影

少女の友
十一月號　歷史小說集
◎焰の白萩城……秋月玲子
◎長坂坡の戰……澁澤青花
◎落人小夜姬……高田青雲
◎賢婦歷史痛快逸話……田中孝一郎
◎晝家陽訓の娘……明扶二
◎ジェームス王の悲劇……淺原鏡村

▽童話物語　王女の心
▽浪路畫譜　猫の朝
▽やんちや先生漫遊記
▽少女哀話　咲かぬ花
▽山國女學校訪問記
▽淺薄文　此は大變
▽怪奇小說　髑髏の笑ひ
▽長篇小說　アルプスの少女
▽哀傷小說　水車場の娘
▽探偵小說　端書事件
此の他に面白い讀物を滿載

◇誰にでも出來るやうになる少女勉強法……東京府立第一高女校長　市川源三
◇少女小說　呼子の笛……吉佳吉
◇少女小說　散る木の葉……時雨あづさ
◇映畫物語　幻の樂の音……岡田光一郎
◇小說　母まさ何處……坂本茂子
◇長篇小說　銀の十字架……渡邊
◇手藝　誰にも出來る學校洋服の仕立方

◇合冊定價四十錢　送料二錢　半年八冊　一年十二冊（前金）
東京府下神田錦町
實業之日本社發行　振替東京六番

田中大將閣下題字
德富蘇峰先生序
最新刊
軍人の見たる排日と對米策
陸軍大佐　赤松寬美氏著　四六版上製　定價一圓卅錢　送料十二錢

內容概略
在米日本人の現狀・排日運動の由來と實相・法理上より見たる排日法・排日原因・帝國主義・軍の事位置・對米策と對米同盟組織・其他
著者は日露戰爭後米國に留學し親しく彼地の社會狀態と日米問題に就ては卓見の多い軍人中第一人者である、赤誠溢るゝ此の一書は國民が尊敬と共感とを以て讀まねばならぬ。
就ての未知が其原因ではあるまいか。『實に日米問題は至大の國家問題』の故、我國民としては是非共必讀の好文字（所謂國際物）
官界教授等の多年の言明の感じ正しい主張で排日問題と義務の事実を共にし者に好評を得た

根津千治先生著　理學士
（四版）覺え易い　算術の講義　菊版クロース　定價二圓　送料十二錢
（四版）覺え易い　代數學の講義　菊版クロース　定價二圓八十錢　送料十六錢
（七版）覺え易い　幾何學の講義　菊版クロース　定價二圓廿錢　送料十六錢

理學士　松村定次郎先生著
（十版）自修　幾何學講義　菊版クロース上製　定價三圓　送料十六錢
幾何學の解法に興味索然たるものは、如何にして讀者に呑み込ませるか正大の工夫を凝らして懇切丁寧に細說した斯界獨歩の良参考書

發行所　東京市神田區南神保町　振替東京一九一三三　日進堂

最新刊　巡査採用　試驗問題集　定價九十錢　送料四錢
▲本書は警視廳初め各府縣及朝鮮臺灣等にて最近巡査募集試驗に課せられた應の問題を網羅せるものなれば巡査志望者は必ず各位に此上なき良參考書なり。
振替東京三〇〇七〇　東京牛込區若松町六一　成協會

養鷄圖書目錄
養鷄之栞　無代進呈
ハガキ一枚を以て本社の主義と內容を知られよ　養鷄之日本社
名古屋市南區瑞穗町（振替名古屋一八三九番）

米禍來と國民の覺悟
□最新刊□　柴田次郎著
洋裝四六判布裝二八〇頁　定價金壹圓五拾錢　送料二錢
國辱的排日問題を惹起して以來日支親善が叫んだり見著者は今更ながら偽のアメリカに打砕れたる日本國民の爲に嘆き怒り悶へ亞細亞人の大同團結を高唱したりする以上は到底本書を見て將來日本を知る所の覺悟を要す可力說す
發行所　東京市淺草區橋場町　振替東京七四四一番　大盛堂

皇帝の國は績く
林元吉著　三六判型　總紙入美本　▲定價壹圓二十錢　送料十二錢
日本には日本特有の思想と信仰と血の流れとがある。共産主義が傳へらるやうに、又國體擁護が主張さるやうに、ラッセル、クロポトキン、マルクスが偶んだ。我が皇帝の國の國威隆々として世界に誇る所以である―と著者は常に言つて居る。昨年以來思想界の發生を見るに、排日に至るなど將に未曾有の大國難である。著者は如上の見地に立ちて日本建國の精神を說き、例を史上に摑りて刻下の難局に於ける我が尊き皇帝の國の前途を暗示し可輝く所以を力說し本書を成した。
發行所　東京府中澁谷六四七番地　振替東京六八二三七番　帝國書院

最新刊
伊藤時太郎　クレイヨン畫の描き方　二、五〇
森口多里著　近代美術十二講　三、五
石山徹郎譯　埃及美術史　四、二〇
石井柏亭著　マネ　三、〇〇
渡邊吉治著　ティントレット　三、〇〇
佐久間政一　ロダン研究　一、〇〇
足立源一郎　人物畫を描く人へ　一、〇〇
藤井浩祐著　彫刻を試る人へ　一、〇〇
鍋井克之著　風景畫を描く人へ　二、四〇
朝鮮京城府明治町二丁目　培文堂森書店　電話本局二三四　振替京城九一二番

京城　大阪屋號　本店　振替京城一五九三番　電話六八四番・〇八八番　支店　大東書房

最新刊
井上雅二　面白い化學の講演　一、二〇
清水澄　司法警察執務要典　二、五〇
岡崎郁郎　公民科新要目解說　二、二〇
德富健次郎　太平洋を中心にして　一、五〇
谷口興吉　經濟思想概論　一、四〇
菊池寬　小說の創作と鑑賞　一、八四
木村毅　近代佛國西洋文學　二、二〇
鈴木作太郎　支那現行國稅制度概論　一、七三
宮島資夫　社會進歩の經濟原則　一、八九
杉森孝次郎　八頁のため　一、〇〇

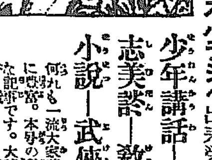
俳句
天高く氣澄む秋　正に俳句の絶好期なり！！
のゝ佳句ある方句主のある俳誌の評論を無代で送る
名古屋市中區南小川町　日本俳雜誌會　電話長南五五〇一番　振替口座大阪四一〇六八番

旗界の權威
學校旗　青年團旗　優勝旗　會旗　講組　組合旗
品質優良價格至廉
大阪市南區大寶寺町中ノ町　安田旗店

少年倶樂部
十一月號＝早く御覽なさい！

少女倶樂部
何處へ行つても非常な評判！

澄宮殿下每号台覧
少年雜誌界で發行部數日本第一
本號のスバラシイ出來榮えは世界第一！
少年講話―常識訓話―立志美談―教育講談―少年小說―武俠―探偵―滑稽
何れも一流大家苦心の傑作！口繪、插繪は實に面白く、次の怪な記事です。大說物數十篇のほか、他に類のない大附錄がついてゐます。

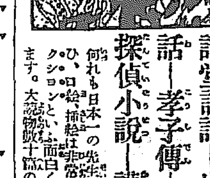


◎當選者三千名（誰にも出來る　素敵に面白い）大懸賞募集あり……
第一附錄……赤穗義士　大石瀨左衛門
血湧き肉躍る赤穗義士の大活躍は芝居を見るよりもつと〳〵面白い。
第二附錄……作文上達の祕訣
之があれば誰でもきつと作文がうまくなる、之を見落しては大損大損
第三附錄……科學應用　最新遊戲法
面白い遊戲が沢山あります珍らしいものばかりだからすばらしい評判
特別大判挾み込附錄……ナカヨシグラフ
新聞紙一頁大の精巧な綜附錄本誌一冊買へば只で得られる……

「學校・家庭で大評判」の二大雜誌『少年倶樂部』『少女倶樂部』
兩誌とも一流の學者、教育家數十名の賛助を得て編輯。模範的の課外讀本として日本一の大好評を受けて居ります。
父兄方へ！　あなたの可愛いお子さんに本誌をお與へ下さい！
先生方へ！　あなたの教へ子に是非本誌をお奬め下さい！
有名な某女學校では少女倶樂部を課外讀本として使つて居ります。少年倶樂部も同樣、先生方から非常に推奬されてゐます。

兩誌共定價五拾錢（郵税二錢五厘）
大日本雄辯會（東京本郷）（講談社）

皇太子妃殿下台覧
少女雜誌界で發行部數日本第一！
十一月號は實に空前の面白さです！
講堂訓話―出世美談―童話―孝子傳―少女小說―探偵小說―講談―漫畫……
何れも日本一の先生方が執筆された名作ぞろひ、口繪、插繪は非常に美しい。本號には科學センクショとい ふ面白くて爲になる讀物があります。大說物數十篇のほか左の大附錄つき！



◎當選者三千名（誰にも出來る　素敵に面白い）大懸賞募集あり……
第一附錄……誰にも必要な　書物の讀み方
本はどんな風に讀めば一番爲めになるかを親切に分り易く說明した記事……
第二附錄……是非心得て置くべき　衣服の取扱法
着物の取扱ひ方、保存の仕方、整理の仕方等を寫眞入りで詳しく示す……
第三附錄……少女小說　白蘭花……南部修太郎
可憐な支那少女が悩ましい日本の兄妹に救助される涙ぐましい少女哀話……
特別大判挾み込附錄……をさなグラフ
繪と寫眞とお話　讀んでも見ても面白い新聞大の二色刷附錄

山海關で一大激戰 兩軍の形勢は尚ほ渾沌

【奉天十八日發電】=某所着電=山海關電に依れば奉軍の大部隊は十六日山海關の各城門を破つて關内に侵入し直軍は城の東南の海岸方面に依て死守しつゝある直軍と之を助けて占領された山海關を奪回すべく逆襲的運動を開始してゐる直軍の間を遮斷し兩軍は將に大激戰中にて形勢は尚渾沌として逆睹できぬ因に山海關の我警備隊は直軍の爲め切斷されしも其後復歸し本社の報はそれに依つたものである

直軍一萬餘人捕はる 門を締切られて逃道を失ふ

【奉天發電】奉天軍は十六日完全に山海關を占領し捕虜一萬一千名を得た此捕虜は總司令部發表の談に依れば多分二十三師で敵守は城内にあり出口の門を締め切られて逃げ道を失ひ全部捕虜となつたものであらうと

浙江軍は總崩れ 投降兵には旅費を與へて還してゐる

【上海電報】浙江軍は徐樹錚の逃走に依り明日も失ひ盧永祥の部下臧致平楊化昭等は租界に逃げ込み殘兵四萬も上海に入り込んだ爲め浙軍は解體となり兵士は銃を棄てゝ續々江蘇軍に投降してゐる爲めに江蘇軍は六十五元を上海に送り浙軍兵に給與をなし歸鄕せしめてゐる又旅費支給に洩れたる者は掠奪をなしてゐるが呉淞の掠奪事件も之等の敗殘兵の仕業であつた

南海岸は中立地帶 貔子窩から安東に至る 若し直隷軍が襲撃せば 日本軍が出動鎮撫する

【安東縣特電】直隷軍の南海岸へ(貔子窩附近より安東に至る海岸線の一帶の地)を襲撃せんとする情報が傳へられつゝあつたが之に對する防備として奉天軍は南滿線守備司令部を大孤山に設け總司令として闞朝璽を任命し最前線を奉天に派遣したる結果南海岸警備軍の配備を奉天省から東邊鎮守使に命じて來た此の原因に就き南海岸方面を中立地帶となし警備の必要を認めたことゝなつたもので南海岸が中立地帶となつたことは船津奉天總領事と張作霖氏との間に協約が成立したものであつて日本は嚴重に警告する邦人の保護上有効な見地から之れを中立地帶としたものであるが若し直軍が襲撃した際は外交團の承認を經て手近にある日本軍が出動して鎮撫することゝなるであらう之は一面に於て日本が奉天軍を援助せんとするものとも見られて居るが目下大孤山に在る警備軍は十五日から十九日まで全部引揚げ鳳凰城に一部の軍隊を殘し他は悉く奉天に向ひ金州方面の出動を命ぜられたそれで唐中將は十六日鳳凰城に臨征し準備中であるが一兩日中に錦州に向け出發豫定である

露國側の主張には 幾多の疑問がある 公式交渉の再開までは相當時日を要する見込

【東京電報】日露交渉は去る十三日以來芳澤カラハン兩全權の私的會見に依り辛うじて其命脈を保つてゐるが我當局に於ては露國側の主張する四原則並に其他の技術的諸點が依然として明白にならぬので未だ政府としての態度を決定するに至らない從つて芳澤公使には何等の訓令をも發してゐないから公式交渉の再開には未だ多少時日があるものと觀測される併し芳澤公使は一方に於てカラハン氏に疑點を質し他方私案を提示して妥協に努力してゐる模様であるから不日其報告が到着した上で之を基礎として我政府の態度は決定されるものと想はれる尚芳澤公使の私案の内容は北京電報の報ずる如く從來の日露の協和に對する我要求を徹底したものでカラハン氏も之れに諒解を表したものらしく日露交渉再開されれば此點を折衝するものと察せらる

質問書を カラハンに提出

【北京十六日發電】十六日漸く東京より訓電が到着したので芳澤公使は直にカラハン氏に對し露西亞側の石油採掘地域をその譲り渡すべき四地點に對し意義不徹底の點ありとて質問書を送つたそれに對するカラハン氏の回答如何に依り近く日露交渉も再開される模様である

薩哈嗹經理部長更迭

【東京電報】第九師團經理部長一等主計竹島山源五郎はサガレン派遣軍經理部長に補せられサガレン派遣軍經理部長一等主計正岡田興三郎は九師團經理部長に補せられた

冗員淘汰敢行 本年十一月と來年三年

【東京電報】十八日の次官會議は各省次官、塚本法制局長官太田内閣書記官長出席首相官邸にて午前八時から開かれた、議題は行政整理につき整理事項の時期であつたが各省及び其他官廳中冗員淘汰につき急速に整理し得るものと都合上不可能なる官廳とあり數回に淘汰を行ふ時は人心を動搖せしむる虞あるを以て勅令にて官制を改正し得る官廳は十一月迄に依らざれば官制改正不可能の官廳は議會の協贊を經て來年三月に二回に亘り淘汰する事及淘汰職員の名譽進級又は俸給を許す事に決定した尚退職手當給與方法に就ては大藏意見の一致を見たので直ぐ政府にて文官整理の上閣議に上程する筈である

地方水産主任會議

【東京電報】地方水産主任會議は來る廿日より廿五日まで農商務省に開會の筈なるが沿岸漁業整理、水産物輸出振興、水質汚濁豫防方法新設動汽船改善等の各事項に付き諮問し漁業連絡試驗其他を協議する筈である

整理細目協議

【東京電報】外務省は十八日行政整理に關する細目に付き會議を催した

下岡政務總監 大阪實業家招待

【大阪電報】下岡朝鮮總督府政務總監は大塚内務局長を帯同十八日朝八時廿分京都より下阪『花屋旅館』に投宿午後五時より市内の重なる實業家七十名を招待し晩餐會を開いた十八日夜は一泊二十日午後七時五十分大阪驛東上の筈

内府後任は 園公の肚一つ

【東京電報】宮中に牧野宮相より西園寺公に對し内々通じてあつた平田内府後任に付西園寺公は熟考の結果内府の辭職と一方宮中内部及政界各方面に於て當局補弼の任を非難する聲あるに鑑み平田内府の苦衷を察して後任其他の事情を考慮し時期を見て近く解決を遂げる意嚮にて後任者については加藤首相牧野宮相も自己の意嚮を述べた後本月末頃興津別邸に赴く筈であると

政友會幹部會

【東京電報】政友會では十八日幹部會を開き十五日内相官邸に於ける選擧法問題審議の結果及び行政整理に依る鐵道問題に付き審議する處があつた

地方小作官會議

【東京電報】地方小作官會議は十八日農商務省に開會高橋農相より小作調停制度實施に關する訓示あり次で長滿農務局長より執務上の心得事項を指示する處あつた本會議は三十日まで續行の筈

文官試驗革まる

【東京電報】法科萬能打破の趣旨より始まりしに鑑みて帝大法學部に行ふ文學課目を挿入することに内定せる爲め近く高等文官試驗課目にも大改革斷行さるゝであらうと

教科書値下

【東京電報】當局は國定教科書の値下げを斷行した

社長は決定したが 後任重役が一問題 同交會の態度と郵船の將來

【東京電報】郵船社長として白仁前製鐵所長官を推薦する事は同長官の承諾を得たるを以て決定し來月初旬の臨時總會にて選擧される筈であるが重役の去就に付ては十一月二十七日の定時總會にて決する筈である併し白仁長官は社務に關しては全く素人であるから社務に精通せる者を社内に置く必要ありとし黒川大谷兩社内重役留任說をなす者あるが未だ決定してゐないやうである社外重役としては永田仁助氏になるであらう尚同交會は今後社内重役の如何により或は沈默を破るべく會員側も同交會の態度に依り或る手段を採ると云つてゐるから後任重役決定には苦心がある模様である

製鐵所民間拂下について 白仁長官語る

【東京電報】郵船社長を受諾した白仁製鐵所長官は製鐵所の民間拂下問題に付き語る
政府の方では官業整理の方針の下にやつて居るからこの問題も早晩實現されるものとして私の上京中にも閣議の話題に上つたが保留と云ふことに決定しその積りで豫算の編成にとりかゝつて居る筈であるそれとも私の歸任後政府當局の意見がどう變はつて急に拂下げることになつたかそれは斷言出來ないが私の手元には何等の通知も來て居ないことを言明すると奥歯にもの挾まつた樣に話した

伊藤氏は相談役

【東京電報】郵船社長を辭した伊藤米次郎氏は來月の定時總會で郵船相談役に推薦することになるらしい

上院の改革は 制度の問題でない 要は運用の如何にある 岡野敬次郎氏談

【東京支急特電】貴族院改革の要點として貴族院會議なるものに依れば華族各宮家の外大臣に於て之を三分し華族勅選、民選の別を設け現行の多額納税者議員を擴大し民選すると云ふにあるもの如くである

民選議員は 一應は尤もである即ち現在の多額納税者は弊害があり一回交代とか云ふやうな情態もあり多額を設けたる趣意は地主と云ふにあつたのであるが現在は必ずしも地主に限らず又會社の重役ではなく上個人の事務所を會社組織として居る様な事情の爲め當初の趣意は全く失はれて居る、されば之に云つて民選議員はどう云ふものであらうか假りに之を百名として**一府縣に** 二名宛を選出するとせば現行の衆議院議員選擧の如き結果となり政爭を誘發すると共に弊害も多く貴族院の性質上如何と思はれる而もこの民選議員を選出すれば政黨上の問題も生ずる次第であるけれども予の私見を以てすれば現行の多額納税議員を擴張し各府縣の代表者として貴族院に送るのは勘いことではあるまいと思ふ

之が方法 については議院法改正を要すべきである次に勅選議員の任期制度であるが之れは例々の大問題で詳細な調査は遂げて居らぬけれども歐洲各國に見ても勅選の任期を限り七年とか八年と云ふ風に規定する必要はない何れも終身制である、議論から云つても官吏の如く公平に功勞ある人物が勅選せられるのであるし又國際問題としても現在の勅選せられたる議員を**如何する** か改正と同時に一律平等に七ケ年制を採れば七ケ年後には多數の勅選議員を退任させなければならぬことになりその場合に公平なる政府が人選に當れば宜しいが不公平なる政府者の手に勝手極まる選任をなすやうなことがあれば遂に重大なる影響を惹起するに至るであらう、政黨の一部には勅選に關し臨時方面を中心としたる**常任機關** を設けよと唱導する論者もあるけれども機關職員は冷々淡々として水の如く公平無私なる人物を選擧に不公平ではないとしても選任せられた人物が議會に臨み提示されたる政策に是非を決する場合に至つたならば人間である以上其問題として理想的に審議し得るかどうか理論としては面白いが實際の運用上は如何かと懸念に堪へぬ**上院改革** は要は制度の問題ではなく寧ろ運用の問題である政府は自覺し勅選の人選に當つては最も公正を期すると共に貴族院も亦反省して内に省る處がなければなるまいと信ずる、予も調査研究は怠らぬ積りで居る

廿一日から始まる 鮮滿聯絡電話 將來は京城及び仁川からも通話のできるやうにしたい 蒲原遞信局長談

鮮滿間長距離連絡電話線架設問題は大正六年即ち今より八年前からの問題で所謂多年の懸案であつて其間鮮滿兩地の商業會議所聯合會を始め其の他各團體並に各地の商業會議所より毎年年中行事の如くこれが架設を叫ばれて居たが愈々來る廿一日から

懸案解決 の第一着手として平壤、新義州、奉天、安東縣間の通話を開始することゝなつたのは誠に御同慶の至りである此の問題に就ては當局としても夙に其必要を認め既に大正八年の頃迄營の統一、鮮鐵の滿洲方面に對する業務の進展等鮮滿間の關係は一層緊密となつたので鮮滿兩鐵とも之が施設豫算の計上を打合せ施設の計畫は樹てたが何分當時鮮内は未だ

都市間の 通話連絡は京城、元山間は素より京城、木浦間の如きも通話の出來なかつた時代でもあり右京城間さへ漸く一昨年から開通した位で之等の關係もあつて此の鮮滿間の架設線も常に其必要を認めながら豫算が許さなかつた爲め朝鮮内としては尚京城より北鮮方面へ木浦間を始め京城間、城津間、元山清津間の如き京城から以北の連絡線の架設を必要とする區間が尠くないのみならず京城新義州間、元山及鐵原間等の如きは

今日既に 現在の一線では困つて居て是非とも增線の必要に迫られて居るが然し此鮮滿間の連絡は前途の如く多年の懸案でもあり且は近時鮮滿間の關係は頗る緊密に、各種産業に交通機關に將又諸般行政上益々緊密となり殊に大正六年に於ける京城、仁川、平壤、京城、釜山、奉天及び長春との相互間に往復する一日の電報は二百通餘に過ぎなかつたが今日では五百餘通に上り尚益々增加の趨勢にあつて如何に

其の關係 が緊密になつて行くかが窺はれるのである。右の次第で豫算と事務の折衝である者に特に本年度に於て他の施設區間を差繰つて漸く今回の平壤、新義州間を架設した譯であるがこれ丈けでは開所期の目的を達して居ないのであるから今後豫算の都合付次第一日も速かに京城、平壤間に增設し以て京城、仁川からも通話が出來得る樣完成したいと思ふ。尚來る二十一日は此の通話開始を祝する爲め奉天、安東縣、平壤の商業會議所會頭相互間に於ける通話の交換をすることになつて居る

京城帝大總長は 幣原坦博士に内定 服部博士は就任しない

【東京電報】現東京帝大文學部長服部宇之吉博士は大正十六年四月開校の京城大學總長に就任の内交渉を受けた爲め爾來鋭意同大學の爲め努力し既に部下となるべき教授の銓衡迄略ひたすら開校期を待つて居た所最近朝鮮總督の教育方針と服部博士の意見に相違を生じ服部博士は遂に總長辭退を申出でた、これが爲め博士の態度を慕つて朝鮮行きを志望して教授となる事を承諾した少壯學者達も續て服部博士に殉ずるの態度を示したので文部省は大狼狽して極力博士を慰撫説得に努めたが斷乎として拒絶されたので止むなく前文部省圖書局長幣原坦博士に總長就任を求めた所元々同博士は京城大學の動務教授として赴任する豫定であつたので異存なく同氏に内定した

井上氏朝鮮視察

【東京電報】井上準之助氏は朝鮮事情視察の爲め五日東京出發の豫定であつたが風邪の爲め延期してゐた處一兩日中に全快を待て出發するであらう

辭令 (東京電報)

總督府通譯官兼外務省屬 神宮寧太郎
同 菅井乙平
總督府道理事官 川崎勇
同技師 鈴木千代祐
同郡守 權重明
同郡守 張修淵
依願免本官 (各通)

全鮮工業 組合趨勢

朝鮮に於ける工業所屬組合の創設は明治二十八年内地人組合京城時計貴金屬細工組合を濫觴とし爾後大正元年に至る迄は内地人に依る組合の二三を算し大正元年に至り始めて鮮人側の組合として忠北道織物組合に次いで山織物組合設立せられ爾來組合設立の續出を見た今之を別組合の年別設立數を示せば左の如くである

	織物	製紙	窯業	釀造	雜	計
五年迄	二	八	二	二	三	一七
六年	一	三	：	：	三	七
七年	一	三	：	二	：	六
八年	一	三	：	：	二	六
九年	三	：	一	：	二	六
十年	三	一	：	：	一	五
十一年	八	三	二	一	一	一五
十二年	三	二	二	八	一	一六
計	二二	二三	七	一三	一三	七八

組合數は八十九(十三年中二組を含む)にして地方の產業發達に伴ひ逐年各種組合の年別設立數を示せば左の如くである

水稻實地審査 今秋十一月京畿道に於て京畿道内四郡の水稻多收穫品評會の審査員は目下各郡共出張及び稻苗の技術員出張實地に就き審査中にして二十七日を以て終了する見込である

ものは組合所在地方官廳の指導に努めつゝあるが若干の内地人組合を除き大部分のものは組合所在地方官廳の指導に依り組織せられ其組合の役職員の概ね官廳職員の兼務に依るものは多く未だ獨立經營に依る組合の甚だ少く其に適當の状態であるが近時組合の經營に關する智識は著しく進歩せられた結果改善するに至つたので今後民度の向上に從ひ漸次其面目を改むるに至るべきものと認む、而して現今各種組合の事業の主たるものは原料の共同購入又は製品の共同販賣、共同作業の斡旋、技術の改良、改良器具の普及、低利資金の融通等にして原料の共同購入又は製品の共同販賣は效果顯著なるものあるに至つた今各道に於ける業種別組合數を示せば左の如くである

	織物	製紙	窯業	釀造	雜	計
京畿	五	三	一	二	七	一八
忠北	：	一	：	：	：	一
忠南	四	二	：	：	一	七
全北	一	四	：	：	：	五
全南	三	：	：	：	二	五
慶北	三	三	：	：	：	六
慶南	五	六	：	：	一	一二
黄海	：	二	：	：	：	二
平南	七	一	：	：	：	八
平北	三	：	：	：	：	三
江原	：	：	一	：	：	一
咸南	三	：	一	：	：	四
咸北	：	：	四	三	一	八
計	三四	二二	七	五	一二	八〇

仁取重役改選行はる 新顔は李炳學氏のみ 他は悉く再選された 十八日の定時總會

仁川取引所定時總會は既報の通り十八日午後四時より仁取樓上に於て開催(出席人員百五十八名株數四萬四千五百七十一株委任狀共)定刻若松社長先づ議長席に就き議事を宣し進行に入り營業報告は朗讀を省略し天日監査役は監査報告を代表して貸借對照表財產目錄に就て説明し、二株主より配當の質問あつたが、結局議事異議なく承認、利益金處分案(原案配當二割)は京城側株主より繰越金過多につき此際四分增配し今期配當を二割四分となすべしとの修正說出で二三賛成者あり或は二分又は三分との調停說もあつたが總會に入り協議の結果修正說通り二割四分と決定可決、次いで當日の問題の白眉たる重役の改選に移るや、堀府株主は先づ起つて重役の京取並に仁取兼任の不可を說き此際兼任重役は宜しく自決の途に出でられては如何と述べ、又朝倉株主は現重役定員は他會社に比し多過ぎるやうに見受けらる依つて經費節減並に事務簡捷の點より見て取締役は五名監査役は二名乃至三名に減員しては如何但し業務執行の上に於て差支へあらば致方なきも此邊の程度理事者として如何に見らるゝや。との質問に對し若松議長は重役減員如何により果して業務執行上に幾何の影響を及ぼすや否やは明答の限りでないが差當りさしたる苦痛は感じぬと思ふと答へ之に對し朝倉株主は然らば業務執行上差支なしとせば此際是非減員することを要すと述べ堀府株主より更に兼任問題につき追求する所あつたが此時平井株主は重役兼任問題は純理論より見て至極結構だが之は株主より強要すべきにあらず重役の自決に俟つ外なし故に此際妥協的態度に出で宜しく協調しては如何と調停說を述べたが結局重役及減員の兩論者共妥協の意なし、然し取るとも理想として重役諸氏の反省を望むのみと直に

減員說の採決 に入つたが議案は朝倉近藤の兩株主のみで結局小數を以て敗れ改選に入り議長より銓衡委員を指名すべし或は議長を選し議長自ら重役を指名せよとの說もあつたが若松議長は議式を廢し正式投票を行つた結果監査役一名を除き全部前取締役で鮮人側より李炳學氏に當選就職を入れた外全部從前通り左記諸氏再選就任することゝなり六時散會した

取締役社長 若松兎三郎
取締役 吉城晋?
同 加來榮太郎
同 河野竹之助
同 荒井初太郎
同 青田兵次郎
同 張斗鉉
同 原勝一
監査役 天日常次郎
同 竹内作平
同 森谷鐵夫
同 李炳學

特種扱郵便物

九月中京城郵便局取扱に係る市内特別郵便物數は引受一萬八千九十七通にして前年同期に比し二割二分九厘の減少となり又切手前納郵便は十一萬一千三百二十通にして九割三分の增加であると

人事消息

▲鈴木軍司令官 第十九師團演習及金剛山視察中の處十八日午後五時四十分龍山着列車で歸任
▲牧田軍醫總監(軍々醫部長) 鎮泉地方衞生狀況視察の爲め相馬軍醫を隨へ十八日出發元山温井里陽德平壤へ出張二十五日歸任の豫定
▲池田軍獸醫部長 角田獸醫を隨へ獸醫分團野外作業視察の爲め二十三日より沙里院に出張二十五日歸任の由
▲陸口參謀(軍司令部) 永興郡前上陸作戰參加中十七日朝歸任
▲時實京畿道知事 叔父大河原春藏氏病氣危篤の報に接し急遽十八日午前十時發岡山縣邑久郡邑久村に歸省したが往復一週間の豫定

古本 誠實買入 御報次第參上仕候 本町京城本町二丁目 文光堂書店 電話本局參參七〇

古本 高價買入 ●●是非御試を乞ふ ●●御報次第即刻參上仕る可候 京城本町二丁目 電話本三一九五 番 〇〇堂

毛皮 鳥獸毛皮類 標本調製並に仕立 なめし 京城本町二 島毛皮貿易商 電話二〇六五番

買入 不用の洋服御報次第參上 新町三丁目 高價買入ます 遠近に拘らず 佐賀屋洋服店 三九二

急募 少資本不損無しの職として有名な藥業に限り特約店行商人募集 京城三坂通四一 藥研究所 電話八七六番 支所

貸家 所在地黄金町一丁目 大小商店向希望に依りては二戸に分割してもよし 若草町一住宅向及板倉庫あり 黄金町一律田光商會 電話本局一三四〇番

ほね つぎ くじき 治療 うちみ 明治町藥 (フランス教會通) 仁壽館 荒川道 電本局二五九五番

ほね つぎ くうじ きみ 一切の治療の御依頼に應ず 中島病院裏へ移轉 柔術 道場

乳母 入用 二十三、四才より三十才迄 二十六才 乳兒生後七ケ月 南山町一丁目 池田小兒科醫院内 牧野

外交 員募集す 希望者は履歷書を携帶來談あれ 京城府水標町四十番地 東京寫眞時報社京城支部

圖案 ポスター圖案依賴に應ず 觀覽者の腦裡に透徹する三色刷案は既に成作描示 法に依る 希望者は 面談を鍾路 六八金融組合 作品御持參 六八金融組合

男女 外務販賣人募集 收入充分 よき家庭娛樂品の宣傳 御來談あれ 黄金町二丁目 家庭娛樂研究社 商品陳列館入口 留場橫小路北入

下宿 格安に勉強致します 一泊料 京城太平通り二の二七九 三好館

被雇 内地中學卒早大經濟科中途退學年廿六身體強健會計事務に經驗あり至急御採用を乞ふ 姓名在社

京日案内 三號活字十五字詰五行一回壹圓五十錢 但名八號活字 二十字增

公債 債券特別高價に買申候。御報次第參上 京城黄金町三丁目 若草町停留場傍 佐藤喜平次 電話本局六七六番

公債 時に高價買入地方は御照會次第返信 京城明治町 郵便所筋向 竹下金融部 電話本局二一四〇番

恩給 立替 年金 低利即時 (極秘)即時御通知 京城竹添町一ノ八二 西大門警察署前下車東入ライジンクサン自動車會社前 遞信局官舍裏長興商會支店

恩給 金に限ず 新發行及更正證書 公債賜金保管 低利即時 通帳假券買入れ 京城府古市町三五 光州錦町本店 電話本局六九一番

獨學で 志を立て 成功せんとする青少年は來れ!! 多數名士教育家の賛助の許に設立せられたる本會は東京公立中學校の第一流の諸先生を講師として其他の先生が責任を以て親切に教授される實に唯一の

◆**博士三十名** ◆**通信中學校** である。されば諸君が小學校卒業後官立の中學校に入學せずとも僅少の會費で自宅にて仕事の餘暇に獨學で勉強しながら

最新式通信教授法により **一年三ケ月で中學卒業** ◆今日は中學校に入學せずとも中學と同樣の學力が得られる唯一の最新式通信教授法の發達せる時代である。而も通信教授法は僅少の學力を身に附け立身出世する資格が第一必要で諸君が立身出世を遂げるにも中學卒業と同等の學力を得せしむ。...

◆**今入會ばはずれ** 本年中の今頃過ぎには博士や中學校長の手で明白な立派な卒業證書を御許可へ相きます。學費が安く内容に於ても見本を無料で書へ ... 本會の最新式教授法の特典あり。何は本會の最新式通信教授法に關して寄せられたる多數會員の

◆**感謝狀**により本會の教授法が如何に親切で懇えに内容が充實せるかを知られよ。詳しき事は見本にあり。

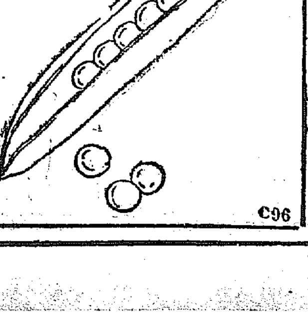
東京市青山 大日本模範中學會 電話青山一七八四番

府立 仁川病院 電話 事務用一六番・病室一〇二四番

國產 山葉オルガン
總て安心出來得る定評ある樂器及蓄音器はセヤマを御利用遊す方最も安全でございます
(山葉)日本樂器製造株式會社代理店
直輸入貿易 京城本町壹丁目 セヤマ樂器店 電話本局一四七九番振替一〇七五六私書京城局五番

1號…29箇	¥45.00
2號…49箇	¥55.00
3號…49箇	¥80.00
4號…49箇	¥85.00
5號…61箇	¥120.00
6號…61箇	¥150.00
7號…61箇	¥180.00
8號…61箇	¥200.00
9號…61箇	¥300.00
10號…61箇	¥350.00

日立モートル 京城 富田商會



鑵詰 日之出印 グリーンピース (青豌豆)
お料理百般
どの料理にもほしいものだが よいのは少い……といふより もこれ以外にないとの御評定
株式會社 祭原商店 大阪市東區北久寶寺町四丁目
C96

朝鮮地方生活研究講演會

日時 十九日(日曜)午後七時より
場所 京城日報社樓上『來青閣』
講師 早大講師總督府囑託 小田内通敏 / 早大教授 今和次郎 / 博物館監査官和 後藤守一
(聽講無料) 主催 帝國地方行政學會朝鮮本部 後援 京城日報社

水の代りに水銀で蒸汽罐

熱の放散を防ぐ米人の新發明
專賣特許を出願

[illegible]防ぐ方法として[illegible]水冷[illegible]御に使ふ事に思ひ至り、今度之を[illegible]願所では米國並日本專賣特許を申請スケネクターでこれは實際に應用された暁は一[illegible]與へる事にならうとらしい[illegible]ならない、そしてエンヂンを[illegible]した後は[illegible]とにかく將來は一[illegible]なるかと思ふ（東京電報）

歎の夜語 (3)

大同團一派の首領 全協の獄中の夢

彼は性來の陰謀根性の持主
入獄してから四年の月日が經つた

去る大正八年世間の耳目を聳動せしめた大同團一派の李堈公事件の首謀者で有名となつた全協は目下京城刑務所に服役して居る。全協以下一味四十數名が投獄されたのは同年十一月のことだつた。而して約一年に亘る豫審調べ後刑が決定したのは翌年十二月のこと首魁全協は最も重く懲役八年に處せられたのである ◇ 事件の筋は大同團一派が李堈公殿下の國外に誘ひ出さうを企てやうとしたものであつて巧に殿下並にその從者を說き伏せ八年十一月九日夜義和宮から誘ひ出した、殿下と共に滿洲に赴つたが安東驛に於て官憲の手に取押さへられるに至り彼等の畫いた謀計は全く幻滅して仕舞つたのであつた ◇ 全協と言ふ男は以前に官祿を喰んで居たことがあつて明治三十七年頃には親日派一進會の首腦者に認められ渾抜されて富平郡守に任ぜられたが彼性來の陰謀根性は改まらず時事を憤慨して職を抛つたのが彼をして今日に至らしめた抑もの原因だつたのである」◇ 彼が入獄してから早滿四年の年月がたつた。若し普通の犯罪だつたなら二百餘日の未決拘留通算に加へて先般の恩赦で減刑さるべき筈の所彼はその恩典を受くる身分でなかつた。それで滿八年の刑期が了日たる大正十七年迄服役しなければならない。◇ 獄中の彼は頗る溫順であると言ふ事であるが、それでも常に物思ひに耽りがちだと言へば彼の胸中には果して如何なることが謀らまれて居るか、頗る興味ある問題である、その妻子は入獄以來今日迄面會期日が來るのを待ちかねるやうにして刑務所を訪ねて來さめ／＼と涙に咽んで立歸ると言ふ、同人が追般の恩典で減刑され近く出獄するだらうと傳へられたので調べてみると事實は右の如くであつた

廿五歳まで酒を飲ますな

今議會へ建議する

未成年者禁酒法は一昨年議會を通過し現に實施されて居るが日本禁酒會では更にその徹底を期するに禁酒年限を廿五歳までに延長する事を決議し、愈々今議會に代議士中の同志より建議案として提出する事となり一方同會では極力其通過を期するため近く大運動を試みる事となつた禁酒年齡を廿五歳に延長すると云ふのは全國各地の青年團員が廿五歳までゝあること、廿五歳以下に殆ど各大學專門學校生徒を包含すること陸海軍々人を含むことのためである、右に就て禁酒會の村松總主事は語る『各學校では學生の飲酒を禁止して居るが事實は何れもカフエーやバーで盛んに飲んで居る、それで當會からは過日文部大臣に學生の飲酒を取締るよう請願して置いたが更に徹底さすため廿五歳以下の者の飲酒を法律を以て禁止して貰はうと云ふのである』

大邱捷つ

3對2 對長崎高商

長崎高商軍對大邱軍の第一回戰は十八日午後三時十五分より運動公園グラウンドに於て擧行された、小口氏の始球式に始まり大邱先攻第一回大邱一點を先取し第三回に長崎二點を取られ六回大邱軍高宮青山の左翼安打後藤の二壘打に二點を入れ合計三點、長崎軍は三回に山本左中間に安打し安藤大久保二點を入れたが六回に敵に二點を取られ一點を勝越され奮起して八回目一死後安藤二壘打に出でたが後援つゞかず遂に三對二にて長崎軍惜敗した（大邱電話）

二壘打、安藤、後藤
遡球、小島一
刺殺、安藤、島里、足立
審判、林（球審）大町、平田（壘審）
試合時間 二時間五分

回數に依る得點

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
長崎	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
大邱	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3

長崎 山本 足立 上村 安藤 原田 大久保 小島 [illegible]里 鈴木
大邱 秋田 [illegible] 高宮 宮崎 有山 後藤 山崎 大[illegible]

第二回戰は引續き十九日午後一時から擧行する

東京の郊外に鮮人村の建設

大阪に本部を有つ鮮人協會の總務副會頭の斡旋で

震災によつて一時歸國した鮮人勞働者も今では殆ど全部が內地に歸つて居るし、此頃でも每日數百人が入京するといふ有樣で現在全國を通ずれば二十萬人も入込んで居るといふ此鮮人の大同團結を圖るべく大阪に總本部を置く朝鮮人協會の總務副會頭朴春琴氏と理事長の李某氏が上京して神田橋の紅梅館を假事務所に當て東京に居る、鮮人の融合に努めて居る表面の目的は勞働者の職業紹介、施療を始め住居の問題其他の協力と聯絡のため便宜を計るといふにあるが當局では時節柄か警戒して居る此朝鮮人協會は現在大阪の總本部の一萬五千人を始め全國に四萬人の會員を擁して居る右に就て朴氏は語る（我々の目的は政治運動ではない、人間としての要求から生れたもので、何といつても未だ日本人は皆々鮮人を差別してどんなに金を持つて居ても鮮人だといへば家を貸して呉れぬといふ狀態で吾々がどんなに日本人になりたいと思つても、日本人の方で嫌だといふんですから一般に不平を持つ樣になるのでせう、仕方がないから、頼りない鮮人同士が聯絡をとつて助け合ふより外に途はありません、大阪ではこの秋から東西南北の四ヶ所に朝鮮人村を作る事になりました、東京でも何れ郊外にそんなものが出來る筈です）と同派の鮮人は東京を總本部とする別派の鮮人協會相愛會は內務省の補助を受けて居るが當局が八ケましく干渉するを嫌つてゐる模樣であると（東京電報）

久邇宮家より正式に破談を通達さる

酒井子爵家との御縁談

久邇宮家と酒井子爵家との間に醸された婚約破棄の問題は宮內省も事宮家に關する事にて問題の社會に擴洩するを虞れ圓滿解決を遂ぐべく久邇宮家はもとより酒井家の面目を保つべく牧野宮相、德川宗秩寮總裁等の努力する所あり其間問題の責を引いて德川宗秩寮總裁は遂に辭職し益々問題は紛糾を觀されたが愈近宮家にても特別の御思召より本年中に改めて正式に酒井家に破談を通達して圓滿解決を見る事となつた（東京電報）

府廳の事業資金 二百萬圓の借款

安田銀行から借入れ
結氷前に廳舍新築にかゝる

京城府當局では先般から大童になつて本年度及來年度に施行すべき事業資金を銀行や保險會社方面に東奔西走中であつたが此程漸く安田銀行から約二百萬圓の借入が九分通り契約が整ふた模樣である未だ正式の調印契約の運びに至らないのは利率問題で府廳側では九分を主張し安銀側では九分五厘を主張する由なるが若し安銀が此五分の開きを讓歩しなかつた場合は府廳側では安銀の主張通り九分五厘の利率で借入れるだらうと觀測されるが其代り安銀側では期間は無條件を承諾し返還は十年でも十五年でもよければ又より以上の利率の安いものがあつた場合は半箇年でも一箇年でも何時返還しても差支へないと十分なる讓歩で之に應じ京城府の爲めに便宜を計るとしく好意を披瀝してゐる模樣である久しく懸案されてゐた新府廳舍建築は請負工事入札も近日中行はれ結氷以前に工事に着手し來年七、八月頃迄には四階建堂々たるものが竣成の筈であり尚同舍工事の大體は約五十萬圓と見積られ居り現在では四百五十本の杭の基礎工事のみ竣工したので之が荷重試驗を一部行つた處好成績であつたと尚同舍の荷重力は十五噸より四十五噸迄であると

外國にもない空の少年團

共鳴者が非常に多く
とん／＼拍子に話が進む

さきには英米兩國の世界一周機を迎へ、今またアルゼンチン機の訪問を受けたわが空界は、實に空前の賑ひといふべく、自然少年の航空熱が漸々向上したので、この機會に少年に完全な航空知識を鼓吹し併せて我航空界の發達をはかりたいと云ふので航空局の三木大尉及び同局囑託伊藤西夫氏、民間飛行界の元老高木東太郎大佐等が發起となつて世界でも類のないエアー、ボーイスカウトを組織しやうとの議が持上がつたところ、彼多野航空局次長、陸軍省兒玉第二課長等も大いに賛成したので、とん／＼拍子に話が進み近く內務省社會局とも相談つて具體的協議をなし、發會式を擧行するまでに漕ぎつけた現在出來てゐる具體案の內容を見ると、まづ本部を東京に置き霞ヶ浦、所澤、大阪、各務ヶ原、明野、太刀洗、大村、立川、下志津、吳等の各陸海軍航空隊所在地には支部を設け、今後各國世界一周機の日本通過の際等には率先して歡迎をやつたり、その便宜をはかつたり、一方官民の間はず飛行演習には極力これを援助し健全なる訓練を施して日本航空の發達の爲めに盡すといふ（東京電報）

お祭りの二日目 （上）本社前の雜踏 （下）御輿の象の屋臺

活動の大トラスト

二館を閉鎖し
四會社の映畫を二館に上映
入場料値下の話も出る

府內に現在八つの活動常設館があるがそのうち內地人側では京龍館と過日燒失した喜樂館が休館中で六つの常設館が每日晝夜興行を續けてゐるが昨年來の不景氣で右のうち二三館を除く外は皆息も出來ない有樣である、然も昨年來市內ファンの鑑賞眼が進歩向上するに伴れ優秀映畫を上映しなければならず配給爭奪の結果は平時入場料階上六十錢、階下四十錢の協定あるを事實上無視して半額以下で新映畫上映の際には特別興行の際に配るビラの大きさも各館經營者の間に申合せあるも毎館とも每週最大限の大きなものを使用し各館とも支出多く困難してゐるが同經營者の一部に內地人側現在經營の四館即ち喜樂館、中央館、大正館、黄金館を大トラスト組織とし右のうち二館を閉館し上映館は從來の黄金、松竹、帝キネ、東亞キネマの四會社の分を二分し一館に半週づゝ一會社の映畫を上映しやうと言ふ說が持ち上がつてゐる、然して閉館する二館は一を寄席にして他の一を小劇場に改造し全部の收入を擧げて四分し現在各館經營者に配當しやうと言ふのである、恐らく四館經營者の會合がある筈でこの外入場料各等十錢宛の値下の話も持ち上がつてゐる

全鮮中學校競技大會【第一日】

京中優勝す

千五百米突後の戰跡

夕刊一部既報—全鮮中學校競技會第一日徒歩部プログラムは午後四時半メドレーリレーを以て終つたが、京中奮戰して優勝し、龍中、釜中、元中、大邱、平中、の順位を以て第一日の成績を決した。既報千五百米突競走以後の戰績及得點左の如し ▲千五百米競走（青年部）一着釜中梅野タイム四分五十六秒、二着京中松本、三着元中倉科 ▲四百米競走（幼年部）一着京中阿閉タイム一分一秒五分ノ四 二着平中村崗、三着龍中三浦 ▲（青年部）一着平中中平タイム五十四秒五分ノ一、二着京中山中、三着元中白石 ▲百米競走（幼年部）一着平中山本、二着京中淸水、三着大田藤井 ▲（青年部）一着龍中長島タイム一二秒五分ノ一、二着京中平野、三着元中竹田 ▲メドレーリレー（幼年部）一等釜中、二等京中、三等平中 ▲（青年部）一等京中、二等大邱、三等釜中

總得點 京中七八、平中六四、釜中五六、龍中五二、元中

五月信子 『二萬圓の夢』

帝キネに身賣り話

松竹キネマ蒲田撮影所のスター五月信子は『黄金地獄』の出演を名殘に、今度年俸二萬四千圓也で帝國キネマへ住み替へることゝなつたさうだ——某俳優の愛妻の裏面には例の川田芳子の演藝振りにたゝられて人氣爭ひに敗北したのであると噂する向もあるが夫れは兎に角として、年俸の內一萬圓也を前借し、蒲田撮影所への借財を返濟して多少殘つたと云ふから、これから當分は黄金國樂の夢を結べやう、帝國キネマ會社ではスターの澤みどりが退社したので、女優買出しに浮身をやつして居たが、今度信子及び英百合子の兩名を蒲田から引拔いたのである、百合子の方は年俸一萬四千圓で內前渡七千圓也これもお名殘出演となつた『天國』（未封切り）の題名が縁起が上がつたと[illegible]劇の森律子あたりで年俸八千圓[illegible]を凌ぐ女給サラリーマンの日本一、まつた一國宰相の年俸よりも遥かに多い、ところである消息通は『さて帝キ子とても賃金の釜は轉げてゐない、離分だけは成長つて變附しても、滿足に交換ふか見ものである』と心配してゐるが、折角夢んだ二人の夢を醒ましたくはない（京城電）

十三校陸上競技

（東京電話）[illegible]を以て秩序能く競技は進んだ成績左の如し
▲百米決勝 大組一着別府、飯尾、田中、大久保、大澤、中根
▲千五百米決勝 A組一着岡田、田中、坂上、平岡
▲圓盤投決勝 一等沖田（早稻田）三十八米七一（日本記錄を作る）
▲ホップステップジャンプ決勝 一等三木（興國）十三米五、二等平岡（豐國）三等田島（早稻田）

ペンの爲に良いパインインキ

京城本町二パイン萬年筆

荒畑寒村

下調べを受く

過般檢事局に自首して出た共產黨事件の荒畑寒村は今十八日公判準備の下調べを受けた（東京電報）

墜死將校招魂祭

霞ヶ浦航空隊では墜死將校十三名の招魂祭を來月八日に行ひ當日は水陸兩用機聯合飛行を催すと（土浦電報）

エベレスト登山

英國探險隊は明年再びヒマラヤ山脈高峯エベレスト登山を企てる旨を發表した（倫敦電報）

タシケントに强震

中央亞細亞タシケントに强烈な地震があつたと報ぜらる（莫斯科電報）

人妻の家出

府內觀喜洞一八五八人夫金聖文（卅五）の妻李平閏（一六）は十七日午後十一時ごろ、衣類を持つて無斷家出したので夫から鍾路署に搜索願を出した家出の原因は二人は一昨年十二月に結婚したが未だに入籍しないので夫を嫌つたゝめらしい

生活研究講演會

今夜來靑閣で

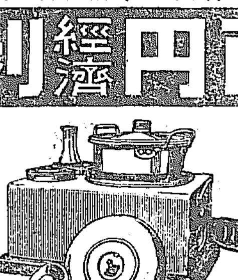
帝國地方行政學會朝鮮本部主催に係る朝鮮地方生活研究講演大會は愈々今十九日午後七時から本社來靑閣に於いて開催されることになつた、講師早稻田大學講師小川內通敏氏は『火田民』に就いて、同早大教授東京美術學校教授今和次郎氏は『民家と生活』に就いて、

帝室博物館鑑査官

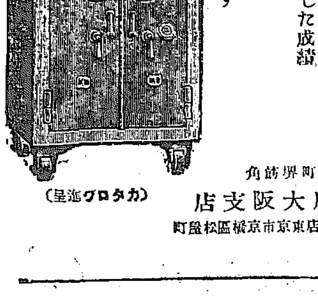
帝室博物館鑑査官補後藤守一氏は慶州未定で何れも日頃の蘊蓄を傾けて講述さるべく、定めし興味が深いことであらう、聽講無料で多數人士の來聽を歡迎する

洋裝家の一大福音
—市價の約半額提供—
陳列 セビロ、オーバ、トンビ、詰襟
即賣 學生服、マント、厚司
品目 紳士靴、學生靴、テーブル
向上會館 第三回洋服マーケット 開催
日時＝十月廿一日より廿三日まで 午前九時より午後九時まで
場所＝京城日報社來靑閣階上
主催 京城日報社代理部 電話光化門四〇五〇番 四四〇〇番

防寒のお準備は出來ましたか
吉の綿は品質優良と價格低廉で定評があります是非皆さんの御愛用を希ひます
各地有名なる綿店吳服店に取賣せり
大阪吉製造元

燃料を半減し手數を省き且堅牢保證附な故に數年間には
五百円經濟利益

アルミトタンヒキ 木箱附
厚鐵製 壹個 金四圓貳拾錢
上銅製 壹個 金拾貳圓五拾錢
市內無料配達送料內地三十錢 鮮土五十錢代金引替二十錢增
帝都第一 特約販賣人歡迎
好評品 國益のため カタログ送呈
僅か貳錢の炭にて早く御飯も煮物もでき其余熱にてドウコの水が（約四升入）數回沸きます故に御茶も出せ、御かんもつき、洗物もでき、又布片に包めば湯タンポとなり、夜中牛乳を沸すことを得る等コンナ便利德用品は他に類がありません
（貨物寸法長壹尺高五寸巾七寸）
責任保證
材料優美にして製造堅牢萬一不良の場合は十ケ年間無料修繕す
東京市麻布區我善坊町五〇
國光社
振替東京六六〇四番 電話芝六六〇
無料で一日三斗の湯が沸く
特許キネンコンロ
【火鉢湯タンポ兼用どうこ附き火ちりん】

忠
全鮮品評會にて武田ついて最高優等賞を頂きました
評判の醤油です
忠南大田
辻謹之助釀
南

佐倉金庫


（カタログ進呈）
皆樣方眞の御安心は佐倉金庫に依りて初めて得られます
それは御近くの京城貞洞大火に於ける佐倉金庫の超越した成績を御調べ下さい
事實は偉大なる雄辯です
大阪市東區唐物町堺筋角
株式會社 佐倉金庫店大阪支店
電話長堀三〇六四番・本店東京市京橋區松屋町

毒の花 (99)

入江新八作 近藤紫雲畫

武蔵野ホテルの客室装置は全く理想的だつた。彼の通された室は中所の室だつたけれども、四方に廊下が行き廻いてゐた。その室の一方に浴槽があつたので、彼は服を脱ぎ棄てると直ぐお湯へ這入つた。旅の疲勞を洗ひ流してから、新しい浴衣掛けになつて窓の下の籐椅子に彼は腰をおろした。さうして午前十時頃の強烈な日光が緑りの樹の梢を透して洩れて來るのと、それと一緒に微風の吹くのとを浴後の皮膚に一杯浴びながら彼はほつとした。

『とう／＼奈良へ來てしまつた』と彼は思つた。そして、自分が奈良へ來た要件は決して普通の遊覧的なものでないことを思ふと、一度ホツと吐いた氣息を彼はまた呑み込むやうな重苦しい氣分になつた。

『どうして、此れから、彼奴等の居所を探し出さう？』

彼はその手順を何う云ふ風にしたら好いかと考へた。確か奈良に彼等が落延びたといふことは、彼は突き止めてゐた。けれども、それが何處にゐるのか、全く見當が付かなかつた。云はゞ殆ど雲を摑むやうなものであつた。丁度それは、根岸方面をさ迷つて歩いて白鳥の騎手の洋傘の持主の宿所を探し歩いたことゝ大差がなかつた。けれども、それは雲を摑むやうな探し物でも、とう／＼彼は見付け出した經驗を思ふと、今度奈良へ來たことは、それよりも探し易いことのやうにも考へられた。

『それに、奈良と云つても、そんなに廣い土地ではない。一軒々々探して見た處で知れたものだ』といふ氣もした。

『先づ、最初、藝妓のお父さんの所へ行つて話して見やう。さうすれば、恐らく見當が付くだらう』

此者へは、彼が東京を出發つ時に既に思ひ付いたことだつたが、今も、彼は、その事を思ひ出してゐた。そして、朝食を終つたら、藝妓家を訪問して見やう……若し留守だつたら、銀行の方へ尋ねて行かう。藝妓家のある町は何の方角だらう……。

など、彼は考へながら窓越しに奈良の街の方を見た。茂つた樹立ちの中に白い壁が、青い窓の中に鏡のやうに浮んでゐて、その下に奈良の市街が横はつてゐるらしく隨分廣々とした地域の感じが一寸彼の心を壓しつけた。

『一口に奈良と云つても奈良も隨分廣いだらう……一軒／＼探し歩くなど、口には云へるけれども實際は、さういふことが出來ることだらうか……』

彼は自分の執着の強さを自分から否定するやうな弱つた考へが幾分か勝利させたやうにも思はれて來た。

『女が來たら、此所の女達にも容子を聞いて見やう。どんな偶然なことから在所が分らないとも限らないから……』

とも思つた。

『それに、車夫のいふ所によると此宿には東京女が多いといふ話だから、ひよつとすると、みな子を知つてゐる女がないとも限らない……』

など、彼は考へたりした。

彼はお湯に這入つて疲勞を忘れたけれども、心の苦勞はまた盛り返して來たやうな氣がした。併し、此れから、どういふ風に探して、どういふ風に探し當てるか、その經路を想像すると何だか興味があつた。實際、自分の身に取つては一大事のことであるけれどもともすると、それが他人事のやうにも考へられた。何だか、他人から頼まれて或る犯罪人とか、犯罪者とかを探し出しに來てゐるやうな氣もした。

全く自分の當面の問題ではなくて、他人の事件を取扱つてゐるやうにも考へられた。さう思ふと氣も易くなつて興味的にそのことを目撃することが出來る様な氣がした。

『……だが、併し、どつちにしても、彼は狩犬の役目は果さなくちやならないのだ。うかりはしてゐられない』と思つて椅子から起き上つた。

短歌 （尾上柴舟選）

『舟』 ―（六）―

◇ 塔 死郎（京城）

喚けども今し鳴りいつる出帆の舳の響に眼をつむりたり

舟つき場夜に入りて來る舟のため赤き火燃やす秋ふかみかも

◇ 石井 龍史（京城）

夕まけて潮滿ちければ洲の上の船浮き上る人居るらしも

砂利船の底ひたと觸れ動かねば押し押し歸る川の淺瀬を

漕ぎ並めて釣船歸る夕ぐれの浦曲に風の出で初めにけり

◇ 河原崎聰星（京城）

ふきあぐる潮の香高ききりぎしに立てば眼下にいさり船見ゆ

泊り船みな灯を消して小夜更くるこゝの港に月のさゆるも

月光に黒く浮べる泊り船ぬひつゝ赤き灯のランチゆく

秀逸 寺田 光春（京城）

暮れがなづむ島のそぎへをゆく帆ほねつぼらにみれば人三人居り

秀逸 塔 死郎（京城）

ひとつひとつ舟をかくして霧わたるこの内海の朝のしづもり

三等 鹿兒島市平之町一〇三 宇都方 村上 啜蔵

今われらを降ろして小船圖りゆくあゝあんなにも波に揺られて

二等 京城若草町八七 園 道治

干潟の船一つ一つをうかべつついつしか潮は滿ちとゞきたり

一等 仁川寺町三七久木田方 大山 國夫

ひき潮の干潟に迫る澪筋を帆上げし舟がかたむきたる

俳句 內藤鳴雪選

題『夏草』 ―（三）―

〇 何川 田 茂津

〇 萱園の花一輪や夏の草 龍山 雪山

〇 門川の水は溢れて夏の草 仁川 瀧峯

〇 夏草やこゝらに徑のありしはづ 京城 白露

〇 夏草や丈高々と井戸の端 京城 千波

〇 古家の屋根あはれなり夏の草 晋州 瀞湖

〇 足元に輝く露や夏の草 京城 香公

〇 夏草に人呼ぶ聲も女哉 南川 鈴子

〇 夏草に座して磯邊の眺め哉 京城 賀枝子

〇 露の干ぬ間の麗や夏の草 龍山 穂舟

〇 夏草や何時の矢の根か落ちて居る 朱安 古漢堂

〇 夏草や杭にからまる蔦蘿 京城 溪水

〇 古剣なり石夏草の繁みより 和歌山 榮一

〇 夏草や茂みに牛の寝臥して 京城 千鳥

〇 朝風に露拂はれぬ夏の草 京城 路村

夏草に榮華の跡を弔ひめ

川柳 上島花坊選

題『水』 ―（一）―

〇 平南 居櫻

〇 投網に賑れた奴が引つかゝり 龍山 紫榮

〇 咽喉通る水が見えてる鶴の首 金二浦 粟浪人

〇 面白さ水の力で灯がともり 堅志洞 蝉郎

〇 それは水に流してネと鎚をかき 本町 近眼子

〇 水引を結んでかたい笹を嚙み 京城 呑洋

〇 打水の庭へ灯がつき月がさし 龍山 俊子

〇 行水をこぼせば蛙飛んで出る 金二浦 山兎

〇 水鶏は其一枚も濡て居らず 大和町 二葉里

〇 水鏡髪だけ見えて物足らず 晋州 權兵衛

醉ざめの水女房で無い女

評 かゝる句には暗合無きを保せずたゞ作者の剽窃を敢てする如き人に非ざるを信じ之を拔たり

〇 平壌 實 漢守

水舸に人手をたのむ花が咲き

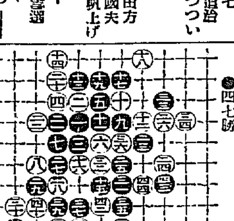
▲今日御祭に寄附を集金にこられた觀客は何にも知らない處が最低が一圓から五十錢出た、だからそれ以上と云ふのだ相だ、それでは息子が默つて來てから云つて貰つたとか他は隱した寄附金に何拾圓以上と云ふ理由があるとは成る理屈だが强制寄附はあつた、しかしそれとは問題が違ふ。それまでしてする祭りなら止した方がよい。神經は泣くせ騒いたまへ、諸人へ、諸へ、神社寄附金を（あきれ生）▲シンガー裁縫所の外に子供洋服（大人も）裁縫所のやうな確實な所はございませんでせうか又フランス刺繍かリボン刺繍を教へ授る近所に夕方からおしへて下さる所はございませんでせうか（S女）▲京城神社祭禮に假装して出度いと思ひますが市内に婦人用のカツラ（假髪）田を望む）貸す店なきや（一假装狂）▲初心の者ですが謡曲十六番お謡ひ下さい（京城花園町八七村上方松岡生）▲十日夜十一時數本局前で金入れを落した方へ拾つて本町署へ届けて置きました（本町みのや京染店小僧）▲大日本聯合國會にて發行の日用國民寳典安價にて譲りたし（國北浦北郡寺洞笛木文）▲今度の神社大祭に變装して御行列の中に加へて一緒に御供さして下さる町内はありませんか（變装シタ生）

聯珠手合 （三六）

先手勝 清水 松秀（京都）

英 珠樂（長崎）

●四七勝



新刊紹介

▲木太刀（十月）一題十句（渡人選）雜詠（賀洋選）課題句（小波、賀洋、米太選）のほか自觀洞書室の一室（秀蘭）湯の國紀行（三川）地方俳句界を指ぐ（四十錢）東京牛込區水道町四一木太刀社

▲潮雅（第二回）汎く半島各地から募つた俳句中多くの佳什を網羅してゐる編輯者の勞を多とせざるを得ない（非賣品京城本町二ノ五五潮雅堂）

▲南柯（十月）鳴雪俳句論（内藤鳴雪）島博諜（水哉）一年前を偲びて（鄕夢）三曜會俳談（志摩記）をはじめ雜詠（鳴雪選）課題吟、會報、女子および少年俳句など頗る豐富。誌上互選もまた興味ある企てである（三十錢東京赤坂區中之島町七南柯吟社）

▲實業（十月）對支問題に關する後藤子爵、三宅博士、春名社長、前田武四郎、山根倬三諸氏の批判は見逃す事が出來ない又大河内正敏子の『農村の窮迫と人造絹糸』古部百太郎氏の『普選と婦人參政問題』等現時の各方面に於ける緊要記事が滿載されてゐる（五十錢東京小石川區同心町一六實業社）

商品擔保貸出

（商業調査）九月中に於ける府内商品擔保貸出は生糸品六十九萬五千[illegible]

（單位圓）

品名	證券擔保	現物擔保
麻布	一、四〇〇	二三、五〇〇
綿布	四、五〇〇	二二、〇四七
生糸	四〇、〇〇〇	[illegible]
米	[illegible]	[illegible]
雜穀	二三、三四〇	[illegible]
移入品	一八、二三	六六、二九三
其他	六、六一〇	五二、五七七
小計	三四、四九三	五二、五七七
合計	二八、四二六	四五八

首相會見

非公式交渉

お寺と教會

朝鮮日報差押

氣象日報 十八日

不動産競賣期日公告

左ノ不動産ヲ大正拾參年十月三十日午前十一時競賣ニ附ス競買入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

一、京城府嘉會洞四拾貳番地 垈五拾壹坪 最低競賣價額金二百五十五圓

一、右地上建設 木造瓦葺平家建本家 壹棟 建坪貳拾六合六勺壹才 附屬木造瓦葺平家建 壹棟 此建坪五合七勺八才 最低競賣價額金七百六十圓 債務者 金中村 申立人 [illegible]

[illegible]

登記公告

法人及商業登記公告

[illegible]

京城地方法院

商業登記公告 金堤出張所

商業登記公告 南原支廳

商業登記公告 全州地方法院

商業登記抹消公告 汶山出張所

商業登記公告 開城支廳

商業登記公告 平壤地方法院

商業登記公告 江東出張所

商業登記公告 利川出張所

商業登記公告 井邑支廳

商業登記公告 平壤地方法院

商業登記公告 開城支廳

法人登記公告 任實出張所

商業登記公告 南原支廳

平壤地方法院

商業登記公告 開城支廳

商業登記公告 南原支廳

商業登記公告 春川支廳

商業登記公告 平壤地方法院

商業登記公告 水原支廳

[illegible]

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社